

取扱説明書

フルハイビジョン液晶ディスプレイ（業務用）

品番 **TH-55LFV70J(55V 型)**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（3～6ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Macintosh は米国 Apple Inc. 社の登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、および High Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

もくじ

安全上のご注意	3	USB メディアプレーヤー	80
お手入れ／上手な使いかた	7	1. 機能の説明	80
付属品の確認	8	2. USB メモリー	80
付属品	8	3. ネットワーク環境（マルチメディアプレーヤーの み）	85
別売オプション	8	4. メディアプレーヤーの開始／終了手順	85
リモコンの電池	8	5. 途中から再生機能	86
VESA 金具の取り付け	10	6. USB メディアプレーヤー設定	86
設置または移動するときの注意	10	修理を依頼される前に… もう一度次の点をお調べくだ さい。	87
アイボルト	11	対応する入力信号	90
ケンジントン セキュリティ	11	出荷状態	92
接続	12	保証とアフターサービス（よくお読みください） ..	93
電源コードの接続とケーブルの取り付け	12	仕様	94
映像機器の接続	13		
シリアル端子の接続	14		
IR IN / IR OUT 端子接続の例	15		
USB 端子を使用する接続の例	15		
HDMI 接続の例	16		
DisplayPort の接続	17		
DVI-D IN 1、DVI-D IN 2 の接続	18		
DIGITAL LINK 端子を使用する接続の例	19		
PC 入力端子の接続の例	21		
VIDEO IN 接続の例	22		
COMPONENT 接続の例	22		
AUDIO OUT（音声出力）接続の例	23		
スピーカーの接続	23		
電源オン／オフ	24		
入力信号の選択	26		
基本操作	27		
画面制御	29		
マルチ画面	30		
自動位置補正	30		
オンスクリーンメニューについて	31		
画質の調整	33		
画面位置の調整	37		
音声の調整	39		
初期設定	39		
信号モード	40		
ディスプレイ ID 設定	44		
マルチ画面の設定	46		
バックアップ入力設定	48		
スクリーンセーバー（残像を防止するために） ..	52		
入力表示書換設定のカスタマイズ	53		
ECO モード設定	54		
画面位置移動	55		
DIGITAL LINK 出力設定	55		
電源オン動作 遅延制御	56		
オンスクリーンメニューの言語の選択	56		
現在時刻設定／タイマー設定	57		
制御端子設定	59		
ファンクション設定	60		
ディスプレイ設置	62		
オンスクリーンメニュー表示のカスタマイズ ..	63		
ネットワーク設定	64		
Options メニュー	67		
Web ブラウザ制御の使用	70		
Web ブラウザ制御を使用する前に	70		
Web ブラウザからのアクセス	70		
Crestron Connected ™ ページ	76		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



気をつけていただく内容です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



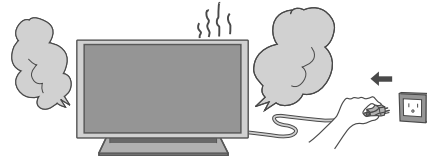
警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください。



電源プラグ
を抜く

- 異常があったときは電源プラグを抜いてください
煙が出たり、異常な臭いや音がする
 - 映像や音声が出ないことがある
 - 内部に水などの液体や異物が入った
 - 本機に変形や破損した部分がある



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

- 壁掛けまたは天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください
工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。



- 指定の別売壁掛け金具やVESA規格標準の壁掛け金具(VESA 400 x 400 mm)を必ずご使用ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

- 異物を入れないでください



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

● 表紙および3ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

電源コードについて

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください。



- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください
また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



火災や感電の原因となります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



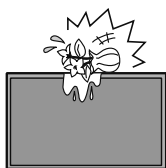
ぬれ手禁止
感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外では使用しないでください



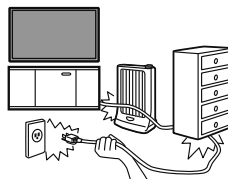
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 上に水などの液体の入った容器を置かないでください
(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水ぬれ禁止
水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- アースは確実に行ってください



本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。
機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。
感電の原因となります。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

- ぬらしたりしないでください



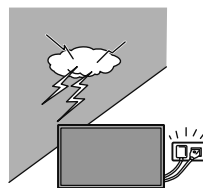
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



接触禁止



感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

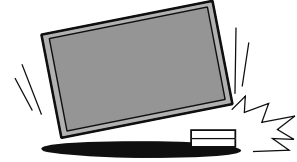
警告

- 付属の単4乾電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

- 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

- 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



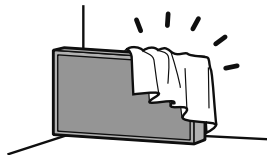
感電注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

注意

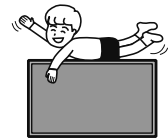
- 本機の通風孔をふさがないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- このディスプレイの最外周は、上面・左右10cm以上の間隔をおいて据えつけてください。後面は5cm以上の間隔をおいて据えつけてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- 逆さまにしないでください。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

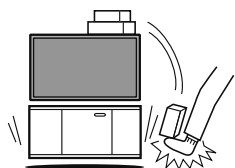
- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 本機に脚立を立てかけるなどしないでください



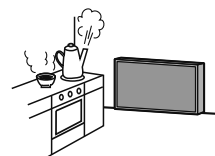
落下してけがの原因となることがあります。

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



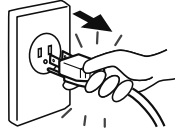
調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠️ 注意

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源プラグや機器の接続線、点灯防止具をはずしてください。



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。

お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください
- 運搬や移動をする場合は、取っ手を保持して行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

- 接続ケーブルを引っばったり、ひっかいたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意してください(8 ページ)

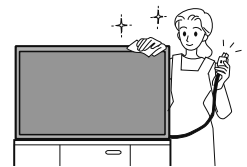


機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置される時

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

- 機器相互の干渉に注意してください。
電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。
 - 機器の接続は電源を「切」にして行ってください。
各機器の説明書に従って、接続してください。
 - 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
 - 本機の質量に耐えられる場所に設置してください。
指定の取り付けユニットをご使用ください。
 - 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
 - 直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。
キャビネットの変形や故障の原因となります。
直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。
直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。
 - 本機を移動される時。
ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。
 - 本機を縦置きに設置される時。
縦置き設置する場合は、必ず電源ランプを下側に設置してください。
- ## ■ ご使用になるとき
- 本機は残像が発生することがあります。
静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。
 - 画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。
液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。
 - 液晶パネル表面について
液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。
傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
 - 適度の音量で隣近所への配慮を
特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。
 - ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。
前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。
 - 長時間ご使用にならないときは

電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

リモコンで電源を切った場合は約 0.5 W、本体の電源を切った場合は約 0 W の電力を消費します。

- 有線 LAN について
静電気が多く発生するような場所のディスプレイの使用は、できるだけしないでください。
・じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、DIGITAL LINK または有線LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、DIGITAL LINK または有線LAN 接続をしてください。
・まれに静電気やノイズによりLAN 接続ができなくなる場合があります。
このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。
放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります
・近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管でDIGITAL LINK/LAN 端子に接続しているLAN ケーブルを覆ってください。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

- キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく
- ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



お知らせ 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

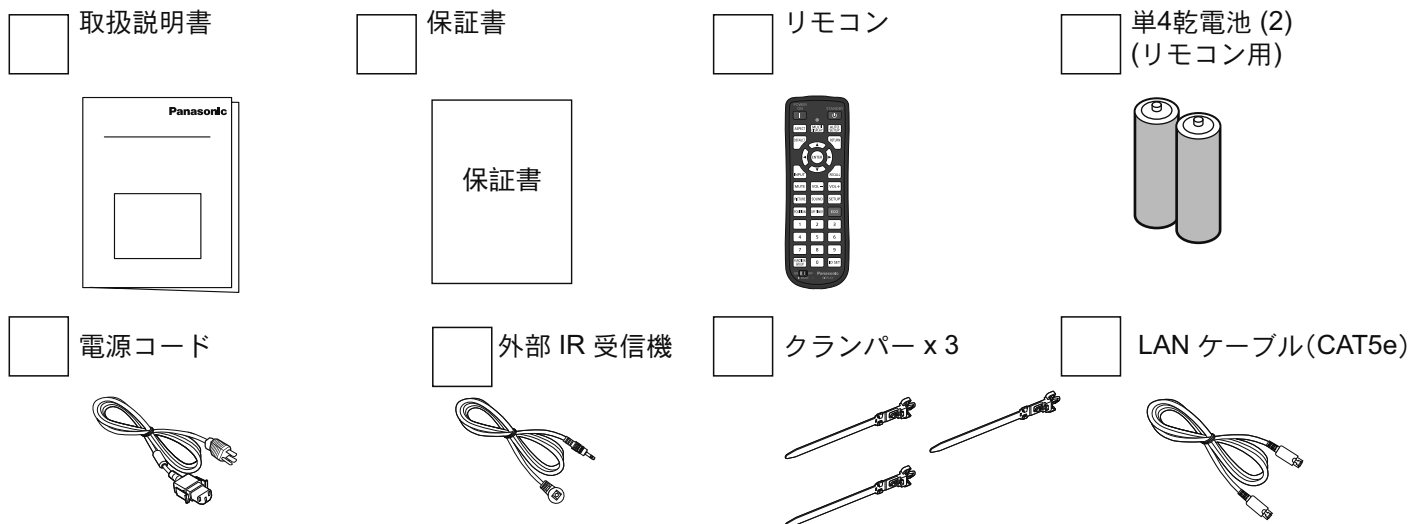
- 化学ぞうきんのご使用について
・液晶パネルの表面には使用しないでください。
・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。
- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない
キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



付属品の確認

付属品

以下の付属品が入っていることをご確認ください



お知らせ：

- ・ 小さな部品はお子様の手の届かない場所に適切に保管してください。
- ・ 電源コードのキャップおよび梱包材は付属品を取り出した後に適切に廃棄してください。

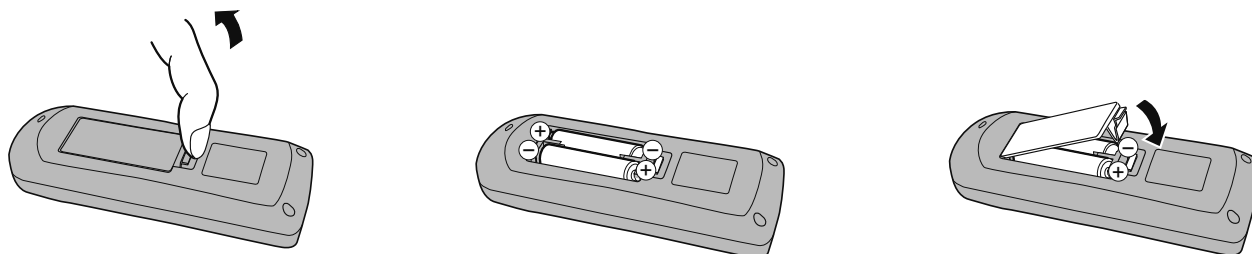
別売オプション

- ・ 壁掛け金具：TY-VK55LV1
- ・ カバーフレームキット：TY-CF55VW50

リモコンの電池

単4乾電池が2本必要です。

1. フックに引っ掛けてふたをあけます。
2. 乾電池を挿入します(-側から先に入れます)。
3. ふたをしめます。



ヒント：

リモコンを頻繁に使用する場合は、電池をアルカリ電池に変えると長時間使用できます。

お願い

誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

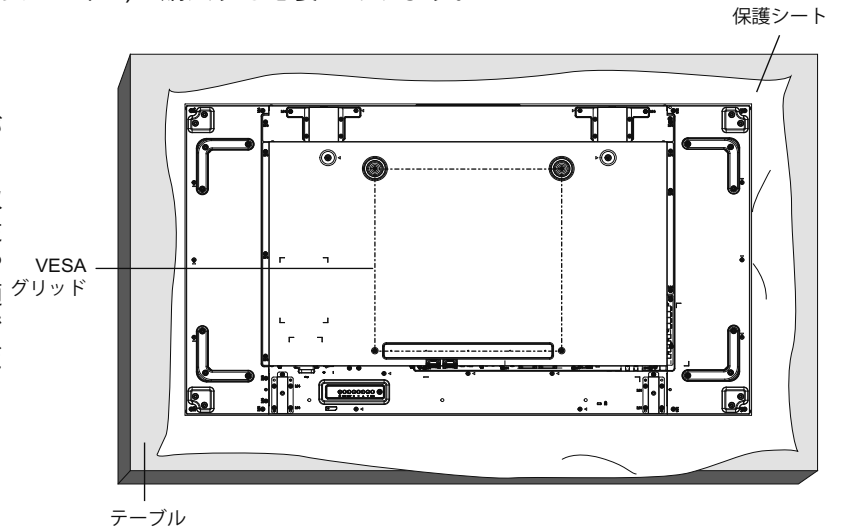
次の点にご注意ください。

1. 電池は常に2本1組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください（たとえば、マンガン電池とアルカリ電池など）。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行なわないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

VESA金具の取り付け

壁に本製品を取り付けるには、壁掛け金具(別売オプション)を購入する必要があります。

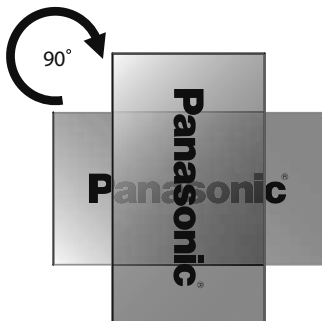
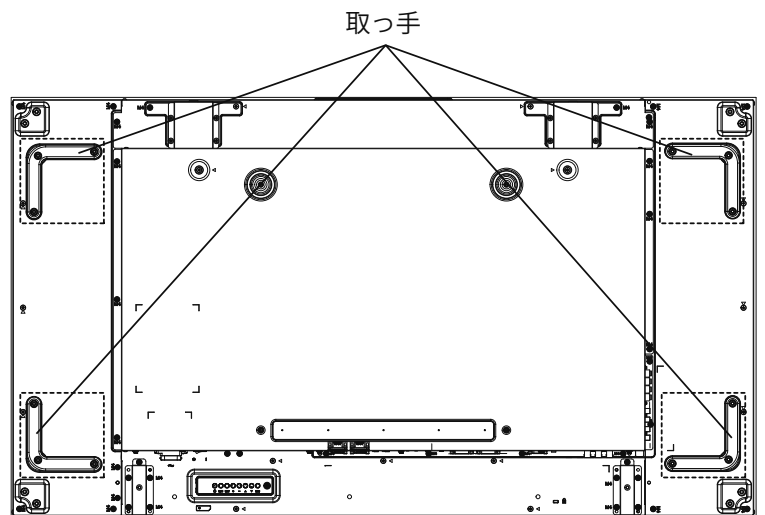
1. 梱包時に本製品を覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
2. 本製品を取り付けるためのすべての付属品があることを確認してください。
3. 壁取り付けキットに同梱の説明書に従って取り付けてください。正しい取り付け手順に従わない場合、本機の損傷、またはユーザーや取り付け作業者のけがにつながります。不適切な取り付けが原因の破損は、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。



設置または移動するときの注意

本製品の落下を防止するために:

- 本製品を移動させる際は、取っ手を持ちます。
- 取っ手以外の場所を持たないでください。
- 本製品を移動する際は、丁寧に、2人以上で持つようにします。本製品は不注意から壊れやすいことを念頭に置いてください。
- 本製品を天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属の説明書を参照してください。
- 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下によるけがや破損の可能性を下げるため、設置場所については必ず工事専門業者に相談してください。
- 縦置きするときは、本製品を右に回転させて、電源ランプを下側にして設定してください。



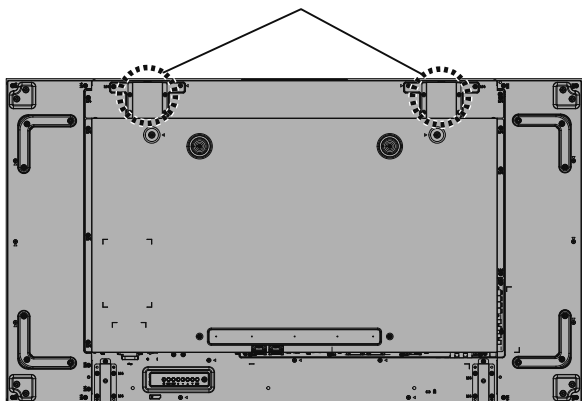
お知らせ:

- 左に回転させて使用しないでください。

アイボルト

本機には、アイボルト取り付け穴があります。設置の際、本機をつり上げるためにご利用ください。

アイボルト取り付け位置

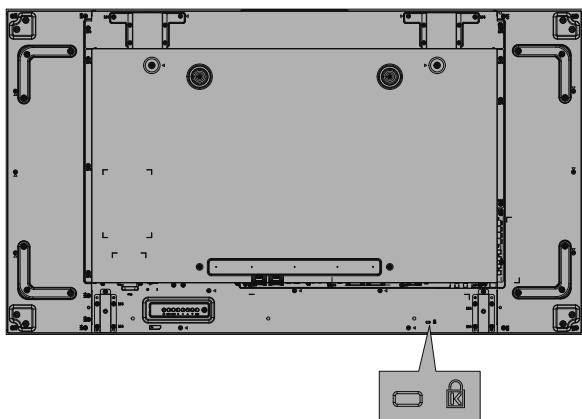


注：

- 吊り下げ工事は工事専門業者にご依頼ください。
- アイボルト 1 本で吊り下げしないでください。
- アイボルトは一時的な吊り下げまたは移動にのみ使用してください。

ケンジントン セキュリティ

ケンジントン セキュリティスロット

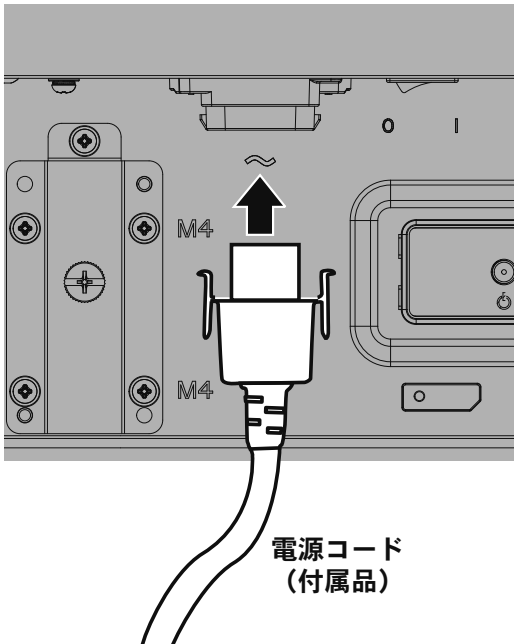


注：

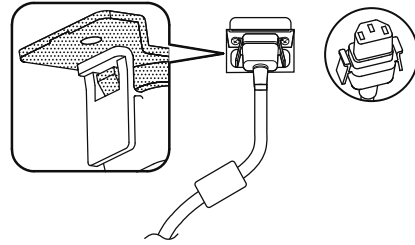
このセキュリティスロットはケンジントン セキュリティケーブルと互換性があります。

接続

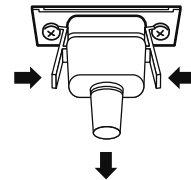
電源コードの接続とケーブルの取り付け



- 電源コードを本機に取り付けます。
- カチッと音がするまで電源コードをしっかりと差し込みます。電源コードの左右がロックが掛かっていることを確認してください。



- コネクター横のつまみを押しながら抜いてください。

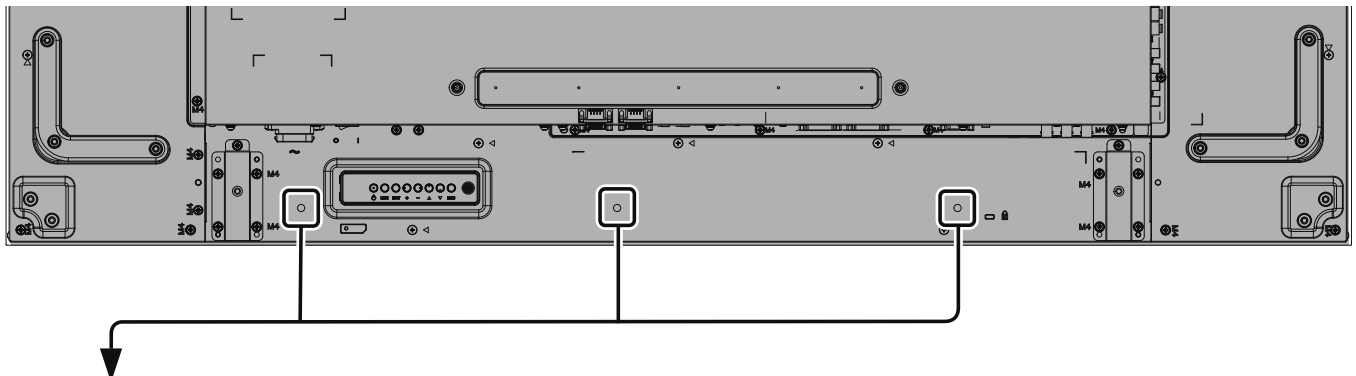


お知らせ：電源コードを外すとき。

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

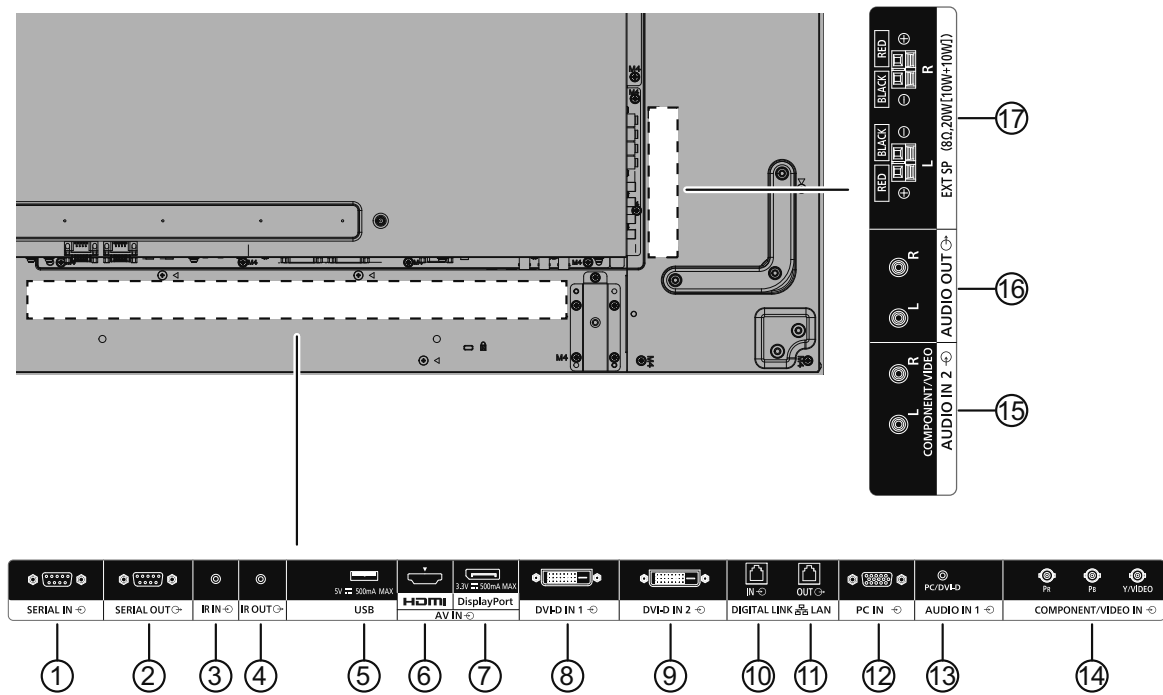
クランパーの使用

必要に応じてクランパーで不要なケーブルを固定します。



1 クランパーの取り付け クランパーを穴に挿入します。	本体から取り外すには： ① 両側のスナップを押し続けます	2 ケーブルを束ねる フック	緩めるには： ① ノブを押し続けます

映像機器の接続



①/② SERIAL IN、SERIAL OUT

シリアル入出力端子。PC に接続してディスプレイを制御します。

③/④ IR IN、IR OUT

1 台のリモコンで複数ディスプレイを制御するには、この IR OUT 端子を次のディスプレイの IR IN 端子に接続してください。

最初の本体側から受信したリモコン信号は、2 番目の本体側に送信されます。

⑤ USB

USB 端子 記憶装置を接続します。

⑥ HDMI IN

HDMI 映像/音声入力。

⑦ DisplayPort IN

Display Port 信号の入力端子。

Display Port 信号出力を持つ装置を接続します。

⑧/⑨ DVI-D IN-1、DVI-D IN-2

DVI-D 信号入力端子

⑩/⑪ DIGITAL LINK、LAN IN/OUT

DIGITAL LINK 端子 (LAN と共用)

DIGITAL LINK 対応の映像/音声信号出力装置から IN 端子に接続し、ディスプレイを制御及び映像/音声信号を受信します。

複数台に同時に伝送する場合、OUT 端子から次の IN 端子に接続してください。(最大 10 台まで)

⑫ PC IN

PC からの映像入力端子

⑬ AUDIO IN 1 (DVI-D / PC)

DVI-D IN、PC IN に接続している装置の音声出力を接続します。

⑭ COMPONENT/VIDEO IN

外部 AV 機器からコンポーネント信号 (YPbPr) を入力します。

コンポジット信号入力の場合、AV 装置の映像出力端子から、本機の Y 入力端子に接続します。

PIN 端子ケーブルの場合は BNC-PIN 変換アダプタが必要です。

⑮ AUDIO IN 2 (COMPONENT/VIDEO)

接続している装置の外部音声出力を接続します。

⑯ AUDIO OUT

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

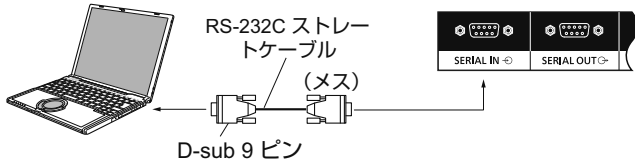
⑰ EXT SP

外部スピーカー出力端子

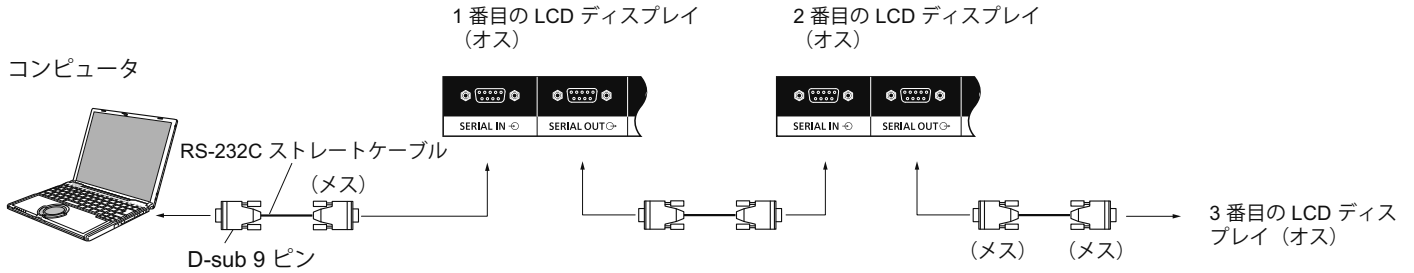
シリアル端子の接続

シリアル端子は、パソコンと接続して本機をコンピュータ制御するために使用します。

コンピュータ



また、複数の LCD ディスプレイをデージーチェーン接続しながら、特定の LCD ディスプレイを PC でコントロールすることができます。



お知らせ：

- コンピュータをディスプレイに接続するには、RS-232C ストレートケーブルを使用してください。
- 接続ケーブルは本機に付属していません。
- デージーチェーンを使用する場合は、制御端子メニューで「RS232Cデージーチェーン_接続位置」を設定してください。(59ページ)
- デージーチェーン接続する場合は、②～⑧のピン No. に接続されているストレートケーブルを使用してください。

コンピュータは、右記の条件を満足する制御データの送受信を可能にするソフトウェアを必要とします。プログラミング言語ソフトウェアなどのコンピュータアプリケーションを使用してください。詳細については、コンピュータアプリケーションのマニュアルを参照してください。

シリアル入力端子の信号名：

ピン No.	信号名
②	RXD
③	TXD
④	DTR
⑤	GND
⑥	DSR
⑦	← (本体側で短絡)
⑧	
①⑨	NC

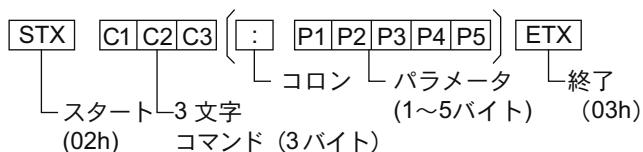
これらの信号名はコンピュータ仕様のものです。

通信パラメータ：

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	非同期
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
文字長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし

制御データの基本形式

コンピュータからのコントロールデータの伝送は STX 信号で開始され、続いてコマンド、パラメータ、最後に ETX 信号の順に送信します。パラメータがない場合、パラメータ信号を送信する必要はありません。



お知らせ：

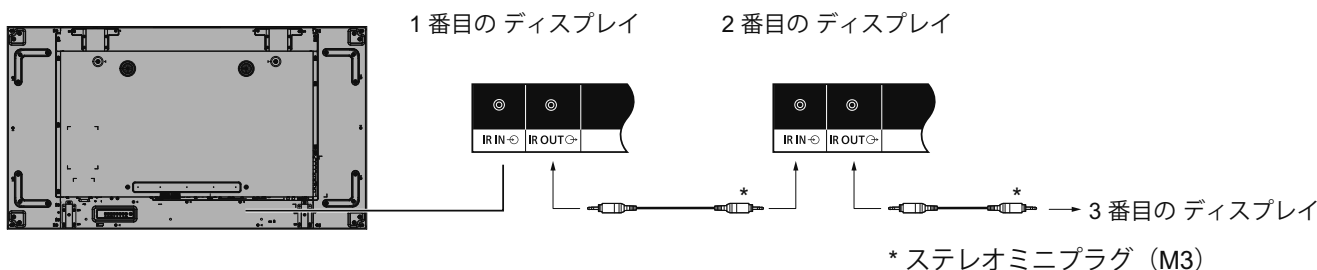
- 複数のコマンドを送信する場合は、まず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。
- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがコンピュータ側に送信されます。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。
- 電源がオフ状態では、このディスプレイは、PON コマンドにのみ応答します。

コマンド

コマンド	パラメータ	制御内容
PON	なし	電源オン
POF	なし	電源オフ
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音オフ
	1	消音オン
IMS	なし	入力選択 (トグル)
	VD1	VIDEO IN 入力 (VIDEO)
	YP1	COMPONENT/RGB IN 入力 (Component)
	HM1	HDMI 入力 (HDMI)
	DV1	DVI-D1 IN 入力 (DVI-D1)
	DV2	DVI-D2 IN 入力 (DVI-D2)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
	DL1	DIGITAL LINK 入力
	DP1	DisplayPort 入力
	UD1	USB 入力
DAM	なし	画面モード切替 (トグル)
	ZOOM	ズーム 1
	FULL	フル
	NORM	ノーマル
	ZOM2	ズーム 2

IR IN / IR OUT 端子接続の例

3.5 mm ステレオミニプラグを使用して、1 番目のディスプレイの IR OUT から 2 番目のディスプレイの IR IN に接続します。1 番目のディスプレイからの リモコン受信部 信号は、2 番目のディスプレイに送信されます。

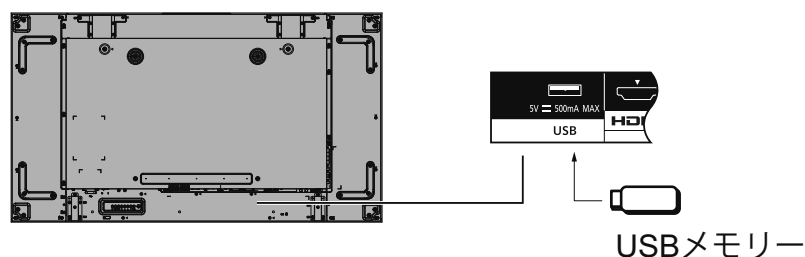


なお、上記接続を繰り返すことで、デイジーチェーン接続が可能です。

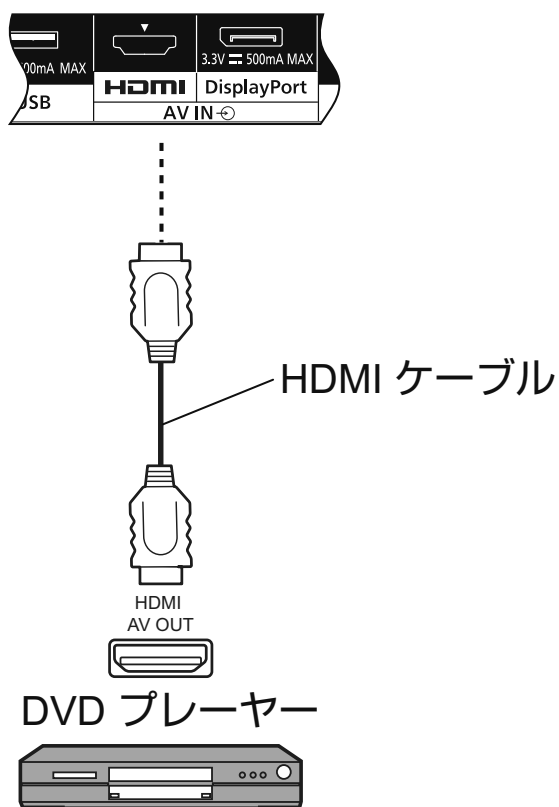
お知らせ：

「制御端子設計メニュー」の「IR制御」を「IR IN」に、「IR出力」を「IR OUT」に設定してください。(59 ページ)

USB 端子を使用する接続の例



HDMI 接続の例



【ピン割当てと信号名】

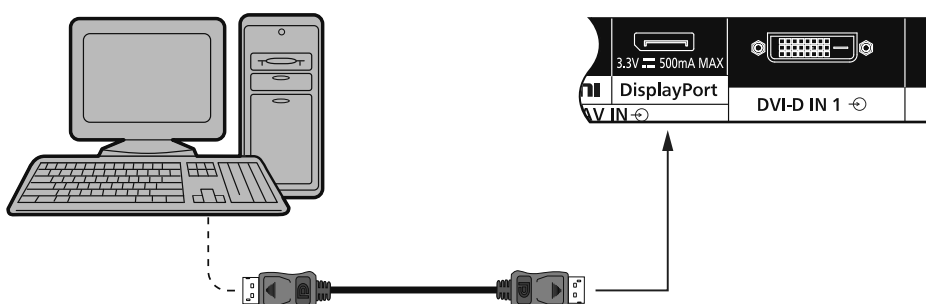
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S.データ 2 +	⑪	T.M.D.S.クロックシールド
②	T.M.D.S.データ 2 シールド	⑫	T.M.D.S.クロック -
③	T.M.D.S.データ 2 -	⑬	CEC
④	T.M.D.S.データ 1 +	⑭	未使用 (接続なし)
⑤	T.M.D.S.データ 1 シールド	⑮	SCL
⑥	T.M.D.S.データ 1 -	⑯	SDA
⑦	T.M.D.S.データ 0 +	⑰	DDC/CEC アース
⑧	T.M.D.S.データ 0 シールド	⑱	+5 V 直流
⑨	T.M.D.S.データ 0 -		ホットプラグ検出
⑩	T.M.D.S.クロック +		

お知らせ :

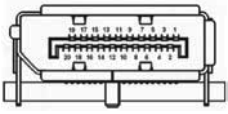
- 映像機器、HDMI ケーブルは本機に付属していません。

DisplayPort の接続

DisplayPort 出力付き PC



DisplayPort ケーブル

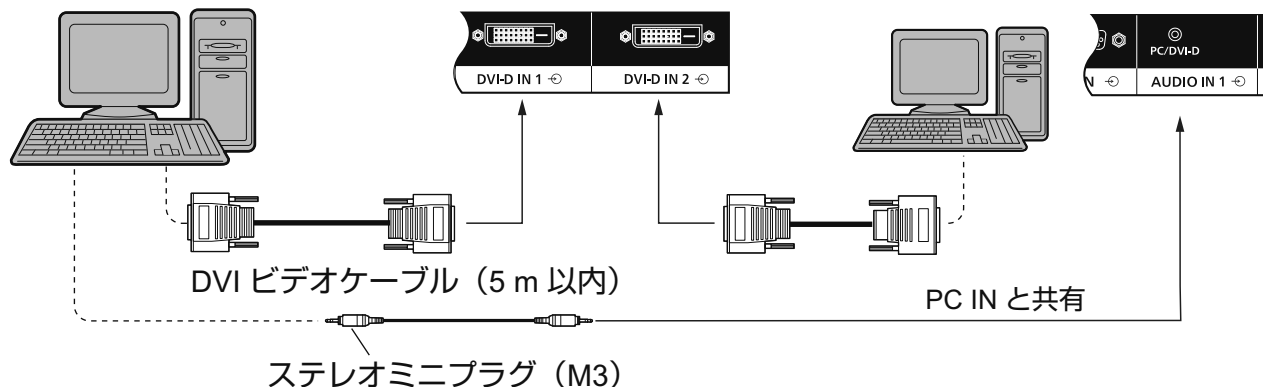
DisplayPort 入力コネクタのピン配列 :		ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
 <p>接続ポートの表示</p>	①	レーン 0 (p)	⑪	GND	
	②	GND	⑫	レーン 3 (n)	
	③	レーン 0 (n)	⑬	設定 1	
	④	レーン 1 (p)	⑭	設定 2	
	⑤	GND	⑮	AUX_CH (n)	
	⑥	レーン 1 (n)	⑯	GND	
	⑦	レーン 2 (p)	⑰	AUX_CH (p)	
	⑧	GND	⑱	ホットプラグ検出	
	⑨	レーン 2 (n)	⑲	DP Power_Return	
	⑩	レーン 3 (p)	⑳	DP 電源	

お知らせ:

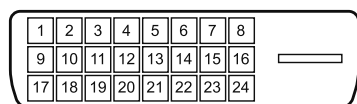
- DisplayPortは、DP++のみをサポートします。
- 映像機器、ケーブルは本機に付属していません。

DVI-D IN 1、DVI-D IN 2 の接続

DVI-D ビデオ出力 付き PC



DVI-D 入カコネクタのピン配列：



接続ポートの表示

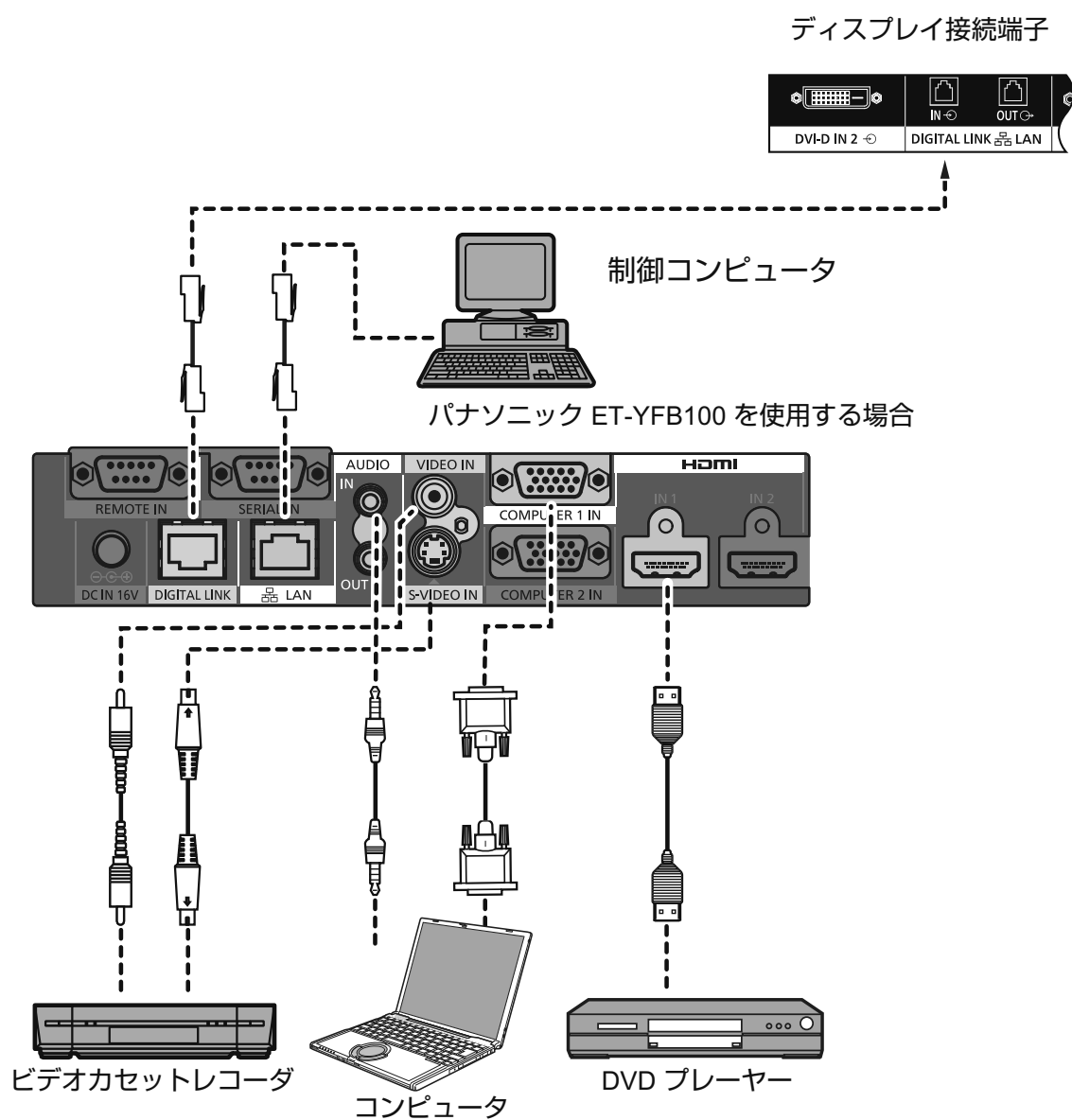
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	T.M.D.S.データ 2 -	⑬	—
②	T.M.D.S.データ 2 +	⑭	+5 V 直流
③	T.M.D.S.データ 2 シールド	⑮	アース
④	—	⑯	ホットプラグ検出
⑤	—	⑰	T.M.D.S.データ 0 -
⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S.データ 0 +
⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S.データ 0 シールド
⑧	—	⑳	—
⑨	T.M.D.S.データ 1 -	㉑	—
⑩	T.M.D.S.データ 1 +	㉒	T.M.D.S.クロックシールド
⑪	T.M.D.S.データ 1 シールド	㉓	T.M.D.S.クロック +
⑫	—	㉔	T.M.D.S.クロック -

お知らせ：

- 映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。

DIGITAL LINK 端子を使用する接続の例

パナソニック製 [Digital Interface Box] (ET-YFB100) などのツイストペアケーブル伝送器は、入力された映像信号および音声信号を送信するためにツイストペアケーブルを使用し、これらのデジタル信号は、DIGITAL LINK 入力端子を介してディスプレイに入力されます。



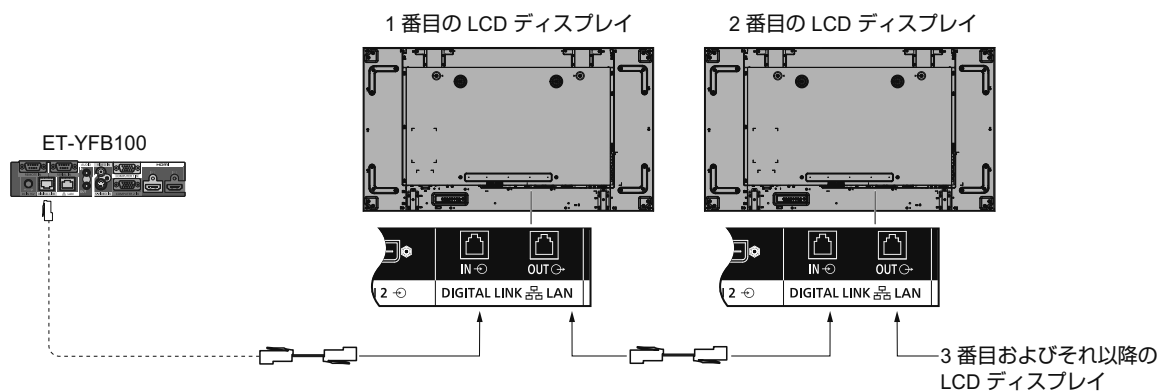
お知らせ：

- DIGITAL LINK を使用して接続する場合は、「ネットワーク設定」の各項目を設定してください。

接続

デージーチェーン接続：

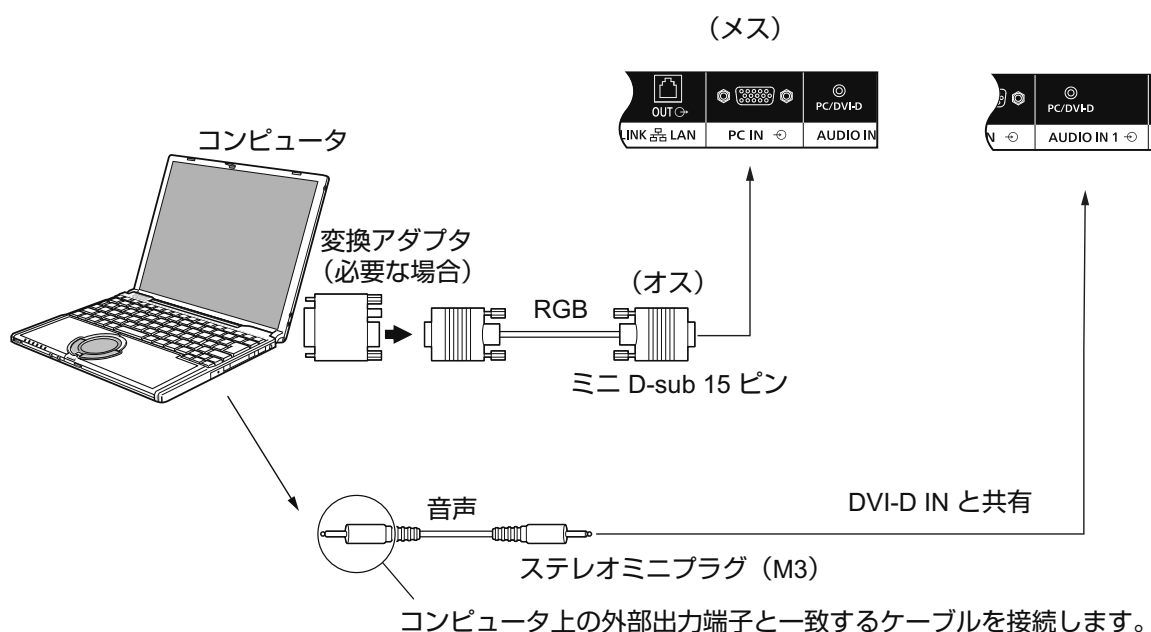
マルチ画面を使用する場合、複数の液晶ディスプレイをデージーチェーン接続することができます。



お知らせ：

- デージーチェーン接続では最大 10 台まで可能ですが、ケーブルや信号、使用する機器などによって接続可能台数が制限される場合があります。
- デージーチェーン時、HDCP 信号を入力する場合は、最大 8 台まで対応可能です。

PC 入力端子の接続の例



お知らせ :

- 入力可能なコンピュータ信号は、水平走査周波数で 30 ~ 110 KHz、垂直走査周波数で 48 ~ 120 Hz の信号です。(しかし、信号が 1,200 ラインを超えた場合は、画像は正しく表示されません。)
- 最大解像度は、1,440 × 1,080 ドット (画面モード「4:3」時) および 1,920 × 1,080 ドット (画面モード「フル」時) です。画面解像度がこれらの上限を超えると、十分明確に細部を表示できない可能性があります。
- PC 入力端子は、DDC2B と互換性があります。接続しているコンピュータが DDC2B に対応していない場合、接続時にコンピュータへの設定変更を行う必要があります。
- PC モデルによっては、本機と接続できないものもあります。
- DOS/V 互換のミニ D-sub 15 ピン端子を備えたコンピュータの場合、アダプタを使用する必要はありません。
- 映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。
- PC 信号の水平および垂直走査周波数を指定された周波数範囲を上回るまたは下回る範囲に設定しないでください。

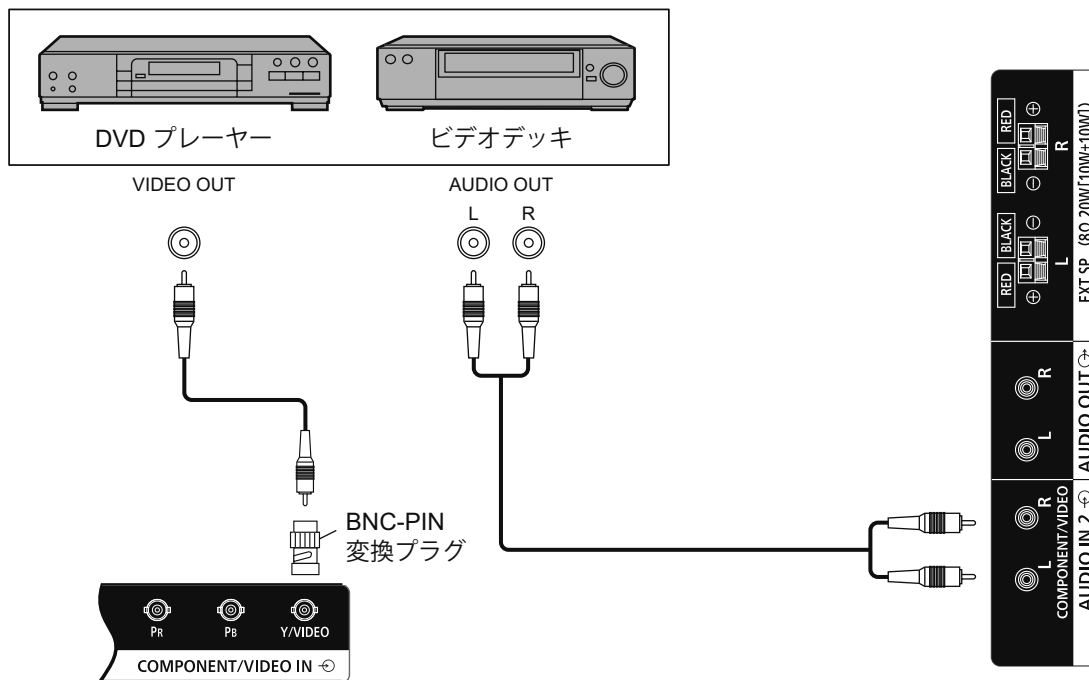
ミニ D-sub 15 ピンコネクタの信号名

ピン No.	信号名	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
①	R	⑥	GND (アース)	⑪	NC (無接続)
②	G	⑦	GND (アース)	⑫	SDA
③	B	⑧	GND (アース)	⑬	HD/SYNC
④	NC (無接続)	⑨	+5 V 直流	⑭	VD
⑤	GND (アース)	⑩	GND (アース)	⑮	SCL

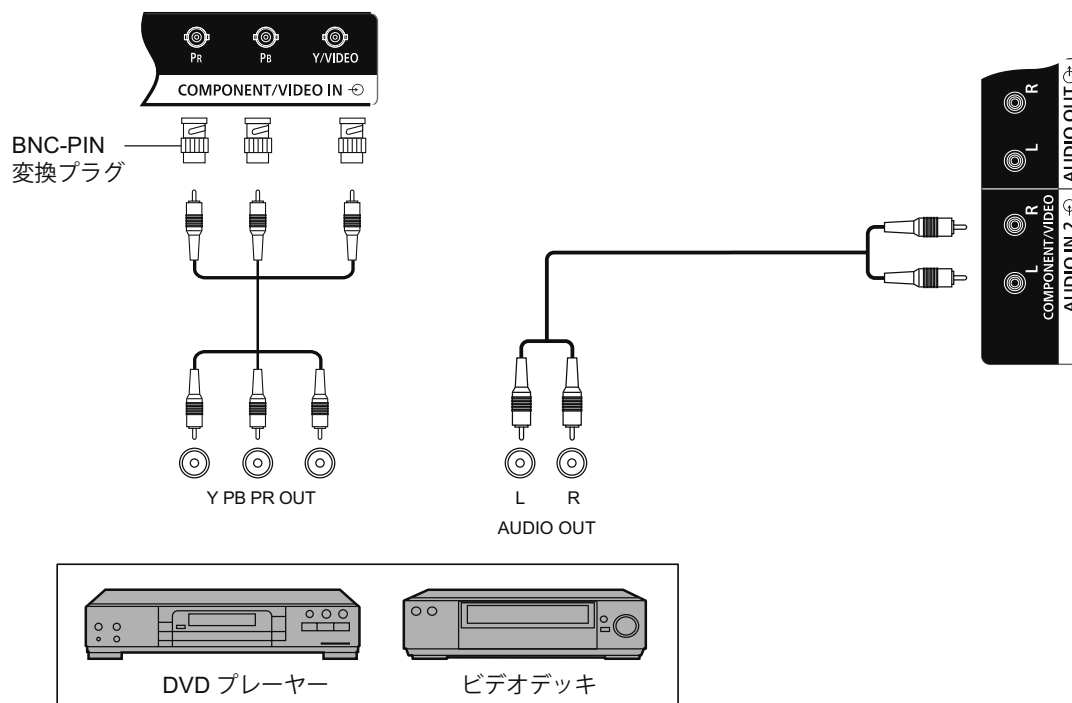
VIDEO IN 接続の例

お知らせ：

- 映像機器、接続ケーブル、変換プラグは本機に付属していません。



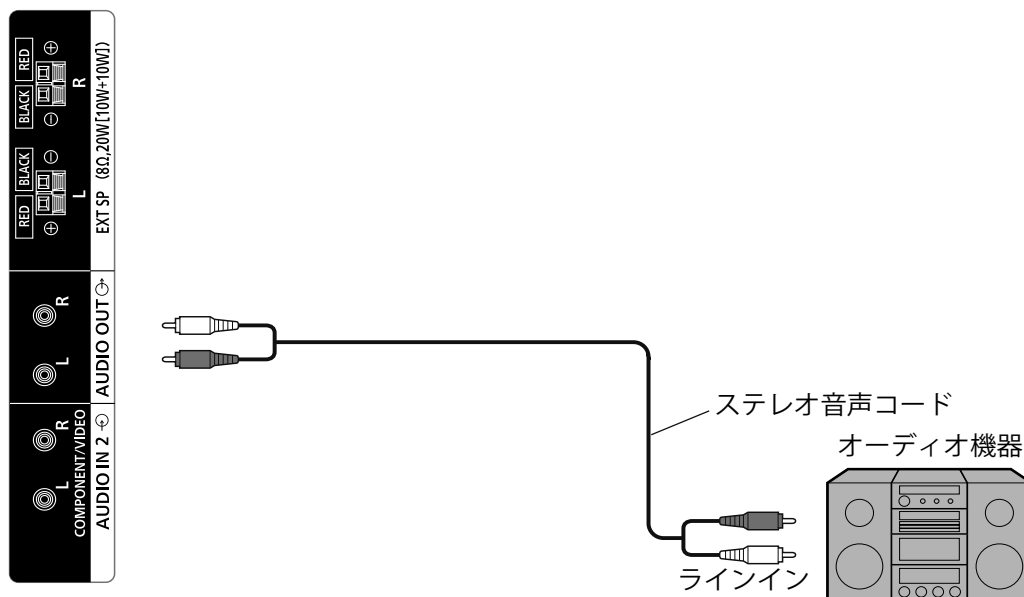
COMPONENT 接続の例



AUDIO OUT（音声出力）接続の例

お知らせ：

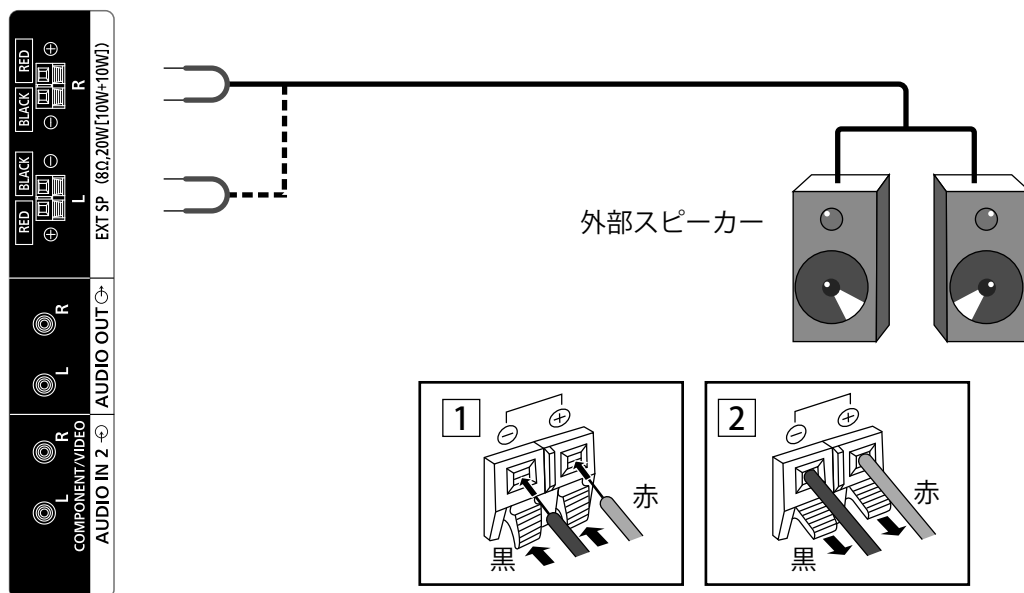
- AUDIO OUT は外部オーディオ機器接続専用端子です。
- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



スピーカーの接続

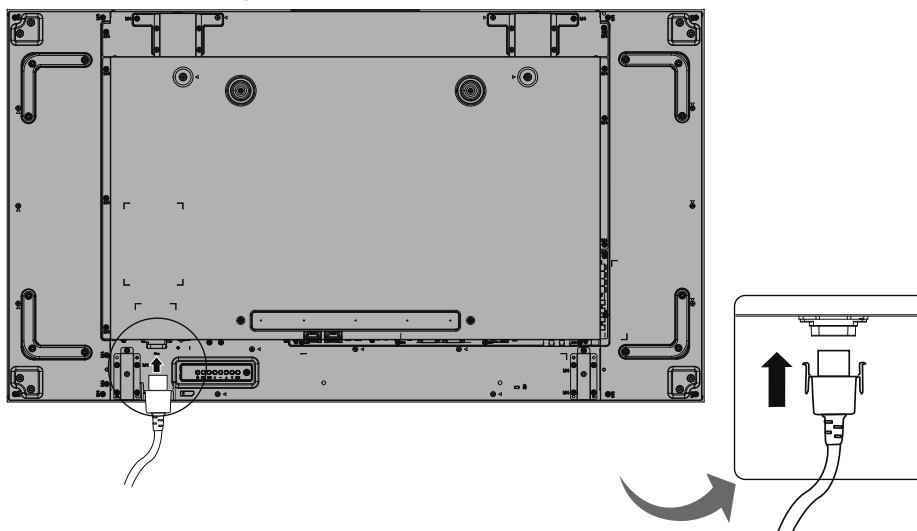
お知らせ：

- レバーを押しながら芯線を挿入します。
- レバーを戻します。



電源オン/オフ

ディスプレイに電源コードのプラグを接続します。

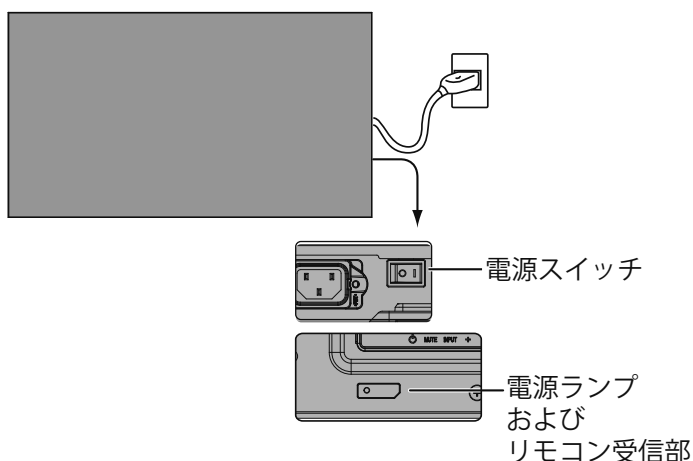


コンセントにプラグを接続します。

お知らせ：

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- ディスプレイの電源スイッチを押して、本機をオンにします。

電源ランプ：緑






POWER ON



STANDBY



- リモコンの  ボタンを押して、ディスプレイをオフに切り替えます。
電源ランプ：赤（スタンバイ）
- リモコンの  ボタンを押して、ディスプレイをオンに切り替えます。
電源ランプ：緑
- ディスプレイがオンまたはスタンバイモードの時、本体の  スイッチを押して、ディスプレイの電源をオフにします。

お知らせ：

- パワーマネージメントの動作中、電源オフの状態では電源ランプは橙色になります。

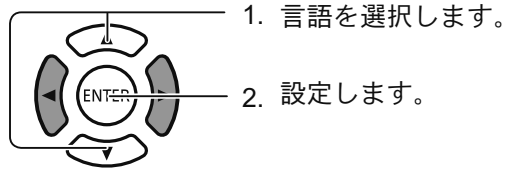


初めて本体の電源を「オン」にしたとき

電源を入れると、次の画面が表示されます。

リモコンで項目を選択します。本体のボタンは無効になります。

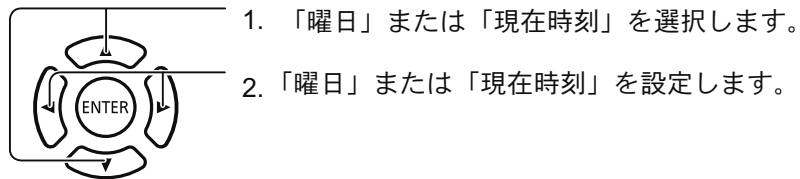
表示言語切換



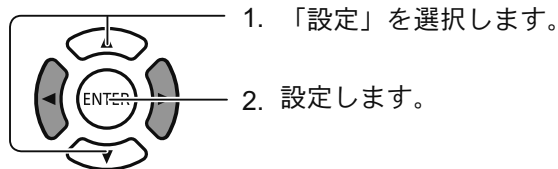
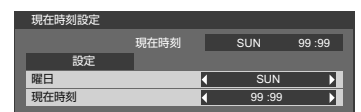
1. 言語を選択します。
2. 設定します。



現在時刻設定



1. 「曜日」または「現在時刻」を選択します。
2. 「曜日」または「現在時刻」を設定します。



1. 「設定」を選択します。
2. 設定します。



お知らせ：

- 項目を設定すると、次に本体の電源を入れるとき、この画面は表示されません。
- 設定後、次のメニューで項目を変更することができます。
表示言語切換
現在時刻設定

入力信号の選択

INPUT

リモコンの INPUT ボタンを押して、ディスプレイに接続された機器から再生される信号を選択します。

入力信号は次のように変わります。

→HDMI→DisplayPort →DIGITAL LINK→DVI-D1→DVI-D2→PC→Component →VIDEO →USB(toggle)→

HDMI : AV IN (HDMI) の HDMI 入力端子。

DisplayPort : AV IN (DisplayPort) の DisplayPort 入力端子。

DVI-D1、DVI-D2 : DVI-D IN の DVI-D1 または DVI-D2 入力端子。

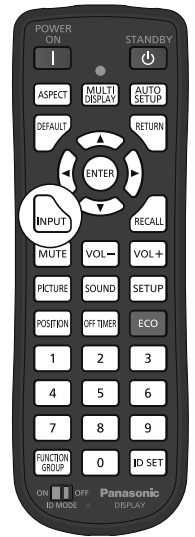
Component : COMPONENT IN の Component 入力端子。

VIDEO : VIDEO IN のビデオ入力端子。

PC : PC IN の PC 入力端子。

USB : USB 入力端子。

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK 端子の DIGITAL LINK 入力。



お知らせ :

- また、本体側のINPUTボタンを押すことで選択することもできます。
- COMPONENT/VIDEO 入力端子に接続されたソースからの信号に合わせて選択します。(41ページ)



(27ページ)

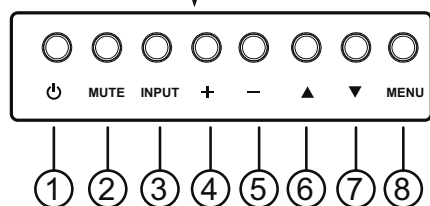
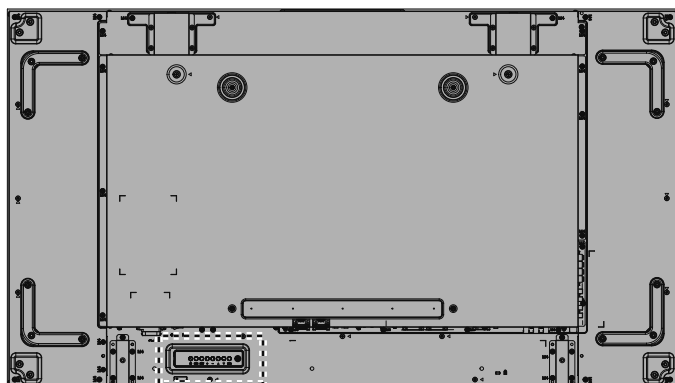
基本操作

本体

電源ランプ

電源ランプが点灯します。

- 電源「切」-----消灯（電源コードがコンセントに接続されている間は、本機はある程度の電力を消費します）
 - スタンバイ-----赤
 橙（「ネットワーク 制御」が「オン」に設定されている場合）。
 - 電源「入」-----緑
- PC パワーマネージメント（DPMS）、および他の入力のパワーマネージメント（DVI、HDMI）橙（各入力信号有）。



① 電源ボタン

ディスプレイの電源を入れるか、ディスプレイをスタンバイ状態にします。

② MUTE ボタン

音声のミュートのオンとオフを切り替えます。

③ INPUT ボタン

- 入力ソースを選択します。
- オンスクリーンメニューが表示されているときにこのボタンを使用して選択します。

④ [+] ボタン

オンスクリーンメニューがオンになっているときは調整値を上げ、オンスクリーンメニューがオフになっているときには音量レベルを上げます。

⑤ [-] ボタン

オンスクリーンメニューがオンになっているときは調整値を下げ、オンスクリーンメニューがオフになっているときには音量レベルを下げます。

⑥ [▲] ボタン

オンスクリーンメニューがオンになっているときに、ハイライトバーを上移動して選択した項目を調整します。

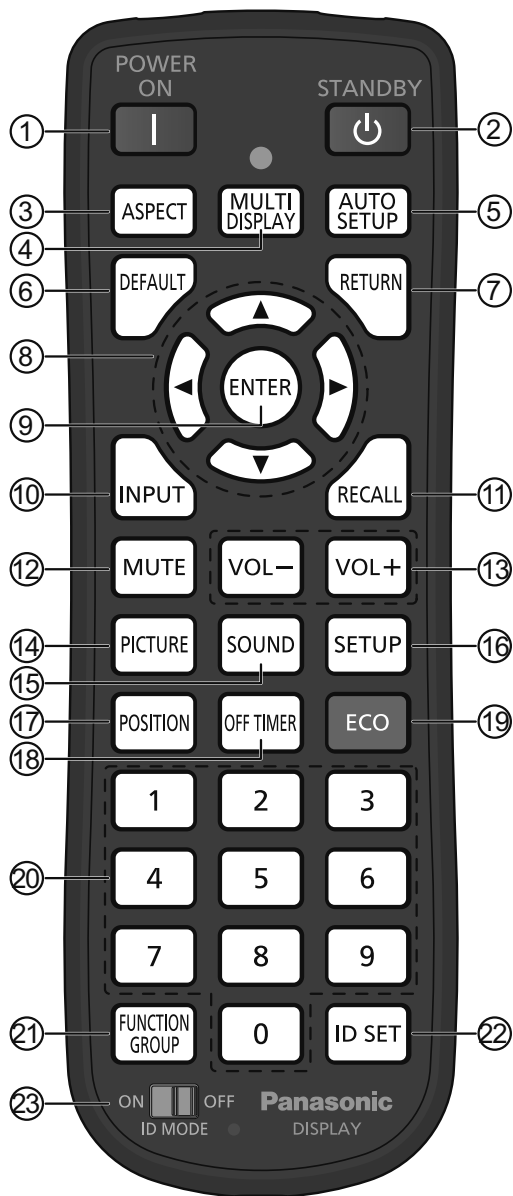
⑦ [▼] ボタン

オンスクリーンメニューがオンになっているときに、ハイライトバーを下移動して選択した項目を調整します。

⑧ MENU ボタン

オンスクリーンメニューがオンになっているときには前のメニューに戻ります。オンスクリーンメニューがオフになっているときにはオンスクリーンメニューを有効にします。

リモコン



① [POWER ON] ボタン

スタンバイモードからディスプレイの電源をオンにします。

② [STANDBY] ボタン

ディスプレイを電源オンモードからスタンバイモードに切り替えます。

③ [ASPECT] ボタン

アスペクト比を選択します。

④ [MULTI DISPLAY] ボタン

「マルチ画面」メニューを表示します。

⑤ [AUTO SETUP] ボタン

画面の位置とサイズを自動的に調整します。

⑥ [DEFAULT] ボタン

オンスクリーンメニューの項目を出荷時のデフォルト値に戻します。

⑦ [RETURN] ボタン

前のメニュー画面に戻ります。

⑧ 上下左右ボタン

⑨ [ENTER] ボタン

項目を選択します。

⑩ [INPUT] ボタン

入力信号を連続して選択します。

⑪ [RECALL] ボタン

現在のシステムの状態を表示します。

- 入力表示書換設定
- 画面モード
- オフタイマー（オフタイマーインジケータはオフタイマーが設定されている場合のみ表示されます）
- 消音
- Clock Display (68 ページ)

⑫ [MUTE] ボタン

音声をミュートします。

ミュートを解除するには、もう一度押します。

電源がオフになったり、音量レベルが変わると、音声も復帰します。

⑬ 音量の調整

「VOL+」または「VOL-」を押して、音量レベルを上げ下げします。

⑭ [PICTURE] ボタン

「画質の調整」メニューを表示します。

⑮ [SOUND] ボタン

「音声の調整」メニューを表示します。

⑯ [SETUP] ボタン

「初期設定」メニューを表示します。

⑰ [POSITION] ボタン

「位置調整」メニューを表示します。

⑱ [OFF TIMER] ボタン

ディスプレイを一定時間後にスタンバイに切り替わるように事前設定することができます。ボタンを押すたびに、30分、60分、90分、0分（オフタイマーのキャンセル）に設定が変更されます。

→ 30分 → 60分 → 90分 → 0分

残り3分になると、「オフタイマー3分」が点滅します。停電が発生した場合、オフタイマーは解除されます。

⑲ [ECO] ボタン

ECOモード設定状態を変更します。

⑳ 数字ボタン

数字ボタンを押す前に ID SET ボタンを押すと、数字ボタンが ID 番号を設定するために使用されます。

複数の数字ボタンを別々に押すと、「ファンクション

グループ」ガイドが表示されます。

②1 [FUNCTION GROUP] ボタン

「ファンクショングループ」ガイドメニューを表示します。

②2 [ID SET] ボタン

以下の手順を使用してリモコンの ID 番号を設定します。

- [ID SET] ボタンを押します。
- ID 番号を押します。調整可能な ID 番号の範囲は、0 ~ 100 です。

このボタンを 3 秒以上押し続けると ID 番号が「00」に設定されます。「ID 番号 =00」は、ディスプレイの ID 番号に関係なくディスプレイが機能することを意味します。

②3 ID MODE スイッチ

ID モードを使用する場合は ON に設定します。

NORMAL（通常）モードを使用する場合は OFF に設定します。

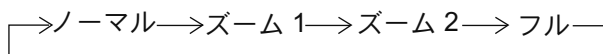
画面制御

ワイドスクリーンのシネマ形式の画像を含め、最大サイズで画像を表示して楽しむことができます。

お知らせ：

- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上の権利を侵害する恐れがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。

ASPECT 繰り返し押すことで、画面モードを切り替えます。



お知らせ：

- 画面モードは、各入力端子ごとに別々に記憶されます。



画面モード	映像 → 拡大画面	説明
ノーマル		4:3 映像をそのまま表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。
		16:9 信号内の 4:3 映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。
ズーム 1		16:9 のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。
ズーム 2		16:9 のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。
フル		映像を画面いっぱいに表示します。 SD 信号の場合は 4:3 の映像を横方向に拡大します。4:3 に縮小処理された 16:9 映像を横方向に拡大して表示するのに適しています。

基本制御

マルチ画面

マルチ画面の映像を表示します。

1. 操作ガイドを表示します。



————— マルチ画面メニューを表示します。



自動位置補正

水平位置／垂直位置、水平サイズ／垂直サイズ、ドットクロックおよびクロック位相は、RGB または PC 信号を受信すると自動的に調整されます。

この設定は、PC 信号または RGB 信号が入力で、かつ、画面モードが「16:9」の場合のみ動作します。



————— 押して、自動位置補正にアクセスします。「自動位置補正」が実行されます。

自動位置補正が動作しない場合、「無効操作」と表示されます。

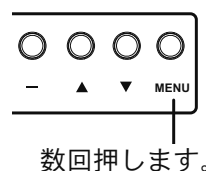
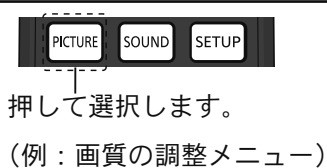


オンスクリーンメニューについて

リモコン

本体

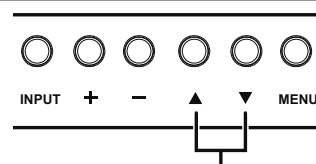
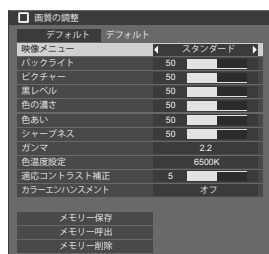
1 メニュー画面を表示します。



MENU ボタンを押すたびにメニュー画面が切り換わります。

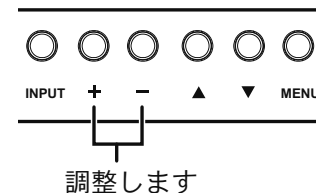
→ 通常表示 → 画質の調整
音声の調整 ← 位置調整 ← 初期設定 ←

2 設定項目を選択します。

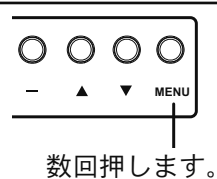
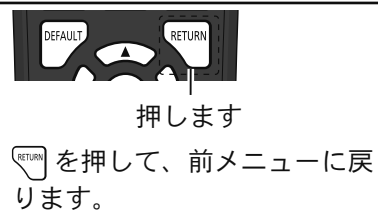


(例：画質の調整メニュー)

3 設定する。



4 メニューを終了します。

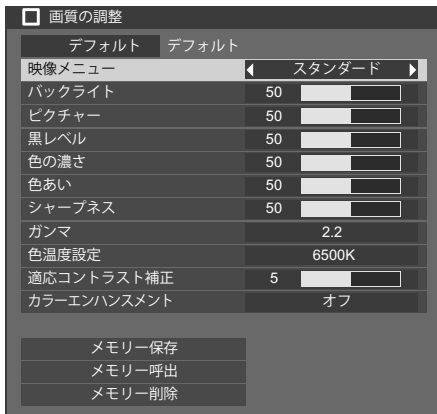


オンスクリーンメニューについて

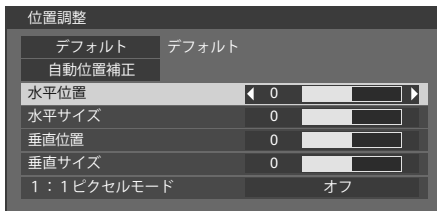
メニュー画面一覧

注：調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

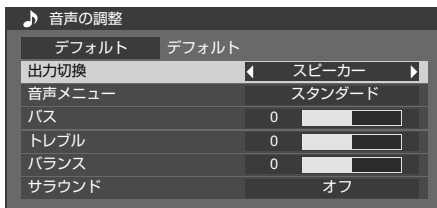
画質の調整メニュー



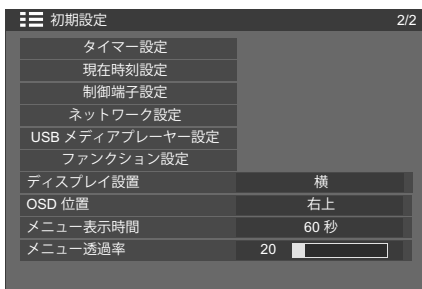
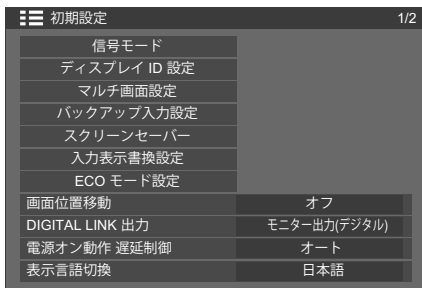
位置調整メニュー



音声の調整メニュー



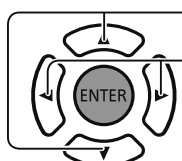
初期設定メニュー



画質の調整

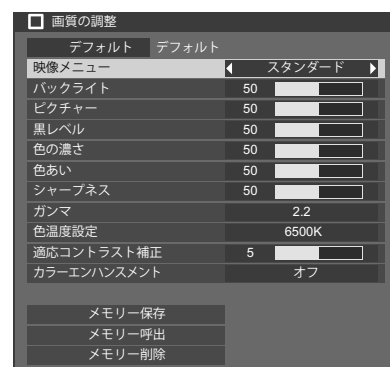
1 **PICTURE** 押して、画質の調整メニューを表示します。

2 選択して各項目を調整します。

 押して、調整するメニューを選択します。
メニューの背後の映像のレベルを選択します。

注：

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。



映像メニュー：

左◀または右▶ボタンを押して、モード間を切り替えます。

→スタンダード← →ダイナミック←
→ シネマ ←

ノーマル：標準（夜照明）環境での表示の場合。

ダイナミック：明るい環境での表示の場合。

シネマ：明るさが低下してトーンに焦点を当てた映像を表示して使用する場合。

バックライト：バックライトの輝度を調整します。

ピクチャー：適切な映像のコントラストを調整します。

黒レベル：夜景および黒髪などの暗い写真が見やすくなるように調整します。

色の濃さ：色の彩度を調整します。

色あい：自然な色に調整します。

シャープネス：映像のシャープネスを調整します。

ガンマ：明るさ感を調整します。

左◀または右▶ボタンを押して、モード間を切り替えます。

→ 2.0 ↔ 2.2 ↔ 2.4 ↔ 2.6 ←

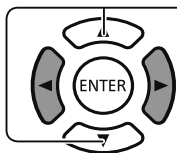
色温度設定：画面色調を調整します。

左◀または右▶ボタンを押して、モード間を切り替えます。

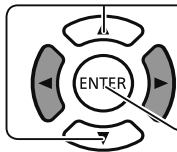
→ 3200K ↔ 4000K ↔ 5000K ↔ 6500K ↔ 7500K ↔ 9300K ↔ 10700K ↔ ネイティブ ↔ USER1 ↔ USER2 ←

色温度の調整方法

1 押して、「色温度設定」を選択します。



2 押して、調整するモードを選択します。

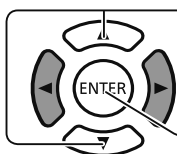


押して、「色温度変更」メニューに入ります。

3200K から 10700K のモードを選択することにより、そのデータに基づく調整が可能になります。

調整されたデータは「USER1」または「USER2」に保存されます。（選択可能です。）「USER1」または「USER2」が選択されている場合、手順 5 に進みます。

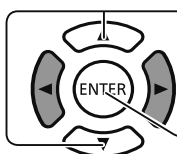
3 (3200K から 10700K のモードが選択された場合)



押して、モード「USER1」または「USER2」を選択します。

押して、次の手順に進みます。

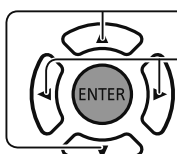
4 (3200K から 10700K のモードが選択された場合)



押して、「はい」または「いいえ」を選択します。

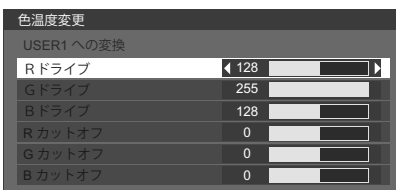
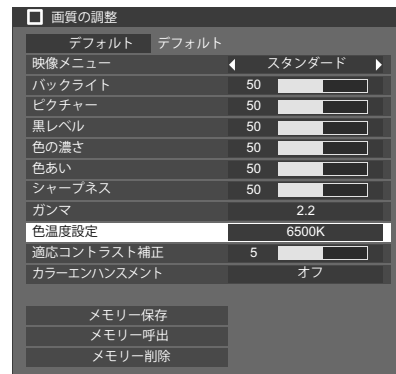
押して、次の手順に進みます。

5 押して、調整する項目を選択します。



押して、各項目を調整します。

6 RETURN を押して、「色温度変更」メニューを終了します。



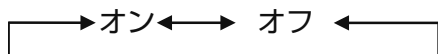
適応コントラスト補正：

動画など変化していく映像に対して、色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整します。

カラーエンハンスメント：

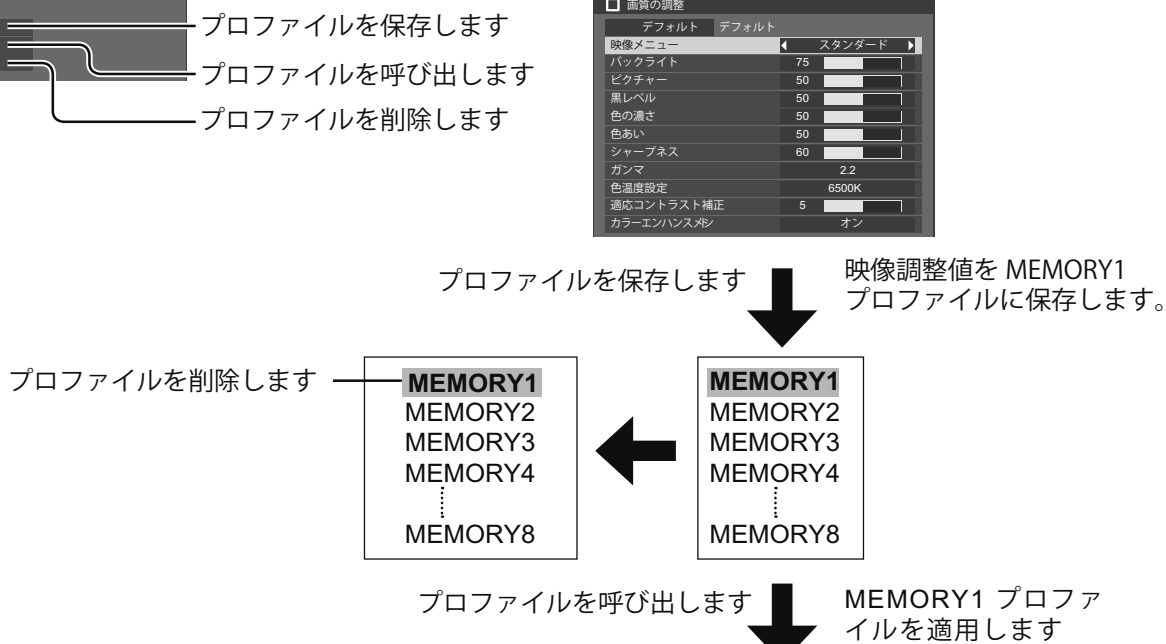
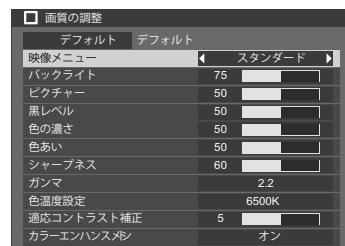
オンのとき、色を協調して表示します。

左 ◀ または 右 ▶ ボタンを押して、モード間を切り替えます。



画質の調整のプロファイル :

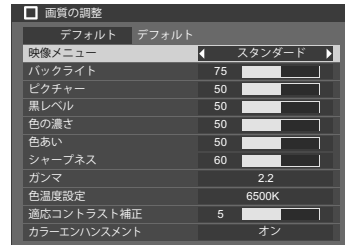
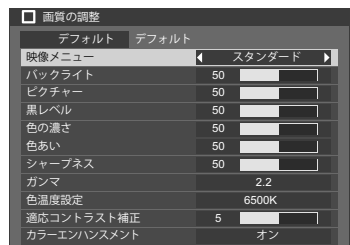
最大 8 種類の画質の調整の設定の組み合わせ（画質の調整メニュー）をプロファイルとしてディスプレイのメモリに保存し、必要なときに適用できます。好みの画質の設定を簡単に利用できます。



オリジナル映像



カスタム映像



- メモリー保存** : 映像調整値をプロファイルに保存します。
- メモリー呼出** : プロファイルを読み出し、保存した画質の調整を適用します。
- メモリー削除** : プロファイルを削除します。

画質の調整

メモリー保存

映像調整値を プロファイルに保存します。

- 1 画質の調整メニューおよび詳細設定で、画質を指定します。
- 2 画質の調整メニューで、「メモリー保存」を選択します。



- 3 映像調整値を保存するためのプロファイル名を選択します。



映像調整がすでに保存されているプロファイルには、「*」が表示されます。

- 4 「はい」を選択します。



メモリー呼出

プロファイルを呼び出し映像調整値を適用します。

- 1 画質の調整メニューで、「メモリー呼出」を選択します。



- 2 呼び出すプロファイルを選択します。



お知らせ：

- 呼び出されたプロファイルは、選択された入力端子に従って、メモリーに保存されます。

- 3 「はい」を選択します。



メモリー削除

プロファイルを削除します。

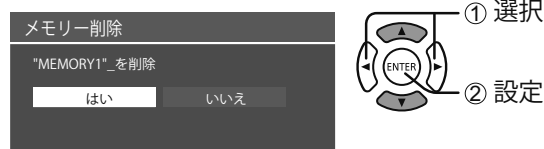
- 1 画質の調整メニューで、「メモリー削除」を選択します。



- 2 削除するプロファイルを選択します。すべてのプロファイルを削除するには、「すべて削除」を選択します。



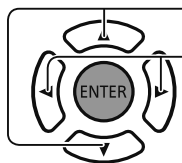
- 3 「はい」を選択します。



画面位置の調整

1 **POSITION** を押して、位置調整メニューを表示します。

2 選択して各項目を調整します。



押して、調整するメニューを選択します。

押して、メニューを調整します。

注：

- 調整できない項目はグレー表示されます。調整可能な項目は、入力信号と表示モードに応じて異なります。

位置調整	
デフォルト	デフォルト
自動位置補正	
水平位置	0
水平サイズ	0
垂直位置	0
垂直サイズ	0
1:1ピクセルモード	オフ

3 **POSITION** を押して、調整モードを終了します。

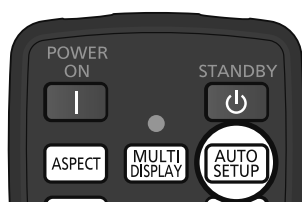
お知らせ：

- ビデオデッキまたは DVD プレーヤーからの「早送り」または「巻戻し」信号を受信すると、映像の位置は上下します。この映像の位置移動は、位置調整機能では制御できません。

自動位置補正 水平位置／垂直位置、水平サイズ／垂直サイズ、ドットクロックおよびクロック位相は、RGB または PC 信号を受信すると自動的に調整されます。

この設定は、PC 信号または RGB 信号が入力で、かつ、画面モードが「16:9」の場合のみ動作します。

リモコンの使用



リモコンの **AUTO SETUP** を押すと、「自動位置補正」が実行されます。

自動位置補正が動作しない場合、「無効操作」と表示されます。

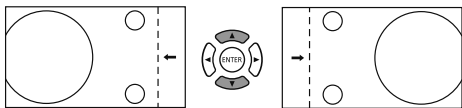
お知らせ：

- 自動位置補正は、トリミングされた画像または暗い画像が入力された場合、動作しない可能性があります。このような場合、境界線のある明るい画像および明確に表示される他のオブジェクトに切り替えて、再度自動位置補正を実行してください。
- 信号によっては、自動位置補正後にずれが生じる場合があります。必要に応じて、画像位置／サイズの微調整を行ってください。
- 自動位置補正が、垂直周波数 60Hz XGA 信号 (1024×768@60Hz, 1280×768@60Hz および 1366×768@60Hz) を正常に設定できない場合、「XGA モード」(42 ページを参照してください) で個々の信号を事前選択しておくことで自動位置補正が正しく動作する可能性があります。
- 付加情報が有効な画像期間外に重畳されている、または、同期と画像信号の間隔が短いなどの場合、自動位置補正は、正常に動作しません。
- 自動位置補正が正常に調整されない場合、「デフォルト」を選んで、ENTER (決定) を押し、画像位置を手動で調整してください。
- 自動位置補正を行った結果、映像が水平方向に画面外に出てしまった場合は、ドットクロック調整を行ってください。

画面位置の調整

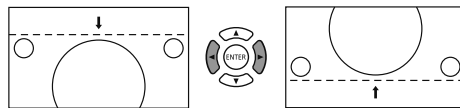
水平位置

水平位置を調整します。



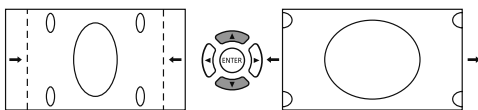
垂直位置

垂直位置を調整します。



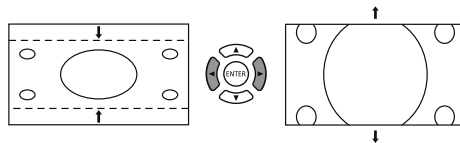
水平サイズ

水平サイズを調整します。



垂直サイズ

垂直サイズを調整します。



クロック位相

(RGB および PC 入力信号の間)

ちらつきや歪みを除去します。

ドットクロック

(RGB および PC 入力信号の間)

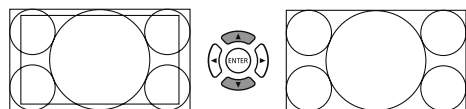
縞模様が表示されたときに定期的な縞模様の干渉（ノイズ）が発生することがあります。このような場合、ノイズが最小になるように調整します。

オーバースキャン

画像オーバースキャンオン/オフを切り替えます。

設定可能な信号は、次のとおりです。

525i、525p、625i、625p、750/60p、750/50p (HDMI、DisplayPort、DVI-D IN 1、DVI-D IN 2、DIGITAL LINK、コンポーネントビデオ)



オン

オフ

お知らせ：

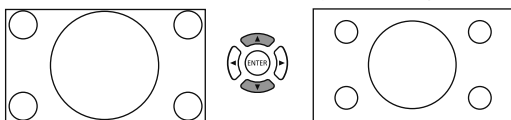
- ・ 「オフ」に設定した場合、「水平サイズ」および「垂直サイズ」は調整できません。

1:1 ピクセルモード

1125i または 1125p 信号が入力されているときに、画面サイズを調整します。

お知らせ：

- ・ 1920 × 1080 入力信号を再生する場合は、オンを選択します。
- ・ 対応する入力信号：
1125 (1080) /50i、60i、24PsF、24p、25p、30p、50p、60p
- ・ 画像の周囲にちらつきがある場合は、オフを選択してください。
- ・ オンが選択されている場合、水平サイズおよび垂直サイズは調整できません。




オフ

オン

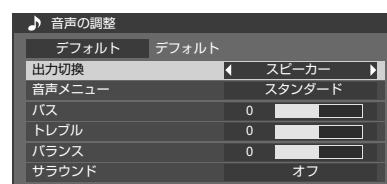
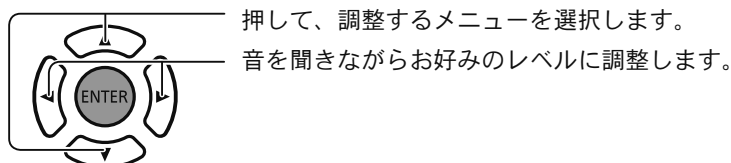
ヒント：(DEFAULT / 標準化)


「画面位置」画面が有効な間にリモコンの DEFAULT ボタンを押すか「デフォルト」を選択中に ENTER ボタンを押した場合、すべての調整値（「クロック位相」と「ドットクロック」を除く）は、工場出荷時設定に戻ります。

音声の調整

1  押して、音声の調整メニューを表示します。

2 選択して各項目を調整します。



3  押して、調整モードを終了します。

出力切換：

スピーカー：外部のスピーカーから音が出ます。

外部出力：AUDIO OUT 端子を通して、音がでます。

音声メニュー：

ノーマル：そのままの音を出します。

ダイナミック：シャープな音を際立たせます。

クリア：人の声を柔らかくします。

バス：低いピッチ音を調整します。

トレブル：高いピッチ音を調整します。

バランス：左右の音量を調整します。

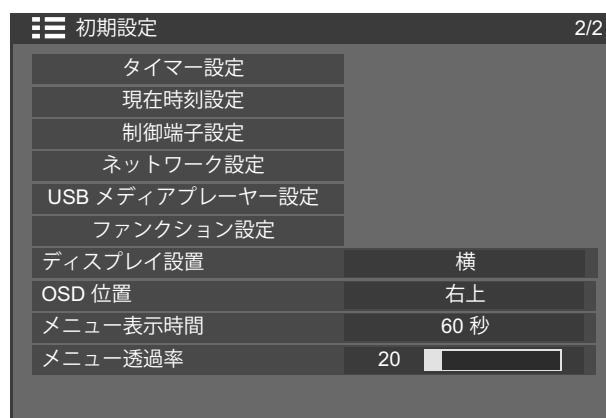
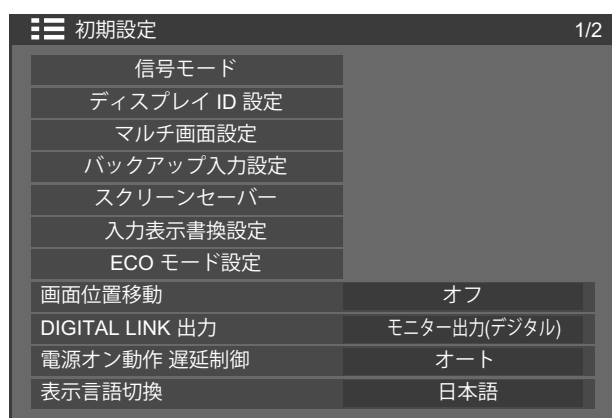
サラウンド：

オン：臨場感のある音声。

オフ：通常の音声。

初期設定


リモコンの SETUP ボタンを押して、初期設定メニューを表示します。

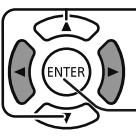


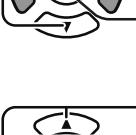
信号モード

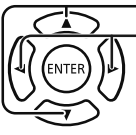
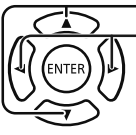
お知らせ：


。「信号モード」設定メニューは、各入力信号の様々な設定状態を表示します。

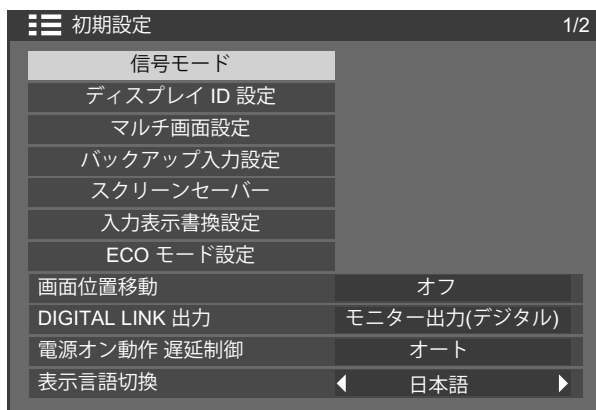
1  押して、初期設定メニューを表示します。

2  押して、「信号モード」を選択します。

 押して、信号モードメニューを表示します。

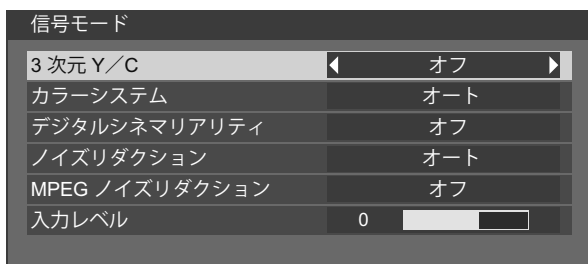
3  押して、調整するメニューを選択します。
 押して、メニューを調整します。

4  押して、調整モードを終了します。



ENTER ボタンを押します ↓

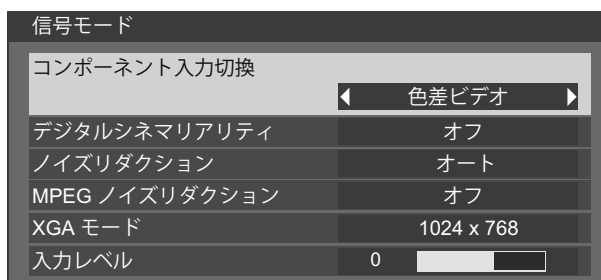
ビデオの場合



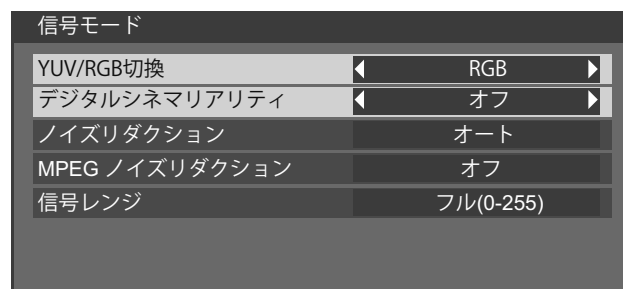
PC の場合



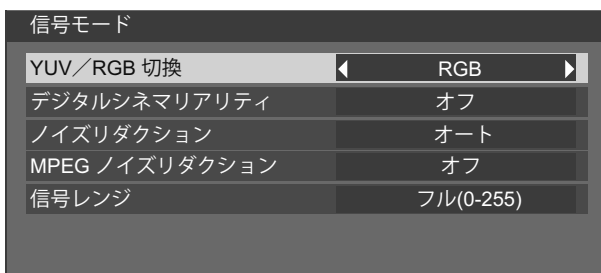
色差ビデオの場合



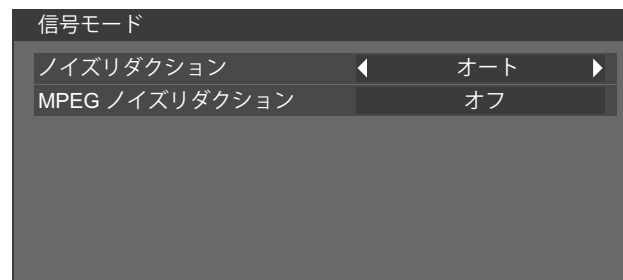
HDMI および DIGITAL LINK の場合



DVI および DisplayPort の場合



USB の場合




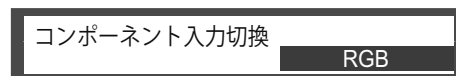
コンポーネント入力切換


COMPONENT/VIDEO IN 端子に接続されたソースからの信号に合わせて選択します。

Y、P_B、P_R 信号 ⇔ 「色差ビデオ」


RGB 信号 ⇔ 「RGB」

1  押して、初期設定メニューを表示します。



2  押して、「信号モード」を選択します。

「ENTER」を押します。

3  押して、「コンポーネント入力切換」を選択します。

色差ビデオ ← → RGB

お知らせ：


- 選択した入力端子（COMPONENT/VIDEO IN）の設定を行います。

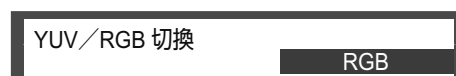
YUV / RGB 切換


HDMI、DIGITAL LINK、DVI-D、およびDisplayPort 端子に接続されたソースからの信号に合うように選択します。

YUV 信号 ⇔ 「YUV」

RGB 信号 ⇔ 「RGB」

1  押して、初期設定メニューを表示します。



2  押して、「信号モード」を選択します。


「ENTER」を押します。

3  押して、「YUV / RGB 切換」を選択します。


YUV ← → RGB

3次元 Y / C


ビデオ入力信号モード中に、「初期設定」から「信号モード」を選択します。

1  押して、初期設定メニューを表示します。



2  押して、「信号モード」を選択します。

「ENTER」を押します。

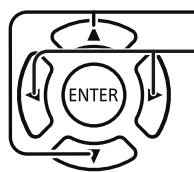
3  押して、「3次元 Y / C」を選択します。

押して、オン/オフを設定します。

初期設定

カラーシステム

ビデオ入力信号モード中に、「初期設定」から「信号モード」を選択します。



押して、「カラーシステム」を選択します。

押して、各機能を選択します。

画像が不安定な場合。

システムをオートに設定した場合、低レベルまたはノイズの多い入力信号の条件下で、画像がまれに不安定になることがあります。その場合は、入力信号形式に一致するようにシステムを設定してください。

カラーシステム 入力信号に合わせて、カラーシステムを設定します。「オート」が設定されている場合、カラーシステムが自動的に NTSC/PAL/SECAM/NTSC 4.43/PAL M/PAL N から選択されます。

PAL60 信号を表示するには、「オート」を選択します。

→オート←→PAL←→SECAM←→NTSC←→NTSC 4.43←→PAL M←→PAL N←

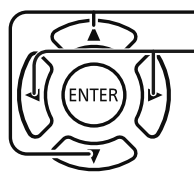
デジタルシネマリアリティ

デジタルシネマリアリティ： オンの場合、ディスプレイは毎秒 24 フレームで記録されている映画映像などのソースのより自然な解釈を再現しようとします。

映像が安定しない場合、設定をオフにします。

お知らせ：

- オンの場合、この設定は、次の信号入力にのみ影響します：
 - ビデオ入力信号時の NTSC / PAL 信号。
 - Component 入力信号時の 525i (480i)、625i (575i)、1125 (1080) /60i 信号入力。



押して、「デジタルシネマリアリティ」を選択します。

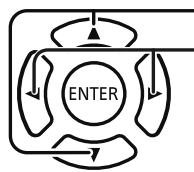
押して、オン/オフを設定します。

デジタルシネマリアリティ (オフ)

XGA モード

このメニューは、入力信号がアナログ (Component/PC) の場合に表示されます。

このメニューでは、60Hz の垂直周波数で、異なるアスペクト比とサンプリング速度を有する XGA 信号の 2 つのタイプ (1024×768@60Hz、1280×768@60Hz および 1366×768@60Hz) を設定します。



押して、「XGA モード」を選択します。

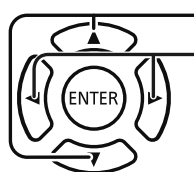
押して、「1024 × 768」、「1280 × 768」、「1366 × 768」を選択します。

XGA モード (1024 × 768)

お知らせ：

- 設定後、必要に応じて、「位置調整」メニューの各調整 (「自動位置補正」など) を行ってください。

ノイズリダクション



押して、「ノイズリダクション」を選択します。

押して、「オフ」、「オート」、「弱」、「中」、「強」を選択します。

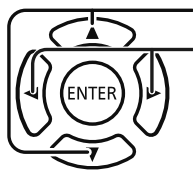
オート：ノイズリダクションは、「弱」、「中」、または「強」から自動的に選択されます。

ノイズリダクション (オフ)

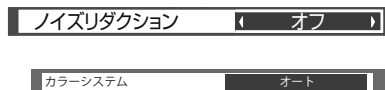
お知らせ：

- ノイズリダクション は、ビデオまたは Component 信号が適用されている場合に調整が可能です。

MPEG ノイズリダクション

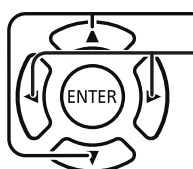


押して、「ノイズリダクション」を選択します。
 押して、「オフ」、「弱」、「中」、「強」を選択します。



信号レンジ

HDMI、DIGITAL LINK、DVI-D、あるいはDisplayPort 端子からの入力信号に応じてダイナミックレンジを切り替えます。



押して、「HDMI 信号」を選択します。
 押して、「ビデオ(16-235)」、「フル(0-255)」、「オート」を選択します。



ビデオ (16-235) : 入力信号が映像範囲である場合、例 : DVD プレーヤー用の HDMI 端子出力

フル (0-255) : 入力信号がフルレンジである場合、例 : パソコン用の HDMI 端子出力

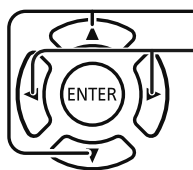
オート : 入力信号に応じて、「ビデオ (16-235)」と「フル (0-255)」の間で自動的にダイナミックレンジを切り替えます。

お知らせ :

- この機能は、HDMI、DisplayPort、DVI-D、および DIGITAL LINK 信号にのみ設定可能です。

同期

この機能は、PC IN 端子からの入力の場合のみ動作します。



押して、「同期」を選択します。
 押して調整します。



入力が RGB 入力に設定されていることを確認してください (この設定は、RGB 入力信号の場合のみ有効です)。

オート : H および V 同期または同期済み信号が自動的に選択されます。両方入力する場合、H および V 同期が選択されます。しかし、最初に入力された同期済み信号が選択されます。



ON G : HD/VD 入力 / SYNC ON G 両方に同期が入る場合で、SYNC ON G で同期を取りたい場合に選択します。

お知らせ :

- COMPONENT/VIDEO IN 端子からの RGB 信号は、「SYNC ON G」にのみ対応しています。

入力レベル

特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。

-16 ~ +16
 低レベル 高レベル



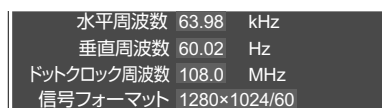
入力信号表示

周波数と電流入力信号の種類が表示されます。

この表示は COMPONENT/RGB/PC および Digital 入力信号にのみ有効です。

表示範囲 (PC 信号入力) :

水平 30 ~ 110 kHz
 垂直 48 ~ 120 Hz






ドットクロック周波数は、デジタル信号入力時に表示されます。

初期設定

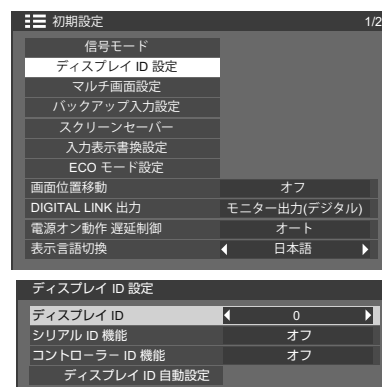
お知らせ：

- 自動的に検出された信号形式は、実際の入力信号とは異なって表示される場合があります。

ディスプレイ ID 設定

- 1  押して、初期設定メニューを表示します。
- 2  押して、「ディスプレイ ID 設定」を選択します。
 [ENTER] キーを押して、ディスプレイ ID 設定に入ります。

各ディスプレイの ID 番号を使用して、いくつかのディスプレイ本体側を個々に制御する機能を設定します。



ディスプレイ ID

ディスプレイ ID 番号を設定します。任意の番号を設定します。

範囲：0 ~ 100

シリアル ID 機能

シリアル通信の ID 制御機能が有効または無効になるように設定します。

オプション：オフ：無効

オン：有効

コントローラー ID 機能

リモコン操作の ID 制御機能が有効または無効になるように設定します。

オプション：オフ：無効

オン：有効

お知らせ:

コントローラー ID 機能を使用するには、ディスプレイとリモコンの ID 番号をそれぞれセットする必要があります。また、リモコンの ID MODE スイッチを ON にしてください。設定方法については、上記ディスプレイ ID と 47 ページの ID リモコン機能を参照してください。



ディスプレイ ID 自動設定

ID 番号を自動的に設定します。DIGITAL LINK に接続されたディスプレイに ID 番号が自動的に割り当てられます。

ステータス

ディスプレイ ID 自動設定の実行状況を表示します。

実行中：自動設定が進行中です。

未接続：DIGITAL LINK が接続されていません。（接続を検出できません）

接続エラー：誤った DIGITAL LINK 接続が実行されていません。

実行待ち：自動設定がまだ実行されていません。

終了：自動設定が完了しました。

ステータス	実行待ち	
DIGITAL LINK デイジーチェーン	020/025	
ディスプレイ ID	5	
LAN制御/IPアドレス	オフ	192.168.0.121
*シリアル ID / 端子	オフ	本体
シリアル出力端子	本体	
リモコン ID / 端子	オフ	本体
リモコン出力端子	IR 出力	
開始		
ディスプレイ ID	オート	
ネットワークコントロールの変更	YES	
制御端子設定の変更	YES	

DIGITAL_LINK_デイジーチェーン ([A] / [B])

A：DIGITAL LINK 経由で接続されたディスプレイの i 番目のユニットを表示します。

B：DIGITAL LINK 経由で接続されたディスプレイの合計数を表示します。

ディスプレイ ID：

自動設定で取得された ID 番号を表示します。

ネットワークコントロール / IP アドレス： ([A] / [B])

A：ネットワークコントロール機能の有効 / 無効の状態を表示します。

B：このディスプレイの IP アドレスを表示します。

シリアル ID / 端子： ([A] / [B])

A：シリアル通信の ID コントロール機能の有効 / 無効の状態を表示します。

B：シリアル通信の入力に使用する端子を表示します。

シリアル出力端子：

シリアル通信の出力に使用する端子を表示します。

リモコン ID / 端子： ([A] / [B])

A：リモコン操作の ID コントロール機能の有効 / 無効の状態を表示します。

B：リモコンの信号入力に使用するセンサー / 端子を表示します。

リモコン出力端子：

リモコンの信号出力に使用する端子を表示します。

開始：

ディスプレイ ID の自動設定を開始します。

ネットワークコントロールの変更：

ディスプレイ ID の自動設定を実行するときに、ネットワーク設定を変更するか現在の設定を維持するかを設定します。

選択肢：NO：設定を維持します。

YES：「ネットワークコントロール」を「オン」に設定します。

制御端子設定の変更：

ディスプレイ ID の自動設定を実行するときに、制御端子設定を変更するか現在の設定を維持するかを設定します。

選択肢：NO：設定を維持します。

YES：DIGITAL LINK で接続されたディスプレイの場合、RS232C およびコントローラーの各入出力端子の設定を「DIGITAL LINK」に設定します。

お知らせ：入力側または出力側のみが接続されたディスプレイの場合、接続された側の設定が変更されます。

DIGITAL LINK で接続されたディスプレイの場合、RS232C およびコントローラーの各入出力端子の設定を「DIGITAL LINK」に設定します。

マルチ画面の設定

例えば、次に示すように、グループ内のディスプレイを並べることによって、拡大された画像をすべての画面にまたがって表示することができます。

この動作モードでは、各ディスプレイは、その位置を決定するためにディスプレイ番号を設定する必要があります。

(例)

4 (2 × 2)
のグループ

9 (3 × 3)
のグループ


100 (10 × 10) のグループ




.....




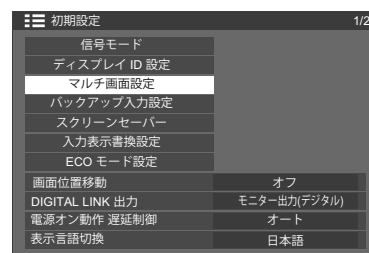
マルチ画面の設定方法

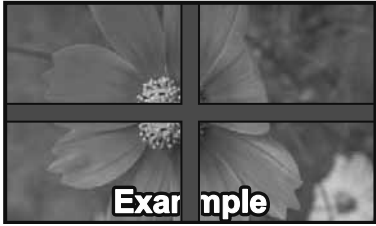
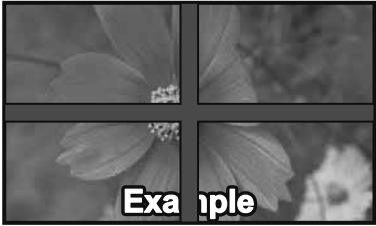
1  押して、初期設定メニューを表示します。

2  押して、マルチ画面設定を選択します。


 押して、「マルチ画面設定」メニューを表示します。

3  押して、マルチ画面設定を選択します。
押して、「オン」または「オフ」を選択します。



項目	詳細
マルチ画面設定	「オン」または「オフ」を選択します。
横拡大率	「1」～「10」を選択します。(縦拡大率「1」の場合、「2」～「10」。)
縦拡大率	「1」～「10」を選択します。(横拡大率「1」の場合、「2」～「10」。)
横方向目地設定 縦方向目地設定	<p>接合部によって隠れている画像の領域を、水平方向と垂直方向の両方について調整します(0～100)。</p> <p>ディスプレイ間の接合部を表示する。 ディ스플레이間の接合部を非表示にする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>Example</p> <p>静止画像表示に最適。 設定値：0</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Example</p> <p>動画表示に最適。 設定値：100</p> </div> </div>

項目	詳細																																																								
拡大位置	必要な配列番号を選択します。(A1 ~ J10 : 以下を参照してください)																																																								
	<p>各配列のディスプレイ番号の位置</p> <p>(例)</p> <p>(2 × 1) (2 × 3) (4 × 2) (4 × 4) (10 × 10)</p> <table style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>A1</td><td>A2</td></tr> </table> <table style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>A1</td><td>A2</td></tr> <tr><td>B1</td><td>B2</td></tr> <tr><td>C1</td><td>C2</td></tr> </table> <table style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>A1</td><td>A2</td><td>A3</td><td>A4</td></tr> <tr><td>B1</td><td>B2</td><td>B3</td><td>B4</td></tr> </table> <table style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>A1</td><td>A2</td><td>A3</td><td>A4</td></tr> <tr><td>B1</td><td>B2</td><td>B3</td><td>B4</td></tr> <tr><td>C1</td><td>C2</td><td>C3</td><td>C4</td></tr> <tr><td>D1</td><td>D2</td><td>D3</td><td>D4</td></tr> </table> <table style="display: inline-table;"> <tr><td>A1</td><td>A2</td><td>.....</td><td>A9</td><td>A10</td></tr> <tr><td>B1</td><td>B2</td><td>.....</td><td>B9</td><td>B10</td></tr> <tr><td>.....</td><td>.....</td><td>.....</td><td>.....</td><td>.....</td></tr> <tr><td>I1</td><td>I2</td><td>.....</td><td>I9</td><td>I10</td></tr> <tr><td>J1</td><td>J2</td><td>.....</td><td>J9</td><td>J10</td></tr> </table>	A1	A2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3	B4	C1	C2	C3	C4	D1	D2	D3	D4	A1	A2	A9	A10	B1	B2	B9	B10	I1	I2	I9	I10	J1	J2	J9
A1	A2																																																								
A1	A2																																																								
B1	B2																																																								
C1	C2																																																								
A1	A2	A3	A4																																																						
B1	B2	B3	B4																																																						
A1	A2	A3	A4																																																						
B1	B2	B3	B4																																																						
C1	C2	C3	C4																																																						
D1	D2	D3	D4																																																						
A1	A2	A9	A10																																																					
B1	B2	B9	B10																																																					
.....																																																					
I1	I2	I9	I10																																																					
J1	J2	J9	J10																																																					










4  押し、調整モードを終了します。

ID リモコン機能

複数台ご使用でこのリモコンを使用する場合、リモコン ID を設定できます。

お知らせ :

- この機能を動作させるには、同梱のIDリモコンを使用してください。
- 「ディスプレイID」が0以外の設定で、リモコンのID番号が「ディスプレイID」の設定と一致しない場合は、リモコンで操作できません。




- 左側の ON  OFF を ON  OFF に切り替えます。
- リモコンの  ボタンを押します。
- 10桁の設定  から 、 を押します。
- 単位桁の設定  から 、 を押します。

注 :

- IDリモコン機能を使用するためには、ディスプレイID設定メニューのコントローラIDをオンにしてください。
- IDリモコン機能がオンになっている間は、リモコンのID MODEスイッチをオンにしてください。
- 2、3 および 4 は、5秒以内に操作してください。
- 調整可能なID番号の範囲は、0 ~ 100です。
- 数字ボタンが2回以上押された場合、最初の2つの数値が、リモコンのID番号となります。
- 100に設定したい場合には、ID SET ボタンを押した後に、“1”、“0”、“0” を押してください。


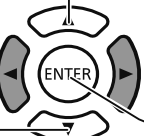



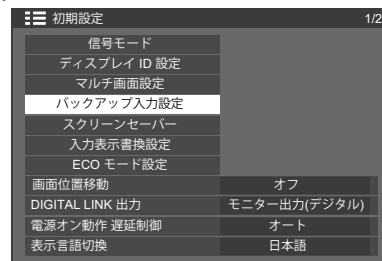
ID キャンセル

、、 ボタンを順番に押します。

バックアップ入力設定

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力ビデオに自動的に切り替えます。

- 1  押して、初期設定メニューを表示します。
- 2  押して、「バックアップ入力設定」を選択します。
 [ENTER] キーを押して、バックアップ入力設定に入ります。



入力切換方法

オフ： バックアップ入力機能を無効にします。

クイック： 映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力にすばやく切り替えます。

バックアップビデオ信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要があります。

バックアップ入力に切り替えたときには、表示に使用するメイン入力の映像信号とオーディオの調整値が継承されます。

ノーマル： 映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力に切り替えます。

バックアップビデオ信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要はありませんが。

バックアップ入力に切り替えたときには、バックアップ入力の映像信号オーディオの調整値が使用されます。



バックアップ入力 (クイック)

ビデオの中断が発生した場合に、バックアップ入力にすばやく切り替え、デジタル (HDMI、DisplayPort、DIGITAL LINK、DVI-D1、DVI-D2) 入力間の切り替えができるようにします。

お知らせ：

- バックアップビデオ信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要があります。
- バックアップ入力に切り替えたときには、表示に使用するメイン入力のビデオとオーディオの調整値が継承されます。
- この機能は、表示に使用する入力とバックアップ入力の両方でビデオ信号が検出されると開始され、「ステータス」に「切換可能」と表示されます。



プライマリー入力

最も優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

HDMI、DisplayPort、DIGITAL LINK、DVI-D1、または DVI-D2 を入力として設定できます。

表示に使用する入力と同じタイプの入力がグレー表示になります。

セカンダリー入力

2番目に優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

HDMI、DisplayPort、DIGITAL LINK、DVI-D1、または DVI-D2 を入力として設定できます。

表示に使用する入力と同じタイプの入力がグレー表示になります。

自動復帰モード

バックアップ入力機能によって有効になったバックアップ入力のビデオの表示中に最初に表示されていた入力ビデオが回復した場合に前の (メイン) 入力に自動的に戻るかどうかを設定します。

無効：戻りません

有効：戻ります

バックアップ入力ステータス

バックアップ入力機能の実行条件を満たしているかどうかを表示します。

切替不可：条件を満たしていないことを示します。バックアップ入力機能は無効になります。

切替可能：条件を満たしていることを示します。バックアップ入力機能は有効になります。

メイン入力

最初に表示に使用される（メイン）入力を表示します。

入力選択状態

現在表示に使用されている入力が最初に使用される（メイン）入力かバックアップ入力かを表示します。

設定の条件

次の表に各設定項目の制限（使用可能な組み合わせ）を示します。

		メイン			
		HDMI DisplayPort DIGITAL LINK DVI-D1 DVI-D2	USB	PC	Component または VIDEO
バック アップ	HDMI DisplayPort DIGITAL LINK DVI-D1 DVI-D2	o	x	x	x
	USB	x	-	x	x
	PC	x	x	-	x
	Component または VIDEO	x	x	x	-

画面表示

<「RECALL」 ボタンを押すと次のいずれかが表示されます>

- メイン入力を表示に使用し、バックアップ入力機能の実行条件を満たしている場合。
- バックアップ入力機能の実行によって有効になったバックアップ入力を使用して表示している場合。



<バックアップ入力機能の条件を満たしている場合>

バックアップ入力（ノーマル）

ビデオの中断が発生した場合にバックアップ入力に切り替えます。

お知らせ：

- USB 入力を表示に使用しているときには実行できません。
- アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力を表示に使用しているときに、アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力をバックアップ入力に設定することはできません。
- アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力をプライマリー入力とセカンダリー入力を同時に設定することはできません。

初期設定

- この機能は、表示に使用する入力とバックアップ入力の両方でビデオ信号が検出されると開始され、「ステータス」に「切換可能」と表示されます。

プライマリー入力

最も優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

HDMI、DisplayPort、DIGITAL LINK、DVI-D1、DVI-D2、PC、Component、または VIDEO を入力として設定できます。

表示に使用する入力と同じタイプの入力がグレー表示になります。

アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力を表示に使用しているときに、アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力をバックアップ入力に設定することはできません。

アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力をプライマリー入力とセカンダリー入力を同時に設定することはできません。

セカンダリー入力

2番目に優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

HDMI、DisplayPort、DIGITAL LINK、DVI-D1、DVI-D2、PC、Component、または VIDEO を入力として設定できます。

表示に使用する入力と同じタイプの入力がグレー表示になります。

アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力を表示に使用しているときに、アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力をバックアップ入力に設定することはできません。

アナログ（PC、Component、または VIDEO）入力をプライマリー入力とセカンダリー入力を同時に設定することはできません。

自動復帰モード

バックアップ入力機能によって有効になったバックアップ入力のビデオの表示中に最初に表示されていた入力ビデオが回復した場合に前の（メイン）入りに自動的に戻るかどうかを設定します。

無効：戻りません

有効：戻ります

バックアップ入力ステータス

バックアップ入力機能の実行条件を満たしているかどうかを表示します。

切換不可：条件を満たしていないことを示します。バックアップ入力機能は無効になります。

切換可能：条件を満たしていることを示します。バックアップ入力機能は有効になります。

メイン入力

最初に表示に使用される（メイン）入力を表示します。

入力選択状態

現在表示に使用されている入力が最初に使用される（メイン）入力かバックアップ入力かを表示します。

設定の条件

次の表に各設定項目の制限（使用可能な組み合わせ）を示します。

		メイン			
		HDMI DisplayPort DIGITAL LINK DVI-D1 DVI-D2	USB	PC	Component または VIDEO
バック アップ	HDMI DisplayPort DIGITAL LINK DVI-D1 DVI-D2	o	x	o	o
	USB	o	-	o	o
	PC	o	x	-	x
	Component または VIDEO	o	x	x	-

画面表示

<「RECALL」ボタンを押すと次のいずれかが表示されます>

- メイン入力を表示に使用し、バックアップ入力機能の実行条件を満たしている場合。
- バックアップ入力機能の実行によって有効になったバックアップ入力を使用して表示している場合。

<バックアップ入力機能の条件を満たしている場合>



バックアップモード OK


スクリーンセーバー（残像を防止するために）


静止映像、特に 4 : 3 モードで長時間表示しないでください。


ディスプレイをオンにしたままにする必要がある場合は、スクリーンセーバーを使用する必要があります。

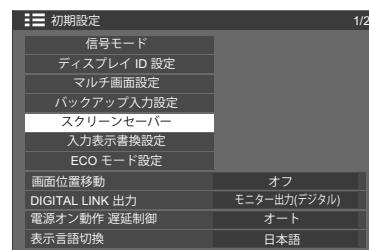
スクリーンセーバーが動作しているとき、次の 5 つのパターンが 5 秒ごとに全画面表示されます。

黒→暗いグレー→グレー→明るいグレー→白

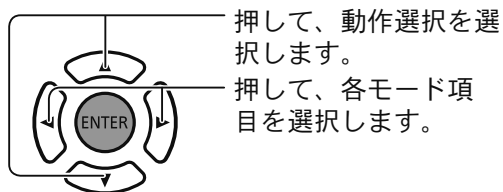
1  押して、初期設定メニューを表示します。

2  押して、スクリーンセーバーを選択します。

 押して、スクリーンセーバー画面を選択します。



3 動作選択を選択

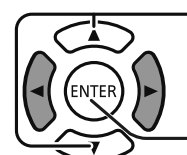


押して、動作選択を選択します。

押して、各モード項目を選択します。

- オフ
- ↕
- 周期指定 : 周期時間および動作時間が設定され、その時刻が来た時に動作します。
- ↕
- 時刻指定 : 開始時間および終了時間が設定され、その時刻が来た時に動作します。
- ↕
- 自動電源オフ : 動作時間の間動作し、ディスプレイはスタンバイモードに移行します。
- ↕
- オン : スタートが選択され、ENTER ボタンが押されたときに動作します。

4 スタートを設定



動作選択がオンに設定されている時、押してスタートを選択します。

押して、スクリーンセーバーを開始します。

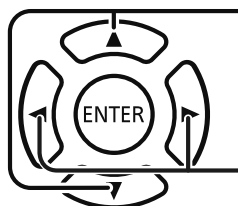
メニュー画面が消え、スクリーンセーバーが有効になります。**オン時にスクリーンセーバーを止めるには、RETURN ボタンまたは本体のいずれかのボタンを押します。**

お知らせ :

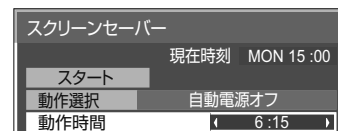
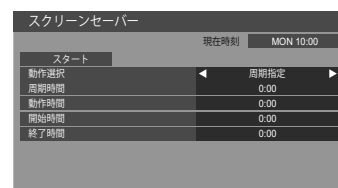
- ディ스플레이がオフの時、スクリーンセーバーは無効です。

スクリーンセーバー時間の設定

時刻指定、周期指定または自動電源オフを選択した後、関連する時間設定を選択できるようになり、動作時間を設定することができます。（「動作選択」が「オン」または「オフ」の時は、時間は設定できません。）



- 押して、開始時間／終了時間を選択します（時刻指定が選択されている場合）。
- 押して、周期時間／動作時間を選択します（周期指定が選択されている場合）。
- 押して、動作時間（自動電源オフが選択されている場合）。
- 押して設定します。



お知らせ：

- 「◀」または「▶」ボタンを1回押して、「時刻」を1分変更します。
[しかし、定期的な時間が選択された場合、切り替えは15分毎に発生します。]
- 「◀」または「▶」ボタンを続けて押すことで、時刻を15分変更します。
- 「自動電源オフ」の「動作時間」は、0:00 から 23:59 で設定できます。これが「0:00」に設定されている場合、「自動電源オフ」は有効ではありません。
- スクリーンセーバーの時間設定は、「現在時刻」が設定されていない場合、動作しません。

入力表示書換設定のカスタマイズ

この機能により、表示される入力信号のラベルを変更できます。

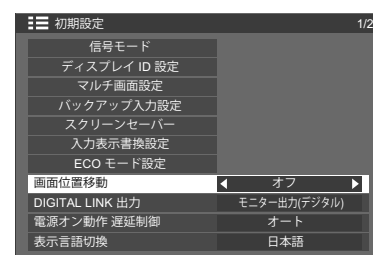
1 押して、初期設定メニューを表示します。

2 押して、入力表示書換設定を選択します。



押して、入力表示書換設定画面を表示します。

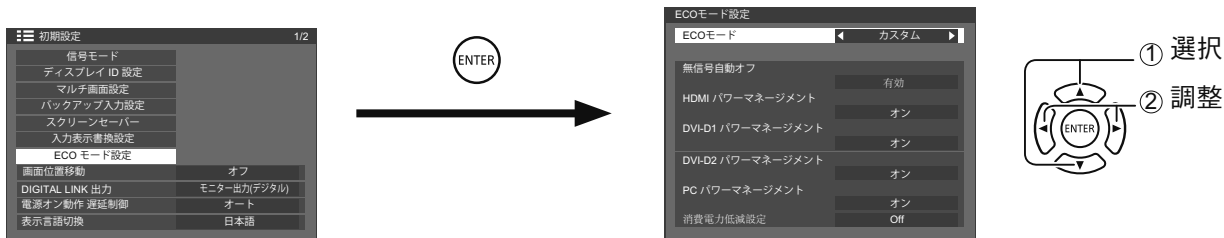
3 押して、画像入力を選択します。
押して、入力表示書換設定を変更します。



画像入力	入力表示書換設定
[VIDEO]	VIDEO / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[Component]	Component / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[PC]	PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[HDMI]	HDMI / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DisplayPort]	DisplayPort / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DIGITAL LINK]	DIGITAL LINK / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DVI-D1]	DVI-D1 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
[DVI-D2]	DVI-D2 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

(スキップ)：入力設定ボタンを押すと、その入力をスキップします。

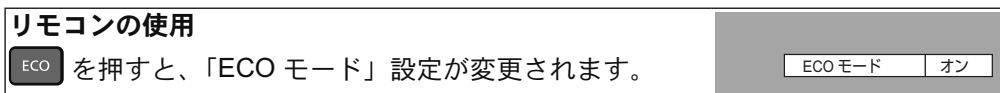
ECO モード設定



ECO モード

カスタム：消費電力低減メニューは個別に設定されます。

オン： 次の固定値が、消費電力低減メニューに設定されています。個々の設定はできません。
 無信号自動オフ：有効
 HDMI パワーマネージメント：オン
 DVI-D1 パワーマネージメント：オン
 DVI-D2 パワーマネージメント：オン
 PC パワーマネージメント：オン
 消費電力低減設定：オン



カスタム設定

消費電力低減メニューは個別に設定されます。この設定は、「ECO モード」が「カスタム」に設定されている場合、有効になります。

無信号自動オフ

信号がない場合、本機の電源は オフ になります。

これが「有効」に設定されている場合、本機の電源は入力信号停止後 10 分でオフになります。

お知らせ：

- この機能は、通常表示（1 つの映像画面）の間効果的です。

PC パワーマネージメント

- この機能が オン に設定されている場合、次の条件下で自動的に電源をオンまたはオフにします。
- PC 信号入力時に映像が約 30 秒間検出されない場合：
 - 電源はオフ（スタンバイ）になり、電源ランプは橙色に点灯します。
- その後、映像が検出された場合：
 - 電源はオンになり、電源ランプは緑色に点灯します。

お知らせ：

- この機能は、PC IN 端子からの入力の場合のみ動作します。
- この機能は、「同期」が「オート」に設定され、通常表示（1 つの映像画面）中に効果的です。

DVI-D / HDMI パワーマネージメント

- この機能が オン に設定されている場合、次の条件下で自動的に電源をオンまたはオフにします。
- DVI-D1 または DVI-D2 / HDMI 信号入力時に映像（同期信号）が約 30 秒間検出されない場合：
 - 電源はオフ（スタンバイ）になり、電源ランプは橙色に点灯します。
- その後、映像（同期信号）が検出された場合：
 - 電源はオンになり、電源ランプは緑色に点灯します。

お知らせ：

- この機能は、DVI / HDMI 信号の入力時のみ動作します。


消費電力低減設定


この機能は、消費電力を低減するためにバックライトの明るさを調整します。

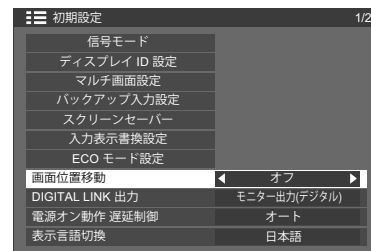
- オフ**：この機能は動作しません。
- オン**：バックライトの明るさが低下します。


画面位置移動

画像の鮮明な輪郭が残像とならないように、自動的に（眼の負担にならないように）表示画像をシフトします。

1  押して、初期設定メニューを表示します。

2  押して、「画面位置移動」を選択します。
押して、「オン」または「オフ」を選択します。
オン： 画像の表示位置を固定時間間隔でシフトします。




3  押して、調整モードを終了します。

お知らせ：

- ・「マルチ画面設定」が「オン」に設定されている場合、この機能は動作しません。
- ・この機能が動作している場合、画面の一部が欠落する可能性があります。

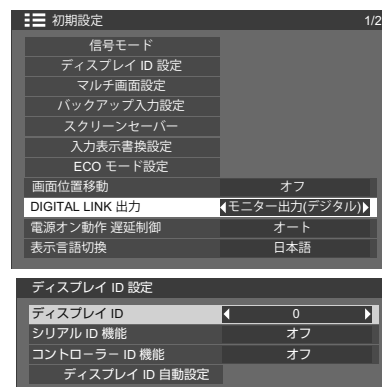
DIGITAL LINK 出力設定

1  押して、初期設定メニューを表示します。

2  押して、「DIGITAL LINK 出力」を選択します。

[ENTER] キーを押して、DIGITAL LINK 出力設定に入ります。

各ディスプレイの ID 番号を使用して、複数のディスプレイ本体側を個々に制御する機能を設定します。



DIGITAL LINK 出力端子からの信号出力を設定します。

オプション：モニター出力（デジタル）：現在選択されている端子からの信号入力（デジタル入力選択）

HDMI：HDMI 端子からの信号入力

DisplayPort：DisplayPort 端子からの信号入力




DIGITAL LINK：DIGITAL LINK 端子からの信号入力

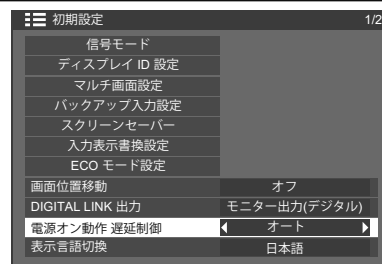
DVI-D1：DVI-D1 端子からの信号入力

DVI-D2：DVI-D2 端子からの信号入力

オフ：出力しない


電源オン動作 遅延制御

- 1  押して、初期設定メニューを表示します。
- 2  押して、「電源オン動作 遅延制御」を選択します。
 [ENTER] キーを押して、電源オン動作 遅延制御設定に入ります。



電源オン動作 遅延制御

オート <=> オフ <=> 1 <=> 2 <=> 3... <=> 30

例えば、マルチ画面システムで、 を押して、複数ディスプレイを同時にオンにする場合、電源負荷を低減するために、ディスプレイの電源オン遅延時間を設定することができます。


各ディスプレイの設定を個別に行います。

オート： 遅延時間を自動的に決定します。ディスプレイ ID として設定された ID 番号に 0.3 秒を掛けることで決定されます。

例： ディスプレイ ID が 3 の場合： 0.9 秒
 ディスプレイ ID が 10 の場合： 3 秒

オフ： ディスプレイは、 が押されるのと同時にオンになります。




1 ~ 30 (秒)： 電源動作遅延時間 (秒) を設定します。

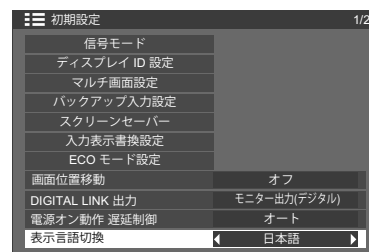
 を押した後に、ここで設定された遅延時間でディスプレイの電源がオンになります。

お知らせ：

- この機能が動作中、電源ランプは緑色に点滅します。
- また、この機能は、電源が障害から復旧した時、あるいは、電源コードを抜いて差し込んだときにも動作します。

オンスクリーンメニューの言語の選択

- 1  押して、初期設定メニューを表示します。
- 2  押して、表示言語切換を選択します。
 押して、希望する言語を選択します。




■ 選択可能な言語


- English (UK)
- ↕
- Deutsch
- ↕
- Français
- ↕
- Italiano
- ↕
- Español
- ↕
- ENGLISH (US)
- ↕
- 中文(Chinese)
- ↕
- 日本語(Japanese)
- ↕
- Русский.....(Russian)

現在時刻設定／タイマー設定


タイマーでディスプレイのオンまたはオフを切り替えることができます。

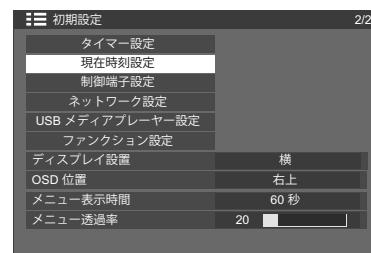
タイマー設定を行う前に、現在時刻を確認し、必要な場合は調整してください。その後、電源オン時間 / 電源オフ時間を設定します。

1  押して、初期設定メニューを表示します。

2  押して、タイマー設定または現在時刻設定を選択します。

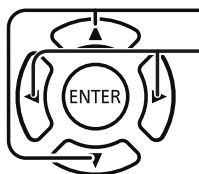



 押して、タイマー設定画面または現在時刻設定画面を表示します。



現在時刻設定

1  押して、曜日または現在時刻を選択します。

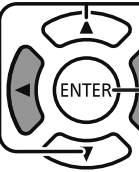


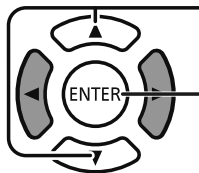
 押して、曜日または現在時刻を設定します。

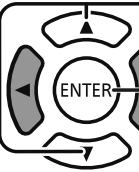
お知らせ：

- ・「◀」または「▶」ボタンを一度押すことで、現在時刻を 1 分変更します。
- ・「◀」または「▶」ボタンを続けて押すことで、現在時刻を 15 分変更します。



2  押して、設定を選択します。



 押して、現在時刻設定を保存します。

お知らせ：

- ・現在時刻が設定されていない場合、設定を選択できません。
- ・現在時刻が「99:99」以外に設定されていない場合、「曜日」および「現在時刻」を設定することはできません。
- ・「曜日」および「現在時刻」の設定は、下記の場合に 7 日間放置するとリセットされます。
 - ・本体の電源スイッチを「切」にする。
 - ・電源コードを抜く。
 - ・停電。

初期設定

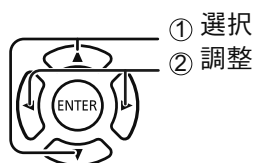
タイマー設定

電源オン／オフを切り替えるプログラムを設定し、指定された時間での入力信号を選択します。最大 20 プログラムまで設定できます。

【設定例】

プログラム 1、毎週月曜、12:00、電源オン、入力：VIDEO

タイマー設定	
現在時刻	SUN 10:00
プログラム番号	1
タイマー機能設定	オン
曜日指定	MON
電源動作設定	電源オン
時刻設定	12:00
入力設定	入力設定




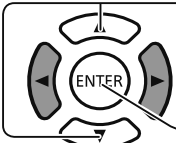
- 1 プログラム番号を設定します。
- 2 プログラムを実行するには、「オン」に設定します。プログラムは、「オフ」が設定されると無効になります。
- 3 日付を設定します。「Everyday」が設定されると、プログラムは毎日実行されます。
- 4 電源オン／オフを設定します。
- 5 時刻を設定します。「◀」または「▶」ボタンを 1 回押して、「時刻設定」を 1 分変更します。「◀」または「▶」ボタンを連続的に押すことで、「時刻設定」を 15 分変更します。
- 6 入力を設定します。

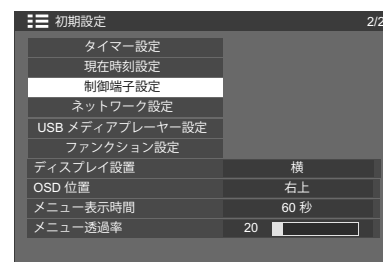
お知らせ：

- この機能は、「現在時刻」が設定されていない限り設定できません。
- 複数のプログラムが同時に設定されている場合、もっとも小さい番号のプログラムのみが有効になります。

制御端子設定

シリアル通信およびリモコン操作を設定します。

- 1 を押して、初期設定メニューを表示します。
- 2 を押して、「制御端子設定」を選択します。
[ENTER] キーを押して、制御端子設定に入ります。



シリアル制御 :

シリアル通信の入力に使用する端子を設定します。

選択肢 : SERIAL IN: SERIAL IN 端子

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK 端子

シリアル出力 :

シリアル通信の出力に使用する端子を設定します。

選択肢 : SERIAL OUT: SERIAL OUT 端子

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK 端子

IR 制御 :

リモコンの信号入力に使用する端子を設定します。

選択肢 : 本体 : 組み込みセンサー

IR IN: IR IN 端子

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK 端子

IR 出力 :

リモコンの信号出力に使用する端子を設定します。

選択肢 : IR OUT: IR OUT 端子

DIGITAL LINK : DIGITAL LINK 端子

シリアルデジチェーン接続位置 :

ディスプレイのシリアル端子がデジチェーン接続される場合のデジチェーンの先頭と終端を設定します。

---: デジチェーンがスタンドアロンベースのシリアル制御か、デジチェーンの先頭または終端ではない場合。

先頭: デジチェーンの先頭に接続します。

終端: デジチェーンの終端に接続します。

応答(シリアルID オール) :

ID 番号「0」のシリアルコマンドを受信したときに応答コマンドを返すかどうかを設定します。

選択肢 : オフ : 応答を返しません。

オン : 応答を返します。

シリアルIDグループ :

各ユニットを個別に制御しない場合やすべてのユニットを同時に制御する場合に、シリアル通信で制御するディスプレイユニットをグループ化し、グループを設定します。

例 : 9 台のディスプレイを縦 3 列と横 3 列に並べ、列ごとにそれら进行操作する場合があります。

範囲 : A ~ G (7 グループ)

応答(シリアルID グループ) :

グループを指定するシリアルコマンドを受信したときに応答コマンドを返すかどうかを設定します。

選択肢 : オフ : 応答を返しません。


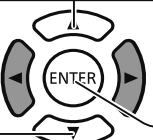

オン : 応答を返します。

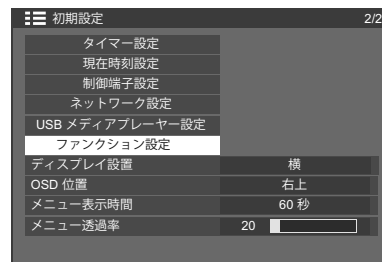
シリアル制御	SERIAL IN
シリアル出力	SERIAL OUT
IR 制御	本体
IR出力	IR OUT
シリアルデジチェーン 接続位置	---
応答(シリアルID オール)	オフ
シリアルIDグループ	A
応答(シリアルID グループ)	オフ

初期設定

ファンクション設定

特定のボタンを数字ボタン (<0> ~ <9>) に割り当てます。よく使う操作をボタンに割り当ててボタンをショートカットキーとして使用できます。

- 1 を押して、初期設定メニューを表示します。
- 2 を押して、「ファンクション設定」を選択します。
を押して、ファンクション設定画面を表示します。



ファンクショングループ

数字ボタンに割り当てることができるファンクション。

入力切換

入力切換は、ワンタッチ操作で選択できます。

HDMI / DisplayPort / DIGITAL LINK / DVI-D1 / DVI-D2 / PC / Component/RGB / VIDEO / USB

メモリー呼出

メモリーは、ワンタッチ操作で呼び出すことができます。

[MEMORY1] ~ [MEMORY8]

- [MEMORY1] から [MEMORY8] の呼出ファンクションは、それぞれ <1> から <8> にすでに割り当てられています。これらの設定は変更できません。

[ショートカット]

- 数字ボタンを押すことで、メニュー画面を表示します。ボタンを再度押すことで、メニュー画面を終了します。

[AV ミュート]

- 数字ボタンを押すことで、音声および映像をミュートします。
キャンセルするには、リモコンのいずれかのボタンを押します。



出荷状態

以下のファンクションは、工場出荷時のデフォルトとして、数字ボタンに割り当てられています。

	入力切換	メモリー	ショートカット
1	HDMI	MEMORY1	信号モード
2	DisplayPort	MEMORY2	スクリーンセーバー
3	DIGITAL LINK	MEMORY3	タイマー設定
4	DVI-D1	MEMORY4	ECO モード設定
5	DVI-D2	MEMORY5	マルチ画面設定
6	PC	MEMORY6	AV ミュート
7	Component/RGB	MEMORY7	---
8	VIDEO	MEMORY8	---
9	USB	---	---
0	---	---	---

ファンクションガイド

数字ボタンを押したときの、ファンクション表示を設定します。これはファンクショングループごとに設定します。

[オン]: 数字ボタンのファンクションリストを表示します。

[オフ]: ファンクションリストを表示しません。数字ボタンを押して、操作を開始します。

お知らせ :

- <ファンクショングループ> が押されると、[オン]/[オフ] の設定に関わりなく、[ファンクションガイド] が表示されます。

ショートカットの使用方法（数字ボタン）

- 1** <ファンクショングループ> または <0> ~ <9> を押します。
[ファンクションガイド] が表示されます。
[ファンクションガイド]: [オフ] が設定されている場合、数字ボタンを押すことで操作を開始します。

- 2** <ファンクショングループ> を押して、ファンクショングループを切り換えます。
例：メモリー呼出

- 3** <0> ~ <9> を押します。
押されたボタンのファンクションが動作を開始します。
例：<2> が押された場合。

入力切換

- 1.HDMI
- 2.Display Port
- 3.DIGITAL LINK
- 4.DVI-D1
- 5.DVI-D2
- 6.PC
- 7.Component/RGB
- 8.VIDEO
9. USB
0. ---

メモリー呼出

- 1.MEMORY1
- 2.MEMORY2
- 3.MEMORY3
- 4.MEMORY4
- 5.MEMORY5
- 6.MEMORY6
- 7.MEMORY7
- 8.MEMORY8
9. ---
0. ---


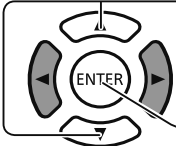

メモリー呼出

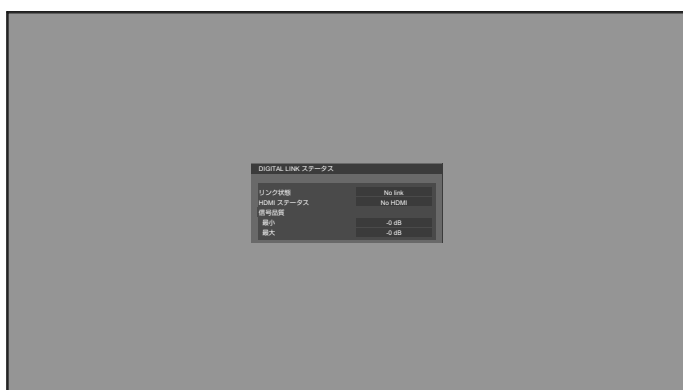
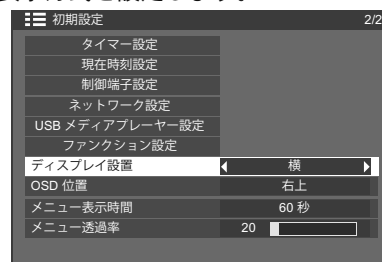
"MEMORY2"_を呼出

初期設定

ディスプレイ設置

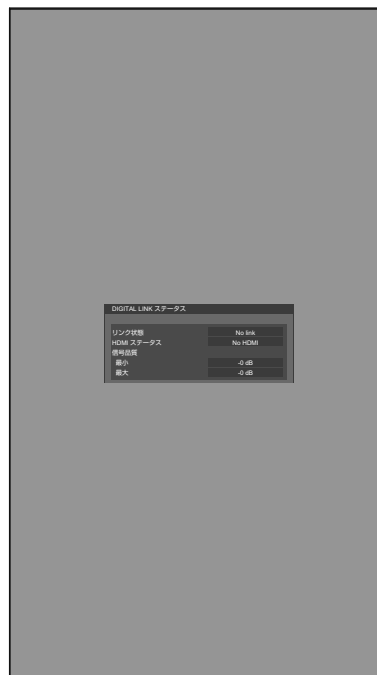
縦向きに設置するために、オンスクリーンメニューのファン制御、パネル駆動制御、および表示方式を設定します。

- 1  押して、初期設定メニューを表示します。
- 2  押して、「ディスプレイ設置」を選択します。
 押して、ディスプレイ設置画面を表示します。



横

横向きに設置するためのファン制御およびパネル駆動制御。

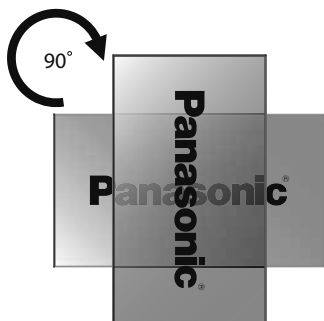


縦

縦向きに設置するためのファン制御およびパネル駆動制御。オンスクリーンメニューは設定に合わせて、反時計回りに 90 度回転します。


お知らせ：

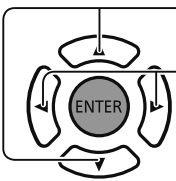
- この設定を変更すると、次回電源がオンになるときにファン制御およびパネル駆動制御が切り替わります。

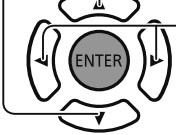


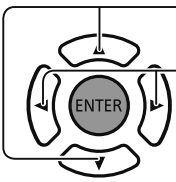
オンスクリーンメニュー表示のカスタマイズ

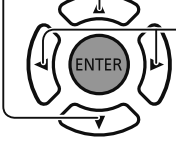
オンスクリーンメニュー表示の表示時間および背景透過率を設定します。


1  押して、初期設定メニューを表示します。

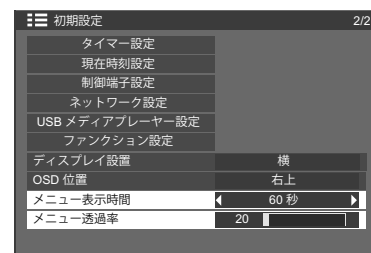
2  押して、「メニュー表示時間」を選択します。

 押して、表示時間を調整します。

3  押して、「メニュー透過率」を選択します。

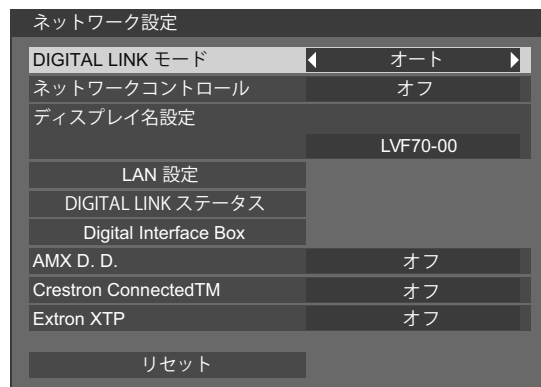
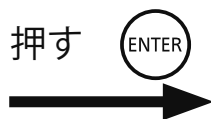
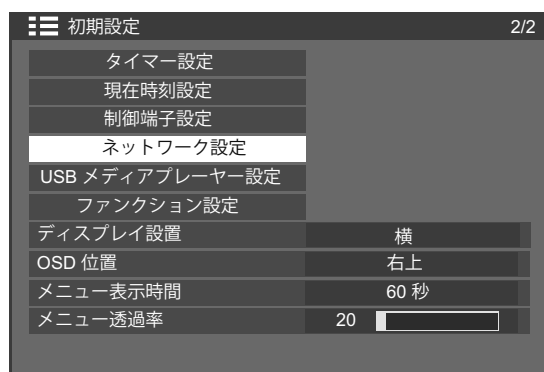
 押して、透過率を調整します。

4  押して、調整モードを終了します。



ネットワーク設定

ネットワーク機能を使用するために必要なさまざまな設定を行います。



■ DIGITAL LINK モード

DIGITAL LINK の通信方式を切り替えることができます。

- **オート**：通信方式が自動的に選択されます。HDMI/LAN/RS-232C 通信を使用することができます。イーサネット接続を行うことができます。
- **DIGITAL LINK**：HDMI/LAN/RS-232C 通信は、ツイストペアケーブル送信器を介して使用することができます。
- **イーサネット**：LAN 通信は、ディスプレイの LAN 端子を介して使用することができます。

■ ネットワークコントロール

これは、LAN通信のオフ/オンを設定する機能です。

お知らせ：

- オンが設定されている場合、リモコン電源が「オフ」(スタンバイ)に切り替えられたとき、電源ランプは橙色に点灯します。
- 15 ページのRS-232Cコマンドを本機のSERIAL IN端子から制御する場合は、制御端子設定の「シリアル制御」で「SERIAL IN」を、DIGITAL LINK機器のRS-232C端子から制御する場合は、制御端子設定の「シリアル制御」で「DIGITAL LINK」を選択してください。
- 「Web ブラウザからのアクセス」(70 ページ) ページから「PJLink™ プロトコル」(78 ページ) ページに掲載されている制御方法を使用する場合、「オン」を選択します。

■ ディスプレイ名設定

ネットワーク上で、表示される本機の名前を変更することができます。

■ LAN 設定

65 ページを参照してください

■ DIGITAL LINK ステータス

66 ページを参照してください

■ Digital Interface Box

66 ページを参照してください

■ AMX D. D.

この機能により、AMX デバイス検出によってディスプレイを検出することができます。詳細については、次の

Web サイトを参照してください。

<http://www.amx.com/>

■ Crestron Connected™

この機能がオンに設定されている場合、Crestron Electronics 社の機器やアプリケーションソフトを使用して、ネットワーク経由でディスプレイを監視 制御することができます。

このディスプレイは、Crestron Electronics 社の以下のアプリケーションソフトウェアをサポートしています。

- RoomView® Express
- Fusion RV®
- RoomView® Server Edition

[Crestron Connected™] とは、Crestron Electronics 社によって開発されたシステムに接続する機能で、ネットワークに接続された複数のシステムデバイスを管理し制御します。

- 「Crestron Connected™」の詳細については、Crestron Electronics 社ウェブサイト (英語のみ) を参照してください。

<http://www.crestron.com/>

「RoomView® Express」の詳細については、Crestron Electronics 社ウェブサイト (英語のみ) を参照してください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

■ Extron XTP

Extron 社製の「XTP トランスミッター」を DIGITAL LINK 端子に接続するときにはオンに設定します。詳細については、次のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.extron.com>

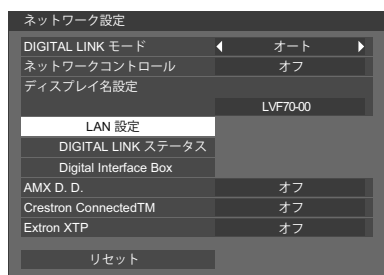
■ リセット

これは「ネットワーク設定」および「LAN 設定」メニューのすべての項目を初期化する機能です。

ネットワーク設定

■ LAN 設定

本機の LAN 端子またはツイストペアケーブル伝送器経由で行う LAN についての詳細なネットワーク設定ができます。



「LAN 設定」を選択し、**ENTER** を押しします。

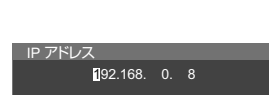


DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの設定

1 DHCP を設定します。
「オフ」が選択されている場合、「IP アドレス」および他の設定を手動で行うことができます。

2 項目を選び、**ENTER** を押しします。

3 アドレスを入力します。



① **LEFT/RIGHT** を使って桁を選択します。

② **UP/DOWN** を使って、数字を変更します。

③ **ENTER** を押しします。

R を押すことで、アドレス変更はキャンセルされます。

4 「保存」を選択し、**ENTER** を押しします。

ポート設定

1 「ポート」を選択し、**ENTER** を押しします。

2 ポート番号を入力します。



① **LEFT/RIGHT** を使って桁を選択します。

② **UP/DOWN** を使って、数字を変更します。

③ **ENTER** を押しします。

R を押すことで、ポート番号の変更はキャンセルされます。

■ 保存

現在のネットワーク設定を保存します。DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ用に設定されている各値が保存されます。「NG」が表示されている場合は、同じ IP アドレスが同じネットワーク内で使用されていないことを確認してください。

■ DHCP (DHCP クライアント機能)

DHCP サーバーを使用して IP アドレスを自動的に取得するには、「オン」に設定します。DHCP サーバーが使用されていない場合、これを「オフ」に設定します。

■ IP アドレス (IP アドレスの表示と設定)

DHCP サーバーが使用されていない場合は、IP アドレスを入力します。

■ サブネットマスク (サブネットマスクの表示および設定)

DHCP サーバーが使用されていない場合は、サブネットマスクを入力します。

■ ゲートウェイ (ゲートウェイアドレスの表示と設定)

DHCP サーバーが使用されていない場合は、ゲートウェイアドレスを入力します。

お知らせ :

- DHCP サーバーを使用するには、DHCP サーバーが起動されていることを確認します。
- 設定の詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

■ ポート

コマンド制御に使用するポート番号を設定します。利用可能な設定範囲は、1024 ~ 65535 です。

PJLink™ プロトコルが使用される場合、ポート設定は不要です。

■ MAC アドレス

本機の MAC アドレスを表示します。

お知らせ :

出荷設定は、以下のようです。

[DHCP] : Off

[IP address] : 192.168.0.8


[Subnet mask] : 255.255.255.0

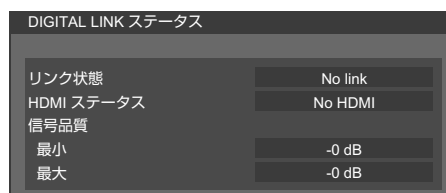
[Gateway] : 192.168.0.1

初期設定

■ DIGITAL LINK ステータス

DIGITAL LINK 接続環境を表示します。

「DIGITAL LINK ステータス」を選択し
「」を押します。



リンク状態

「No link」、「DIGITAL LINK」、または「イーサネット」が表示されます。

No link : LAN 接続がありません。

DIGITAL LINK : LAN により DIGITAL LINK デバイスに接続済みです。

イーサネット : PC は、本機の DIGITAL LINK 端子に接続され、LAN に接続されています。

HDMI ステータス

「No HDMI」、「HDMI ON」、または「HDCP ON」が表示されます。

No HDMI : DIGITAL LINK は未接続です。

HDMI ON : DIGITAL LINK 接続状態です。

HDCP ON : HDCP 信号が、DIGITAL LINK 接続で流れています。


信号品質

エラー発生量の最小値と最大値を数値化したもので、その数値によって表示色が赤／黄／緑に変わります。

LAN ケーブルが断線している、ケーブルがシールドされていない場合などは黄色または赤色の数値となります。この信号品質は接続されたツイストペアケーブル伝送器とディスプレイとの間のものを表しています。

信号品質	表示色	受信状態
-12dB 以下	緑	受信は正常です
-11 から -8dB	黄	受信したデータの一部分が破損しています
-7dB 以上	赤	受信異常です



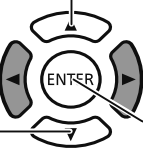
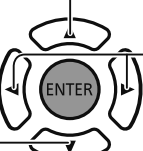

■ Digital Interface Box

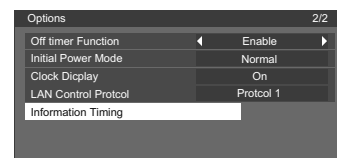
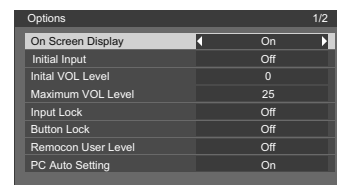
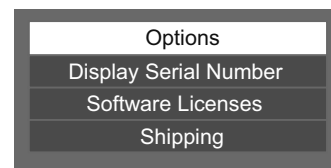
「Digital Interface Box」が選択され、 が押された場合、デジタルインターフェイスボックスの設定メニューに切り換わります。

お知らせ :




- この機能は、当社製のデジタルインターフェイスボックス (ET-YFB100) が LAN 端子に接続されていて、その電源が入っている時のみ選択することができます。

Options メニュー













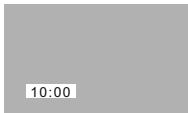
- 1  押して、初期設定メニューを表示します。
- 2  押して、「表示言語切替」を選択します。
3 秒以上押し続けます。
- 3  押して、「Options」を選択します。
押して、Options メニューを表示します。
- 4  押して、希望するメニューを選択します。
押して、メニューを調整します。
- 5  押して、Options メニューを終了します。



- 「Software License」がステップ3で選択された場合、ソフトウェアライセンスが表示されます。
- 「Display Serial Number」が、ステップ3で選択された場合、このデバイスのシリアル番号が表示されます。

項目	調整
On screen display	<p>On : 画面上に、以下のすべてを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源オン表示 • 入力信号切替表示 • 信号なし表示 • ミュートおよび  を押した後のオフタイマー残り時間。 <p>Off : 上記のすべての項目を非表示にします。</p>
Initial input	<p>電源 ON したときの入力信号を選択します。</p> <p>Off ↔ HDMI ↔ DisplayPort ↔ DIGITAL LINK ↔ DVI-D1 ↔ DVI-D2 ↔ PC ↔ COMPONENT ↔ VIDEO ↔ USB ↔ Off</p> <p>お知らせ :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択された信号のみが表示されます。 • 「Input lock」が「オフ」の場合のみ、このメニューは利用可能です。
Initial VOL level	<p>  ボタンを押して電源 ON したときの音量を調整します。</p> <p>Off ↔ On</p> <p>Off : 電源「切」前の状態の音量になります。</p> <p>On : 設定した音量になります。</p> <p>お知らせ :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「Maximum VOL level」が「On」のときは、「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。 • 「Initial VOL level」が「On」で、カーソルがメニューにあるときに音量を調整する場合、オプションメニューを開く前の音量に関わりなく、変更された音量を聞くことができます。

Options 調整

項目	調整
Maximum VOL level	<p>  ボタンを押して、最大音量を調整します。</p> <p>Off ←→ On Off : 音量を「100」（最大値）まで設定できます。 On : 設定値以上の音量にはなりません。 メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します。</p> <p>お知らせ :</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。 「Maximum VOL level」が「Initial VOL level」よりも低く設定されている場合、「Initial VOL level」が自動的に「Maximum VOL level」と同じになります。 音量表示は設定に関わりなく 100 まで行くことができます。 「Maximum VOL level」が「On」で、カーソルがメニューにあるときに音量を調整する場合、オプションメニューを開く前の音量に関わりなく、変更された音量を聞くことができます。
Input lock	<p>入力切換の操作を禁止します。</p> <p>Off ↔ HDMI ↔ DisplayPort ↔ DIGITAL LINK ↔ DVI-D1 ↔ DVI-D2 ↔ PC ↔ Component/RGB ↔ VIDEO ↔ USB ↔ Off</p> <p>お知らせ :</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択された信号のみが表示されます。 これが「オフ」設定されているときに入力を切り換えることができます。
Button lock	<p>Off ←→ On ←→ MENU</p> <p>Off : 本体上のすべてのボタンが使用できます。</p> <p>MENU : 本体の  をロックします。</p> <p>On : 電源スイッチを除く本体のすべてのボタンをロックします。 次の手順で装置のボタンと Button lock を設定します。</p> <p>Off : + を 4 回押す → INPUT を 4 回押す → - を 4 回押す → MUTE を押す MENU : MUTE を 4 回押す → + を 4 回押す → INPUT を 4 回押す → MUTE を押す On : - を 4 回押す → MUTE を 4 回押す → + を 4 回押す → MUTE を押す</p>
Remocon User level	<p>Off ←→ User1 ←→ User2 ←→ User3</p> <p>Off : リモコンのボタンのすべてを使用することができます。</p> <p>User1 : リモコンの 、、、、、 ボタンのみを使用できます。</p> <p>User2 : リモコンの 、 ボタンのみを使用できます。</p> <p>User3 : リモコンのすべてのボタンをロックします。</p>
PC Auto Setting	<p>Off ←→ On</p> <p>Off : リモコンの AUTO SETUP キーが操作される、または位置調整メニューの「自動位置補正」が実行されると、オート機能が動作します。</p> <p>On : リモコンおよび OSD メニューの操作に加えて、Auto Setup 機能は最初の信号を受信するために自動的に実行されます。</p>
Off-timer function	<p>Enable : 「オフタイマー機能」を有効にします。</p> <p>Disable : 「オフタイマー機能」を無効にします。</p> <p>お知らせ : 「Disable」が設定されている場合、オフタイマーは解除されます。</p>
Initial Power Mode	<p>Normal ←→ On ←→ Standby</p> <p>電源が障害から回復したとき、または、プラグを抜いて再度差し込んだ後で、本機の電源モードを設定します。</p> <p>Normal : 電源が停電前と同じ状態に復帰します。</p> <p>Standby : 電源はスタンバイモードに戻ります。(電源ランプ : 赤/橙)</p> <p>On : 電源は電源オンに戻ります。(電源ランプ : 緑)</p> <p>お知らせ : 複数のディスプレイを使用する場合、電力負荷を低減するために「スタンバイ」に設定します。</p>
Clock Display	<p>Off : 時計を表示しません。</p> <p>On : 時計を表示します。</p> <p> ボタンを押すと、時計が画面の左下に表示されます。</p> <p></p> <p>お知らせ : 「現在時刻設定」が設定されていない場合、「Clock Display」が「On」であっても時計は表示されません。</p>
LAN Control Protocol	<p>LAN Control Protocol を選択します。</p> <p>Protocol 1 : パナソニックディスプレイシーケンスで制御します。</p> <p>Protocol 2 : パナソニックプロジェクトと互換性のあるシーケンスで制御します。</p>
Information Timing	<p>エラー警告が発生した場合に通知する方法を設定します。</p>
Power Button Lock	<p>ディスプレイ背面の POWER ボタンのロック設定です。</p> <p>Off : POWER ボタン有効。</p> <p>On : POWER ボタン無効。</p>

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Controller user level」「リモコン ID 機能」の設定を行ない、リモコンと本体後面のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

本体のボタン[-]とリモコン^{RETURN}を同時に5秒以上押す

「Shipping」メニューを表示した後、表示が消えロックが解除されます。

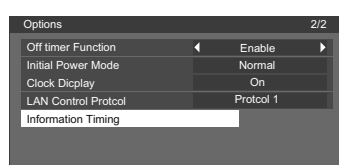
- ・ 「Button lock」「Remocon user level」「リモコン ID 機能」の設定が、「Off」に戻ります。

Information Timing

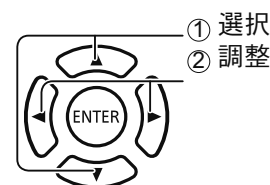
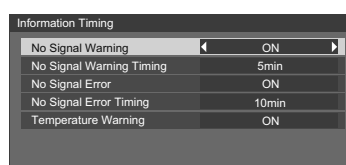
無信号または温度上昇を知らせる方法を設定します。

シリアル制御時：警告またはエラーメッセージが自動的にディスプレイから送られます。

LAN 制御時：ディスプレイから警告またはエラーメッセージを取得します。



ENTER ボタンを押します。



■ No Signal Warning

「On」に設定されている場合、ディスプレイの無信号警告機能を有効にします。

■ No Signal Warning Timing

無信号を警告するための検出時間を設定します。

■ No Signal Error

「On」に設定されている場合、ディスプレイの無信号エラー警告機能を有効にします。

■ No Signal Error Timing

無信号エラーを警告するための検出時間を設定します。°

お知らせ：

「No Signal Error Timing」を「No Signal Warning Timing」より短く設定することはできません。

■ Temperature Warning

「On」に設定されている場合、ディスプレイの温度警告機能を有効にします。

Web ブラウザ制御の使用

Web ブラウザを使用して、本機の制御およびネットワークとパスワードの設定を行うことができます。

Web ブラウザ制御を使用する前に

Web ブラウザ制御を使用するには、本体およびコンピュータの設定が必要です。

本体側の設定

ネットワーク機能を利用するには、「ネットワーク設定」で各設定を行い、「制御端子選択」を「LAN」に設定されていることを確認します。

コンピュータの設定

プロキシサーバー設定を無効にし、JavaScript を有効にしてください。

(Windows)

プロキシサーバー設定を無効にする

1. [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示します。
[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット]-[インターネットオプション] をクリックします。
2. [接続] タブをクリックし、[LAN 設定] をクリックします。
3. [自動構成スクリプトを使用する] および [LAN にプロキシサーバーを使用する] ボックスを選択解除します。
4. [OK] をクリックします。

JavaScript を有効にする

1. [インターネットのプロパティ] ウィンドウを表示します。
[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット]-[インターネットオプション] をクリックします。
2. [セキュリティ] タブのセキュリティレベルを [デフォルトレベル] に設定します。あるいは、[カスタムレベル] ボタンで [アクティブスクリプト] を有効にします。

(Macintosh)

プロキシサーバー設定を無効にする

1. [Safari] メニューで、[環境設定] をクリックします。一般画面が表示されます。
2. [詳細設定] タブで、[設定変更...] をクリックして [プロキシ] の横にあるボタンをクリックします。[プロキシ] をクリックして、プロキシサーバーを設定します。
3. [Web プロキシ] および [自動プロキシ設定] ボックスを選択解除します。
4. [今すぐ適用] をクリックします。

JavaScript を有効にする

1. Safari の [セキュリティ] を表示します。
2. [Web コンテンツ] の下で、[JavaScript の有効化] をクリックします。

Web ブラウザからのアクセス

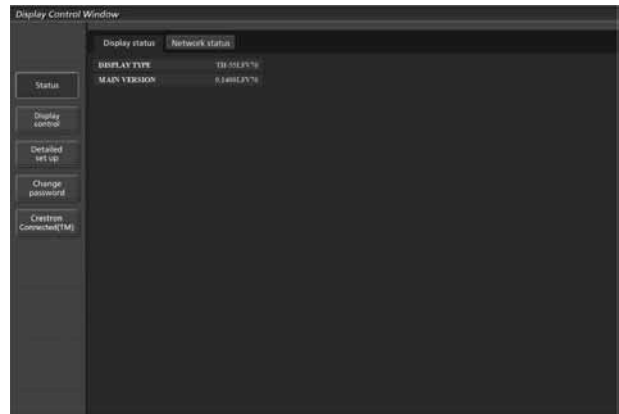
- 1 パソコンで Web ブラウザを起動します。
- 2 Web ブラウザの URL 入力フィールドに、ディスプレイに設定された IP アドレスを入力します。(65ページ)
- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

工場出荷時のデフォルト設定は、ユーザー名が user1 (ユーザー権限) または admin1 (管理者権限)、パスワードが panasonic です。



4 [OK] をクリックして、ディスプレイ状態ページを表示します。

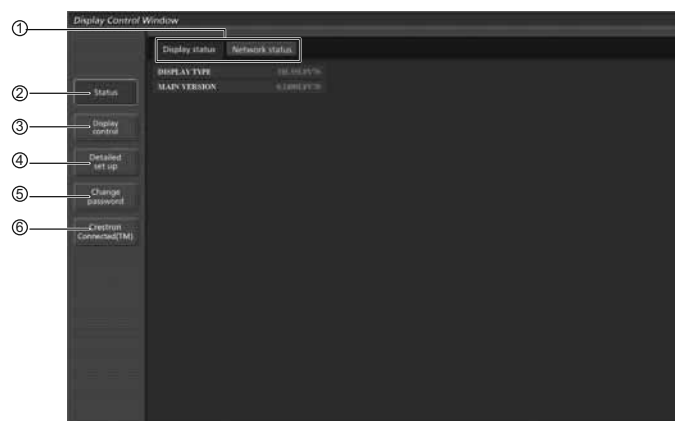
「Display status」ページが表示されます。



お知らせ：

- 設定を行う、または操作を制御する場合に、2つ以上の Web ブラウザを同時に起動しないでください。
- 最初に、パスワードを変更してください。
- 管理者権限はすべての機能を使用できます。ユーザー権限は「Display status」、「Network status」、「Basic control」、「Advanced control」、および「Change password」のみ使用できます。
- Web ブラウザを使用してディスプレイを制御する場合、[ネットワーク設定] メニューの [ネットワーク 制御] を [オン] にします。

■ 各項目の説明



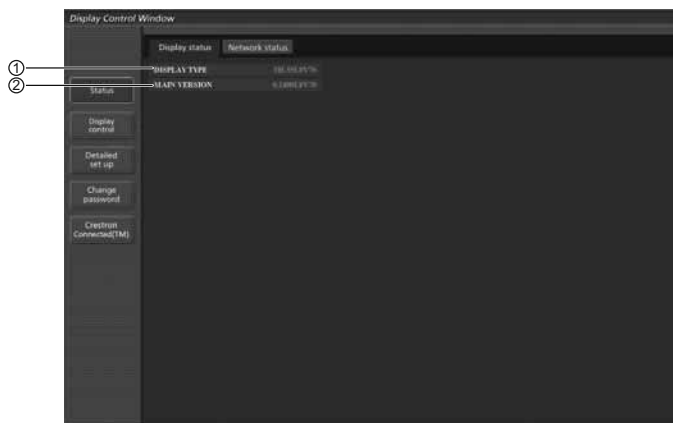
- | | |
|--|--|
| <p>① ページタブ
これらをクリックして、ページを切り換えます。</p> <p>② 「Status」
この項目をクリックすると、ディスプレイの状態が表示されます。</p> <p>③ 「Display control」
この項目をクリックして、ディスプレイ制御ページを表示します。</p> | <p>④ 「Detailed set up」
この項目をクリックして、詳細設定ページを表示します。</p> <p>⑤ 「Change password」</p> <p>⑥ Crestron Connected™
この項目をクリックして、Crestron Connected™ 操作ページを表示します。</p> |
|--|--|

状態情報ページ

[Status]、次に [Display status] をクリックして、状態情報ページを表示します。

このページは、以下に示す項目に設定されたディスプレイ状態を表示します。

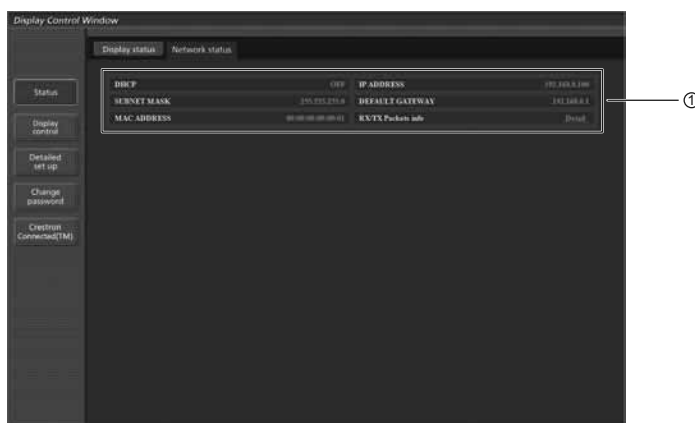
Web ブラウザ制御の使用



- ① ディスプレイの種類を表示します。
- ② ディスプレイ本体のファームウェアのバージョンを表示します。

ネットワーク状態ページ

[Status]、次に [Network status] をクリックして、ネットワーク状態ページを表示します。
ネットワークの現在の設定情報を表示します。



- ① 有線 LAN の設定詳細を表示します。

基本制御ページ

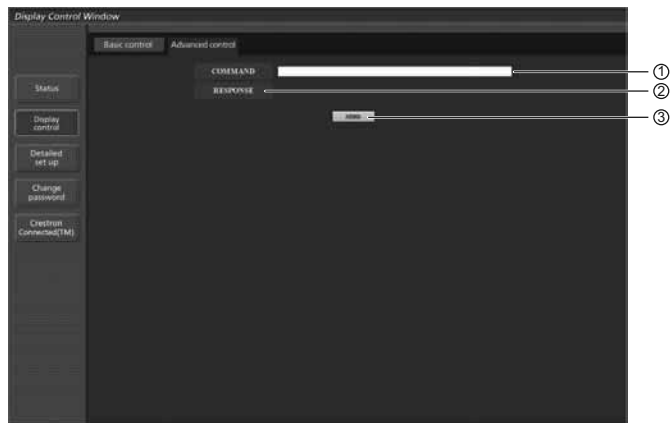
他のページから移動するには、[Display control]、次に [Basic control] をクリックします。



- ① 電源オン／オフ制御
- ② これらを使用して入力信号を選択します
- ③ AUDIO ミュートの操作
- ④ 画面モードの切り換え

詳細制御ページ

[Display control]、次に [Advanced control] をクリックして、詳細制御ページを表示します。



- ① コマンドを入力します。シリアル制御で使用されるものと同じコマンドを使用します。
- ② 本体からの応答が表示されます。
- ③ コマンドが送信され、実行されます。

お知らせ：

- これらの設定を変更した後、ディスプレイ状態が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

パスワード変更ページ

[Change password] をクリックします。



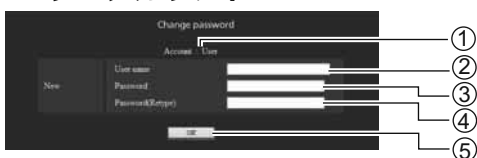
- ① 管理者
- ② ユーザー

■ 管理者モード



- ① アカウント
- ② 現在のユーザー名を入力するフィールド
- ③ 現在のパスワードを入力するフィールド
- ④ 新しいユーザー名を入力するフィールド
- ⑤ 新しいパスワードを入力するフィールド
- ⑥ 新しいパスワードを入力するフィールド
(確認のための再入力)
- ⑦ パスワード変更を実行するためのボタン

■ ユーザーアカウント

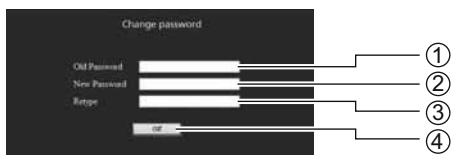


- ① アカウント
- ② 新しいユーザー名を入力するフィールド
- ③ 新しいパスワードを入力するフィールド
- ④ 新しいパスワードを入力するフィールド
(確認のための再入力)
- ⑤ パスワード変更を実行するためのボタン

Web ブラウザ制御の使用

■ ユーザーモード

ユーザーはパスワードのみ変更できます。



- ① 現在のパスワードを入力するフィールド
- ② 新しいパスワードを入力するフィールド
- ③ 新しいパスワードを入力するフィールド
(確認のための再入力)
- ④ パスワード変更を実行するためのボタン

お知らせ：

管理者アカウントを変更する場合、「現在のユーザー名」と「現在のパスワード」の両方が必要です。

ネットワーク設定ページ

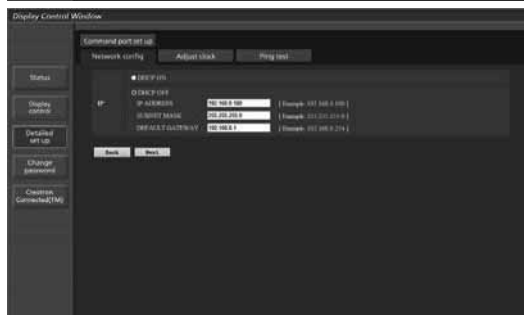
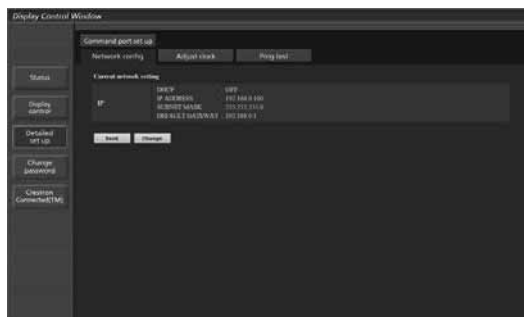
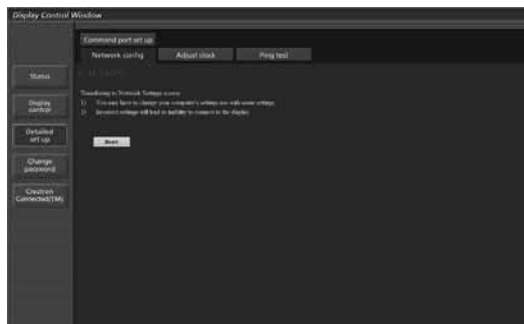
管理者権限なしで接続した場合でも、ディスプレイ上で詳細なネットワーク設定を行うことができます。

■ LAN 設定

1 メニューの [Detailed set up] をクリックします。

2 [Next] をクリックします。

- 設定画面が表示され、現在の設定が表示されます。
- LAN 設定を変更するには、[Change] をクリックします。
 - 前の画面に戻るには、[Back] をクリックします。



3 詳細設定を完了し、[Next] をクリックします。

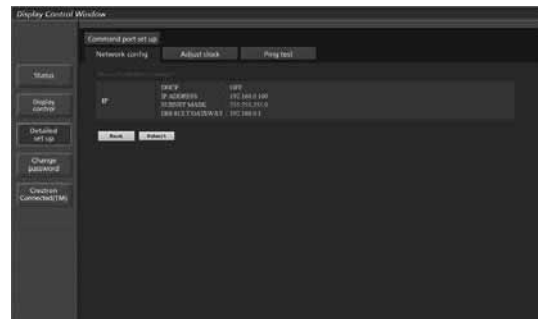
[Next] をクリックすると、次のページが表示され、詳細設定を希望通りに完了できます。

ここで行われた設定は、本機の [ネットワーク設定] で行われる設定と同じです。

必要な項目をすべて入力すると、確認画面が表示されます。

4 [Submit] をクリックします。

設定が登録されます。

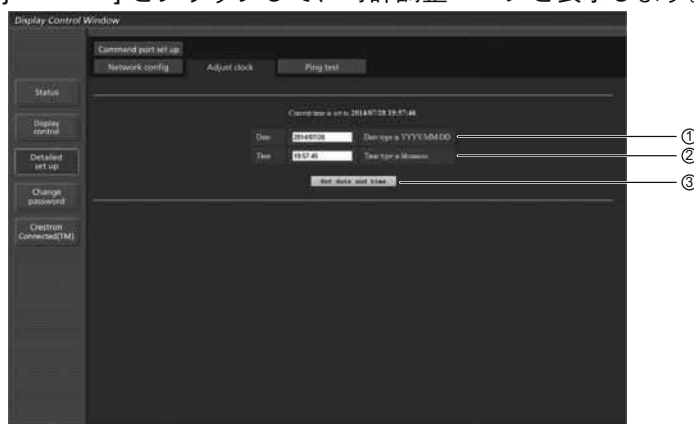


お知らせ：

- LAN 接続中に LAN の設定を変更すると、接続が切断される場合があります。

時計調整ページ

[Detailed set up]、次に [Adjust clock] をクリックして、時計調整ページを表示します。



- ① 新しい日付フィールド
- ② 新しい時刻フィールド
- ③ 時刻と日付の設定を更新するためのボタン

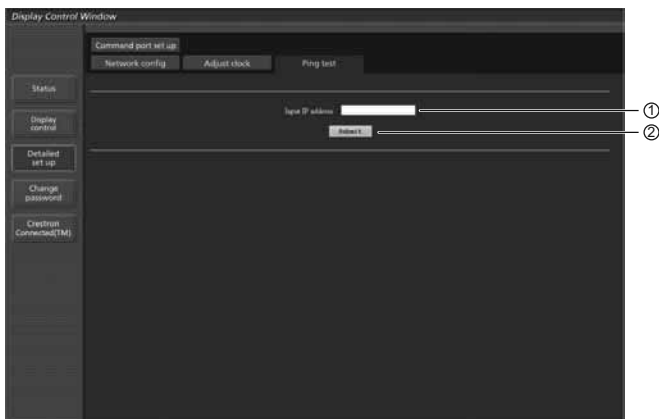
お知らせ：

- 正しい時刻に設定した後、すぐに時刻がずれる場合は、本機を購入した販売店に連絡してください。

Ping テストページ

このページでは、ネットワークが DHCP サーバーなどに接続しているか確認することができます。

[Detailed set up]、次に [Ping test] をクリックして、Ping テストページを表示します。



接続が成功した場合、次のように表示されます。

```
PING 192.168.0.78 (192.168.0.78): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.0.78: seq=0 ttl=64 time=12.708 ms
64 bytes from 192.168.0.78: seq=1 ttl=64 time=2.490 ms
64 bytes from 192.168.0.78: seq=2 ttl=64 time=2.406 ms
64 bytes from 192.168.0.78: seq=3 ttl=64 time=2.348 ms

--- 192.168.0.78 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 2.348/4.988/12.708 ms
```

接続が失敗した場合、次のように表示されます。

```
PING 192.168.0.60 (192.168.0.60): 56 data bytes

--- 192.168.0.60 ping statistics ---
4 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss
```

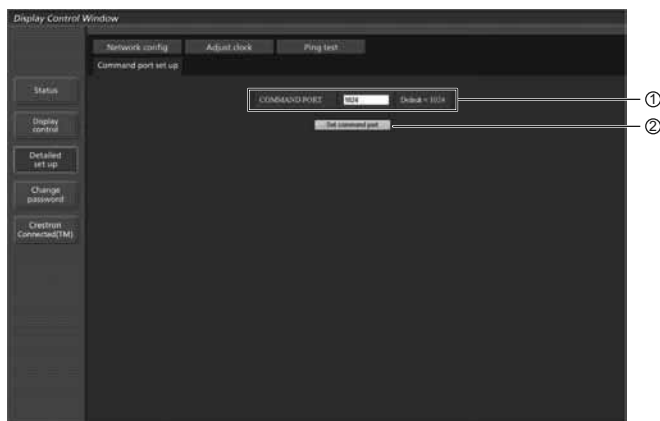
Web ブラウザ制御の使用

- ① テストするサーバーの IP アドレスを入力します。
- ② テストを行うためのボタン。

コマンドポート設定ページ

コマンド制御に使用するポート番号を設定します。

[Detailed set up] → [Command port set up] をクリックします。



- ① コマンド制御に使用するポート番号を入力します
- ② 設定更新ボタン

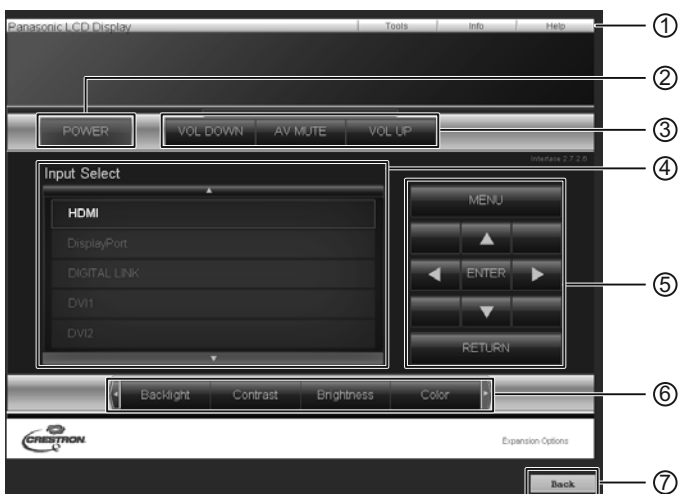
Crestron Connected™ ページ

Crestron Connected™ を使用して、ディスプレイを監視 制御することができます。

[Crestron Connected™] をクリックすると、Crestron Connected™ 操作ページが表示されます。

Adobe Flash Player がコンピュータにインストールされていない、あるいは、ブラウザが Flash をサポートしていない場合、このページは表示されません。その場合、操作ページの [Back] をクリックして前のページに戻ってください。

操作ページ



① Tools、Info、Help

ディスプレイの設定／情報／ヘルプページに切り換えるタブです。

② POWER

電源の切／入を切り換えます。

③ VOL DOWN、AV MUTE、VOL UP

音量／AV ミュートの操作をします。ディスプレイの電源が切れている場合、これらの操作はできません。

④ Input Select

入力切り換えの操作をします。ディスプレイの電源が切れている場合、この操作はできません。

⑤ メニュー画面の操作ボタン

メニュー画面の操作をします。

⑥ 画質調整

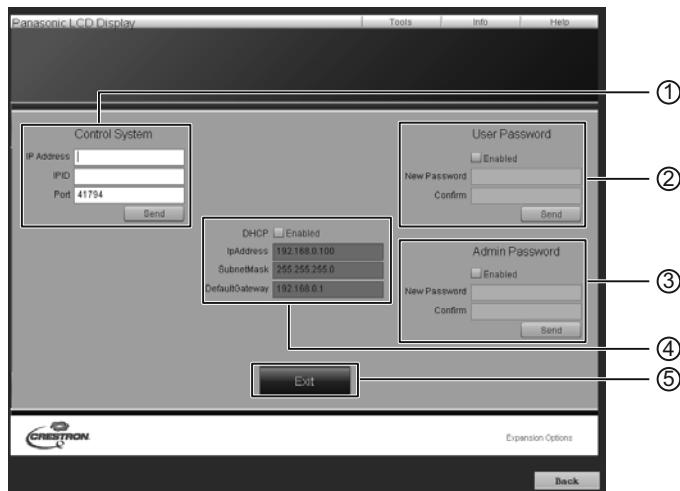
画質に関する項目の操作をします。

⑦ Back

前のページへ戻る操作をします。

Tools ページ

操作ページで Tools をクリックします。



① Control system

ディスプレイに接続するコントローラーとの通信に必要な情報を設定します。

② User Password

Crestron Connected™ の操作ページ内でのユーザー権限パスワードを設定します。

③ Admin Password

Crestron Connected™ の操作ページ内でのアドミニストレーター権限パスワードを設定します。

④ Network status

LAN の設定内容を表示します。

DHCP：現在設定している値を表示します。

IpAddress：現在設定している値を表示します。

SubnetMask：現在設定している値を表示します。

DefaultGateway：現在設定している値を表示します。

⑤ Exit

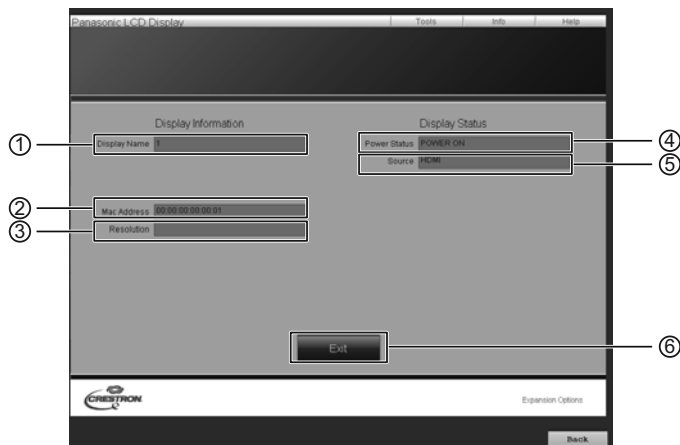
操作ページに戻ります。

お知らせ：

- Crestron Connected™ を使用してディスプレイを監視・制御する場合は、「ネットワーク設定」メニューで「Crestron Connected™」を「オン」に設定します。

Info ページ

操作ページで Info をクリックします。



① Display Name

ディスプレイ名を表示します。

② Mac Address

MAC アドレスを表示します。

③ Resolution

解像度を表示します。

④ Power Status

電源の状態を表示します。

⑤ Source

選択している映像入力を表示します。

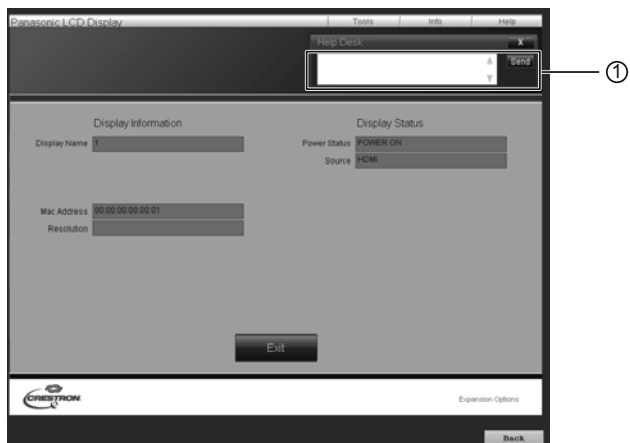
⑥ Exit

操作ページに戻ります。

Web ブラウザ制御の使用

Help ページ

操作ページで Help をクリックします。
Help Desk ウィンドウが表示されます。



① Help Desk

Crestron Connected™ を使用する管理者にメッセージを送受信します。

PJLink™ プロトコル

本機ネットワーク機能は、PJLink™ クラス 1 に準拠しています。そして、PJLink™ プロトコルを使用してコンピュータから次の操作を行うことができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態の問合せ

サポートされるコマンド

PJLink™ プロトコルを使用して本機を制御するためのコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御	備考
POWR	電源制御	パラメータ 0 = スタンバイ、1 = 電源「オン」
POWR ?	電源状態の問合せ	パラメータ 0 = スタンバイ、1 = 電源「オン」
INPT	入力切替	パラメータ
INPT ?	入力切替の問合せ	コマンド INST ? 用パラメータを参照
AVMT	シャッター制御	パラメータ 10 = 映像オン (映像ミュート無効化)、11 = 映像オフ (映像ミュート) 20 = 音声オン (音声ミュート無効化)、21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像および音声ミュート無効化) 31 = シャッターモードオン (映像および音声ミュート)
AVMT ?	シャッター制御の問合せ	パラメータ 11 = 映像オフ (映像ミュート) 21 = 音声オフ (音声ミュート) 30 = シャッターモードオフ (映像および音声ミュート無効化) 31 = シャッターモードオン (映像および音声ミュート)
ERST ?	エラー状態の問合せ	パラメータ 1 番目のバイト : 0 2 番目のバイト : 0 3 番目のバイト : 0 4 番目のバイト : 0 5 番目のバイト : 0 6 番目のバイト : 他のエラーを意味します。0 または 2。 0 ~ 2 の設定の意味 : 0 = エラーは未検出、2 = エラー
LAMP ?	ランプ状態の問合せ	未サポート

INST ?	入力切替リストの問合せ	パラメータ 11 : PC 21 : COMPONENT 22 : VIDEO 31 : HDMI 32 : DisplayPort 33 : DIGITAL LINK 34 : DVI-D1 35 : DVI-D2 41 : USB
NAME ?	プロジェクト名の問合せ	「ネットワーク設定」で選択したディスプレイ名の内容が返されます。
INF1 ?	メーカー名の問合せ	「Panasonic」が返されます
INF2 ?	モデル名の問合せ	「55LFV70J」が返されます
INFO ?	他の情報の問合せ	バージョン番号が返されます
CLSS ?	クラス情報の問合せ	「1」が返されます

PJLink™ セキュリティ認証

PJLink™ パスワードとして、「panasonic」を設定します。

PJLink で使用するパスワードは、WEB制御で設定したパスワードと同じです。(73ページ)

認証なしで使用する場合は、WEB制御のパスワードをなしに設定してください。

Web ブラウザ制御

Web ブラウザを使用して、本機の制御およびネットワークとパスワードの設定を行うことができます。

USB メディアプレーヤー

1.機能の説明

画像を保存している USB メモリーを挿入し、入力を USB に変更することにより、保存されているファイルを再生できるように設計された機能です。

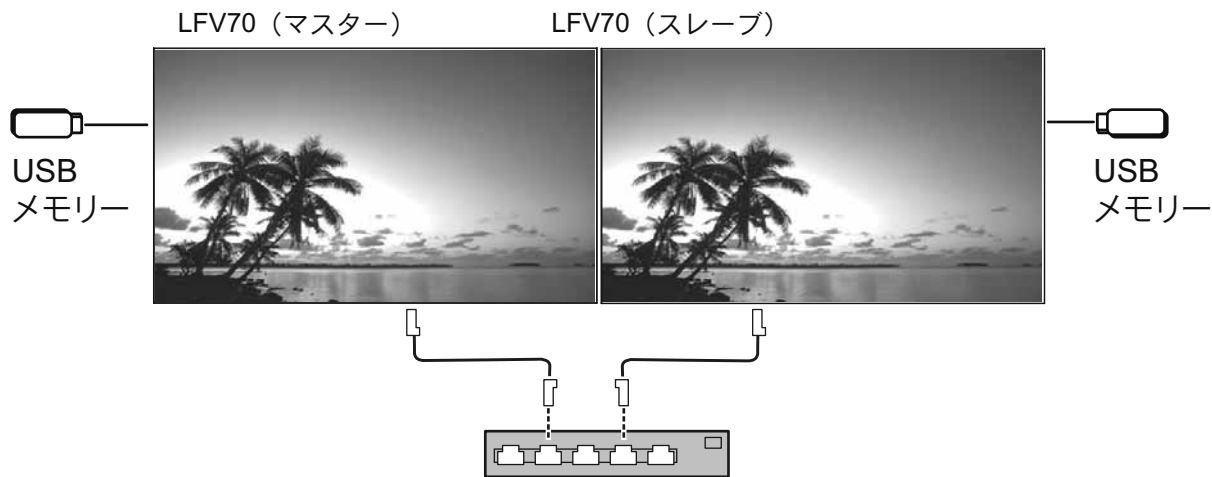
シングルメディアプレーヤー

ファイルは 1 台の LFBV70 で再生されます。



マルチメディアプレーヤー

複数台の LFBV70 が LAN ケーブルで接続され、同時にファイルを再生できます。複数台のうち 1 台がマスターになり、残りはスレーブになります。



ハブまたはブロードバンドルーター

2.USB メモリー

メディアプレーヤーに対して、USB メモリー内の以下のファイルを提供します。

- ・ 再生ファイル
- ・ シナリオ
- ・ ファイルリスト

2.1. 再生ファイル

メディアプレーヤーで再生されるファイルです。
LFV70 メディアプレーヤーは以下の形式をサポートしています。

file name (Extention)

静止画	JPG、JPEG、JPE
動画	AVI、MKV、ASF、WMV、TS、MTS、MP4、3GP、MOV、FLV、F4V

code c

静止画	JPEG (base line)
動画	MPEG4 VISUAL(MPEG4), MPEG4 AVC(H264/AVC), VC-1 Advanced(WMV9), VC-1 Simple & Main(WMV9)
Audio	Audio codec: MP3, WMA, AAC

The maximum resolution is still image: 4096 x 4096

2.2. シナリオ

再生ファイルに対して、再生順や時間を指定できます。
USB メモリーのルート直下に「scenario.dat」という名前で保存します。
* ファイルは UTF-8N 形式で保存します。

2.3. ファイルリスト

再生ファイルのリストです。
USB メモリーのルート直下に「filelist.dat」という名前で保存します。
* ファイルは UTF-8N 形式で保存します。

2.4. シナリオ／ファイルリスト関連用語

ファイル名

再生ファイルの名称です。
ファイル名は、拡張子を含む必要があります。
例) intoroduction.jpg
Contents_video01.wmv

* ファイル名の拡張子は、1 バイトの英数字で入力します。

ファイル定義

シナリオとファイルの間で共有するファイル定義です。
例) PHOTO_001 : 静止画ファイル定義
VIDEO_001 : 動画ファイル定義
* 数値部分は 001 から 999 を設定できます。
* ファイル定義は、1 バイトの英数字で入力します。

再生時間

ファイルの再生時間です。
再生時間は、3 秒から 24 時間まで指定できます。(単位 : 秒)
例) 3 : 3 秒
864000 : 24 時間
10.5 : 10.5 秒。小数点 (ピリオド) を使って、1 秒の 10 分の 1 (1/10) まで設定できます。

再生時間は省略可能です。
静止画については、ファイルは OSD (スライドショー再生間隔) で選択した時間間隔で再生されます。
動画については、ファイルの再生時間の間隔で再生されます。
* 再生時間は、英語の 1 バイト文字で入力します。

USB メディアプレーヤー

グループ ID (マルチメディアプレーヤー用)

マルチメディアプレーヤーとして使用する際に、ネットワークを分類するために使用される ID です。

例) GroupID:G01 : グループ 1

ID は G01 から G10 を設定できます。

* グループ ID は、1 バイトの英数字で入力します。

2.5. 各モードの設定例

2.5.1. シングルメディアプレーヤータイプ 1

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

シナリオ (ファイル定義) : (再生時間) を入力します。

ファイルリスト (ファイル定義) : (ファイル名) を入力します。

設定例

USB メディアコンテンツ

```
└─ filelist.dat
└─ scenario.dat
└─ Intoroduction.jpg
└─ Contents_Video1.wmv
└─ Contents_Video2.wmv
└─ Contents_Video3.wmv
```

filelist.dat

```
PHOTO_001: Intoroduction.jpg
VIDEO_001: Contents_Video1.wmv
VIDEO_002: Contents_Video2.wmv
VIDEO_003: Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat

```
PHOTO_001:10
VIDEO_001:10
VIDEO_002:20
VIDEO_003:
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます (ループ)。

1. Intoroduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生される)

2.5.2. シングルメディアプレーヤータイプ 2

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

シナリオ (ファイル名) : (再生時間) を入力します。

ファイルリスト * 不要

設定例

USB メディアコンテンツ

```
└─ scenario.dat
└─ Intoroduction.jpg
└─ Contents_Video1.wmv
└─ Contents_Video2.wmv
└─ Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat

```
Intoroduction.jpg:10
Contents_Video1:10
Contents_Video2:20
Contents_Video3:
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます (ループ)。

1. Intoroduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)

4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生される)

2.5.3. シングルメディアプレーヤータイプ 3

ファイルは、USB メディア内の名前順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

シナリオ * 不要
 ファイルリスト * 不要

設定例

USB メディアコンテンツ

```
└ 001_Intoroduction.jpg
└ 002_Contents_Video1.wmv
└ 003_Contents_Video2.wmv
└ 004_Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます (ループ)。

1. 001_Intoroduction.jpg (10 秒)
2. 002_Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. 003_Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. 004_Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生される)

2.5.4. マルチメディアプレーヤー

ファイルは、マスターのシナリオに記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

[マスター側]

シナリオ (ファイル定義) : (再生時間) を入力します。
 ファイルリスト 1 行目 (グループ ID) を入力します。
 2 行目以降 (ファイル定義) : (ファイル名) を入力します。

[スレーブ側]

シナリオ * 不要
 ファイルリスト 1 行目 (グループ ID) を入力します。
 2 行目以降 (ファイル定義) : (ファイル名) を入力します。

設定例

[マスター側]

USB メディアコンテンツ

```
└ filelist.dat
└ scenario.dat
└ Intoroduction.jpg
└ Contents_Video1.wmv
└ Contents_Video2.wmv
└ Contents_Video3.wmv
```

filelist.dat

```
PHOTO_001: Intoroduction.jpg
VIDEO_001: Contents_Video1.wmv
VIDEO_002: Contents_Video2.wmv
VIDEO_003: Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat

```
PHOTO_001:10
VIDEO_001:10
VIDEO_002:20
VIDEO_003:
```

USB メディアプレーヤー

スレーブ側]

USB メディアコンテンツ	scenario.dat
<pre>└ scenario.dat └├ Intoroduction.jpg └├ Contents_Video1.wmv └├ Contents_Video2.wmv └├ Contents_Video3.wmv</pre>	<pre>Intoroduction.jpg:10 Contents_Video1:10 Contents_Video2:20 Contents_Video3:</pre>

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

[マスター側]	[スレーブ側]	
1. L_Intoroduction.jpg	R_Intoroduction.jpg	(10 秒)
2. L_Contents_Video1.wmv	R_Contents_Video1.wmv	(10 秒)
3. L_Contents_Video2.wmv	R_Contents_Video1.wmv	(20 秒)
4. L_Contents_Video3.wmv	R_Contents_Video1.wmv	(*1)

(*1) L_Contents_Video3.wmv (マスター側) の再生時間の間、再生される

2.6. USB メモリー内容チェック

USB メモリーの内容チェックは OSD メニューの [シナリオファイルチェック] で実行できます。

お知らせ：以下の説明に従って、主要なエラーコードを表示します。

* 以下のエラーが検出可能です。

1. USB メディアが挿入されていない
2. scenario.dat / filelist.dat が開けない
3. scenario.dat / filelist.dat の記載内容にエラーがある
4. 再生ファイルの形式はサポートされていない
5. 再生ファイルが存在しない
6. マルチプレーヤーなのにグループ ID が未設定
7. 同一のファイル定義が複数ある
8. ファイルの再生時間範囲外
9. シナリオに記載されたファイルがファイルリストにない
10. シナリオの再生ファイルが 0 もしくは 1000 以上ある
11. 再生ファイルが 0 もしくは 1000 以上ある (シングルメディアプレーヤータイプ 3 のみ)
12. ファイルリストにグループ ID しかない (マルチメディアプレーヤーのみ)

* 捕捉事項

USB メモリー内容チェックは、再生ファイルが再生可能かどうかは判断できません。

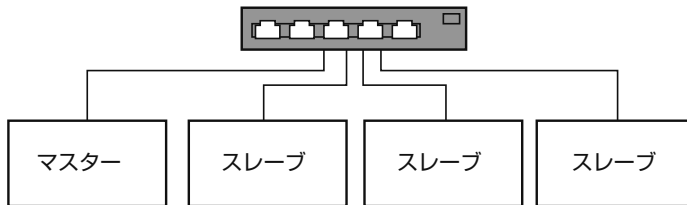
メディアプレーヤーが有効であるのにファイルが再生できない場合、エラー OSD が表示されます。

3. ネットワーク環境（マルチメディアプレーヤーのみ）

3.1. LAN 接続および IP アドレス／サブネットマスクの設定例

下記のように、複数台の LJV70 を LAN ケーブルで接続し、IP アドレス／サブネットマスクを設定し、すべてのパネルが同じネットワークに存在するようにします。

ハブまたはブロードバンドルーター



IP アドレス：	192.168.10.1	192.168.10.2	192.168.10.3	192.168.10.4
サブネットマスク：	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0	255.255.255.0

* お知らせ

ネットワークトラフィックの混雑を防止するために、任意のその他の機器との接続を確定しようとししないでください。間にルーターを置くと接続できません。同じサブネット内で使用してください。

ネットワーク設定をオンにしてください。

4. メディアプレーヤーの開始／終了手順

4.1. シングルメディアプレーヤーの場合

開始手順

- (1) メディアプレーヤー用の USB メモリーを挿入します。 *2 章を参照
- (2) USB メモリー内容チェックを実行します。 *2.6 章を参照
エラーが発生した場合、エラーが解消されるまでチェックを繰り返します。
- (3) 入力を USB に変更します。

終了手順

- (1) 入力を USB 以外に変更します。

4.2. マルチメディアプレーヤーの場合

開始手順

- (1) 複数台の LJV70 を LAN ケーブルで接続します。 *3 章を参照
- (2) メディアプレーヤー用の USB メモリーを各 LJV70 に挿入します。 *2 章を参照
- (3) 各 LJV70 で USB メモリー内容チェックを実行します。 *2.6 章を参照
エラーが発生した場合、エラーが解消されるまでチェックを繰り返します。
- (4) マスターの入力を USB に変更します。

終了手順

マスターの入力を USB 以外に変更します。

5.途中から再生機能

メディアプレーヤー終了後、途中から再生時に再生されるファイルは、OSDメニューの[途中から再生]の設定により異なります。


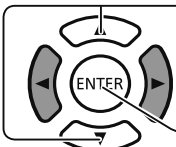
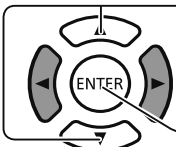
設定がオンの場合：メディアプレーヤーの終了前に再生されたファイルが、最初から再生されます。

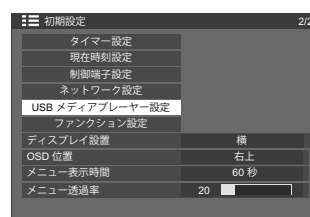
設定がオフの場合：シナリオの最初のファイルの初めから再生されます。

* 途中からの再生は、以下の操作により消去されます。

- 電源オフ
- USBメモリーの取り外し

6.USB メディアプレーヤー設定

- 1 を押して、初期設定メニューを表示します。
- 2 を押して、「USBメディアプレーヤー設定」を選択します。
を押して、USBメディアプレーヤー設定を表示します。



USBメディアプレーヤー

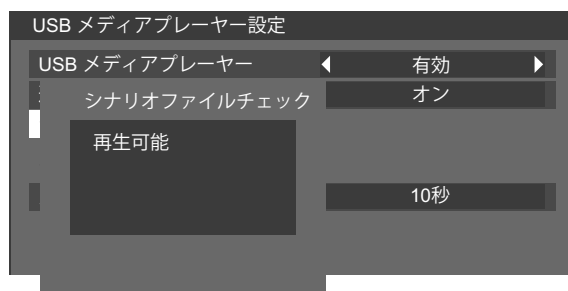
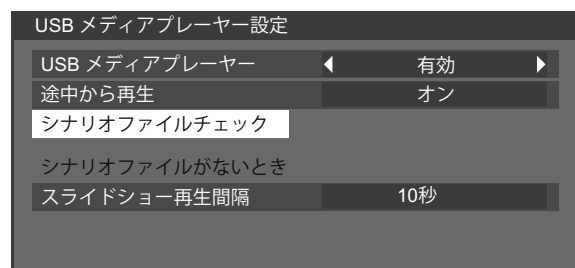
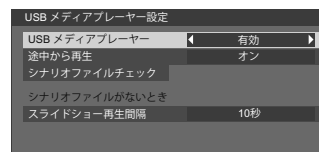
USBメディアプレーヤーの機能を有効または無効に設定します。

途中から再生

途中から再生機能を有効または無効に設定します（5章「途中から再生機能」を参照してください）。

シナリオファイルチェック

USBメモリー内容チェックを実行します。エラーが検出された場合は、エラーコードとファイル名が表示されます。（2.6章「USBメモリー内容チェック」を参照してください。エラーコードの詳細を確認できます）



(シナリオファイルチェック画面の例)

スライドショー再生間隔

静止画像の表示時間を選択します。2.4章「シナリオ／ファイルリスト関連用語」の「再生時間」を参照してください。

修理を依頼される前に… もう一度次の点をお調べください。

修理を依頼する前に、症状を確認し、下記にある簡単なチェックを行ってください。

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが抜けています。 2. 本製品の背面にある主電源スイッチがONになっていません。 3. 選択された入力が接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモード中です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチがONであることを確認します。 3. 本製品に入力を接続します。
本製品で表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲の電子機器や蛍光灯が原因です。	干渉が少なくなるような別の場所に本製品を移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていません。	本製品の背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号が本製品の能力を超えています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
入力ソースまたは信号を変更後、映像が正しく表示されません。	映像信号が正しく受信されていない可能性があります。	もう一度、他の入力ソースを選択してから、目的の入力ソースに戻ってください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	ズームモードが正しく設定されていません。	画面設定メニューのズームモードまたはカスタムズーム機能を使用して、微調整します。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されています。 3. [MUTE] (ミュート) がオンになっています。 4. 外部スピーカーが接続されていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [H] (音量を上げる) または [L] (音量を下げる) ボタンを押して、音を聞きます。 3. [MUTE] (ミュート) ボタンを使用して、ミュートをオフに切り替えます。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	本製品の一部の画素は点灯しない場合があります。	本製品は超ハイレベルな精密技術で製造されています。しかし、画面の一部に画素欠けが存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をOFFにした後も残像が表示されています。(例:ロゴ、ビデオゲーム、コンピューター画像、4:3の通常モードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像が時間より長く表示されていました。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本製品上に永続的な残像が残る原因となるためです。

こんなとき		ここをお調べください
画質	音声	
 干渉	 ノイズの多い音	電気器具 車／バイク 蛍光灯
 正常な映像	 音声なし	音量 (ミュート機能はリモコンで有効化されているかどうかを確認してください。)
 映像なし	 音声なし	AC コンセントに接続されていません スイッチオンになっていません ピクチャーと黒レベル／音量の設定 (電源スイッチを押すか、リモコンのスタンバイボタンを押して確認します。)
 映像なし	 正常な音声	該当のないカラーシステム形式の信号である場合、周波数が入力である場合、入力端子指示のみが表示される場合。
 色が表示されない	 正常な音声	カラー制御が最小レベルに設定されています。 カラーシステム
リモコンで操作できません。		電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。 リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません。) 「Options」メニューの「Controller user level」設定を「Off」以外にしていますか リモコン I D 機能を「オン」にしていますか？ リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にしていますか？ IR 制御を「本体」以外にしていますか？
本機から時々、「ピシッ」と音がする。		画面や音声に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他には影響ありません。
ズーム機能を使用すると、画面上の映像の上部または下部が表示されません。		画面上の映像の位置を調整します。
ズーム機能を使用すると、画面の上部と下部に映像が欠落している領域が表示されます。		16:9 モードでより広いスクリーンをビデオソフトウェアプログラム (例えば、シネマサイズのプログラムなど) を使用する場合、画像とは別のブランク領域が、画面の上部と下部に形成されています。
本体内部からの音が聞こえます。		電源をオンにすると、駆動される表示パネルの音が聞こえる場合があります。これは正常であり、誤動作を示すものではありません。
本体の一部が熱くなっています。		前面、上部および背面パネルの一部の温度が上昇した場合でも、これらの温度上昇が性能や品質の面で問題を与えることはありません。
予期せずに電源が自動的にオフになります。		「無信号自動オフ」、「PC パワーマネージメント」、「DVI-D パワーマネージメント」、「HDMI パワーマネージメント」および「無操作自動オフ」の設定を確認します。それらのいずれかが、「オン (有効)」に設定されている可能性があります。
時々、映像または音声が出力されません。		HDMI または DVI 信号をセレクトまたはディストリビューターを使ってディスプレイに入力する場合、音声または映像は使用するセレクトまたはディストリビューターにより、通常の方法で出力されない場合があります。 電源をいったん切ってから再投入することにより、またはセレクトやディストリビューターを交換することによって症状を改善することができます。
RS232C が制御不能です		接続が正しく行われているかどうかを確認します ディスプレイの RS-232C 端子から 15 ページの RS-232C コマンドを制御する場合、「シリアル制御」が「SERIAL IN」であること、または、DIGITAL LINK 装置の RS-232C 端子から制御する場合は、「DIGITAL LINK」であることを確認してください。 「制御端子設定」が正しく設定されているかどうかを確認します。(DIGITAL LINK 装置の RS-232C 端子から制御する場合)
LAN が制御不能です		接続が正しく行われているかどうかを確認します Web ブラウザ制御または 78 ページのコマンド制御を使用して制御する場合は、「ネットワークコントロール」が「オン」であることを確認してください。 「LAN 設定」が正しく設定されているかどうかを確認します。 AMX、Crestron Electronics 社、または、Extron の装置に接続する場合、使用する装置に応じて、「AMX D.D.」、「Crestron Connected™」、「Extron XTP」を設定してください。 「DIGITAL LINK ステータス」の「信号品質」情報を参照し、LAN ケーブルの状態 (LAN ケーブルが断線していないか、ケーブルがシールドされていないか) を確認してください。
DIGITAL LINK 端子から映像または音声が出力されません。		映像 (出力) 機器とツイストペアケーブル伝送機間およびツイストペアケーブル伝送機と本機の間接続が適切に行われているかどうかを確認します。(19 ページを参照してください) 「DIGITAL LINK モード」が、「イーサネット」の代わりに「オート」または「DIGITAL LINK」に設定されていることを確認します。(64 ページを参照してください)
この LCD ディスプレイは、特殊な画像処理を使用しています。したがって、わずかなタイムラグが、入力信号の種類に応じて、映像と音声の間に起こり得ます。しかし、これは故障ではありません。		

症状	確認
映像が表示されるのにしばらく時間がかかります。	本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。
画像の縁がちらつきます。	パネルを駆動するために使用されるシステムの特性により、画像の縁の動きの速い部分がちらつくように見える場合があります。これは正常であり、誤動作を示すものではありません。
画面上に赤、青、緑、黒の斑点が見えることがあります。	これは、液晶パネルの特性であり、問題はありません。液晶パネルは、非常に精密な技術で、精細な映像を表示するように構築されています。時折、いくつかの非アクティブピクセルが、赤、青、緑、黒の固定点として画面に表示されることがあります。これは、LCD の性能には影響しませんのでご了承ください。
<div data-bbox="248 506 451 613" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="240 629 459 651">残像が表示されます</p>	残像が発生することがあります。長時間静止画を表示すると、画像が画面上に残ることがあります。しかし、しばらくすると消えます。これは故障ではありません。

対応する入力信号

PC 信号

* マーク : 対応する入力信号

	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック (MHz)	RGB IN	PC IN	DisplayPort	DVI-D IN 1, 2	HDMI
1	640x400@70Hz	31.46	70.07	25.17	*	*			
2	640x480@60Hz	31.46	59.93	25.17	*	*	*	*	*
3	640x480@72Hz	37.86	72.81	31.50	*	*			
4	640x480@75Hz	37.50	75.00	31.50	*	*			
5	640x480@85Hz	43.27	85.01	36.00	*	*			
6	800x600@56Hz	35.16	56.25	36.00	*	*			
7	800x600@60Hz	37.88	60.32	40.00	*	*	*	*	*
8	800x600@72Hz	48.08	72.19	50.00	*	*			
9	800x600@75Hz	46.88	75.00	49.50	*	*			
10	800x600@85Hz	53.67	85.06	56.25	*	*			
11	852x480@60Hz	31.47	59.94	34.24			*	*	*
12	1024x768@50Hz	39.55	50.00	51.89			*	*	*
13	1024x768@60Hz	48.36	60.00	65.00	*	*	*	*	*
14	1024x768@70Hz	56.48	70.07	75.00	*	*			
15	1024x768@75Hz	60.02	75.03	78.75	*	*			
16	1024x768@85Hz	68.68	85.00	94.50	*	*			
17	1066x600@60Hz	37.64	59.94	53.00			*	*	*
18	1152x864@60Hz	53.70	60.00	81.62			*	*	*
19	1152x864@75Hz	67.50	75.00	108.00	*	*			
20	1280x720@60Hz	44.77	59.86	74.50	*	*	*	*	*
21	1280x768@60Hz	47.70	60.00	80.14	*	*			
22	1280x800@60Hz(1)	49.31	59.91	71.00	*	*	*	*	*
23	1280x800@60Hz(2)	49.70	59.81	83.50	*	*	*	*	*
24	1280x960@60Hz	60.00	60.00	108.00	*	*			
25	1280x960@85Hz	85.94	85.00	148.50	*	*			
26	1280x1024@60Hz	63.98	60.02	108.00	*	*	*	*	*
27	1280x1024@75Hz	79.98	75.02	135.00	*	*			
28	1280x1024@85Hz	91.15	85.02	157.50	*	*(1)			
29	1366x768@50Hz	39.55	50.00	69.92			*	*	*
30	1366x768@60Hz	48.39	60.04	86.71	*	*	*	*	*
31	1400x1050@60Hz	65.22	60.00	122.61			*	*	*
32	1440x900@60Hz(1)	55.47	59.90	88.75	*	*	*	*	*
33	1440x900@60Hz(2)	55.93	59.89	106.50	*	*	*	*	*
34	1600x900@60Hz	55.99	59.95	118.25			*	*	*
35	1600x1200@60Hz	75.00	60.00	162.00	*	*	*	*	*

対応する入力信号

36	1920x1080@60Hz	67.50	60.00	148.50	*	*	*	*	*
37	1920x1200@60Hz	74.04	59.95	154.00			*	*	*
38	Macintosh13 インチ (640x480)	35.00	66.67	30.24	*	*			
39	Macintosh16 インチ (832x624)	49.72	74.55	57.28	*	*			
40	Macintosh21 インチ (1152x870)	68.68	75.06	100.00	*	*			

*1 SYNC ON G と互換性がありません。

- 自動的に検出された信号形式は、ディスプレイの実際の入力信号とは異なる場合があります。

色差ビデオ信号

*マーク：対応する入力信号


	信号名	水平周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)	ドットクロ ック (MHz)	COMPONENT IN	DisplayPort	DVI-D IN 1, 2	HDMI
1	525(480)/60i (アナログ)	15.73	59.94	13.50	*			*
2	525(480)/60i (デジタル)	15.73	59.94	27.00		*	*	
3	525(480)/60p	31.47	59.94	27.00	*	*	*	*
4	625(575)/50i	15.63	50.00	13.50	*			
5	625(576)/50i	15.63	50.00	27.00		*	*	*
6	625(575)/50p	31.25	50.00	27.00	*			
7	625(576)/50p	31.25	50.00	27.00		*	*	*
8	750(720)/60p	45.00	60.00	74.25	*	*	*	*
9	750(720)/50p	37.50	50.00	74.25	*	*	*	*
10	1,125(1,080)/60p	67.50	60.00	148.50	*	*	*	*
11	1,125(1,080)/60i	33.75	60.00	74.25	*	*	*	*
12	1,125(1,080)/50p	56.25	50.00	148.50	*	*	*	*
13	1,125(1,080)/50i	28.13	50.00	74.25	*	*	*	*
14	1,125(1,080)/24PsF	27.00	48.00	74.25	*			
15	1,125(1,080)/30p	33.75	30.00	74.25	*	*	*	*
16	1,125(1,080)/25p	28.13	25.00	74.25	*	*	*	*
17	1,125(1,080)/24p	27.00	24.00	74.25	*	*	*	*

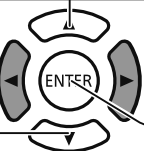
ビデオ信号 (VIDEO)

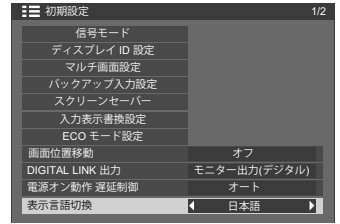
	信号名	水平 周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)	ドットク ロック	VIDEO
1	NTSC	15.73	59.94	13.50	*
2	PAL	15.63	50.00	13.50	*
3	PAL60	15.73	59.94	13.50	*
4	SECAM	15.63	50.00	13.50	*
5	NTSC 4.43	15.73	59.94	13.50	*
6	PAL N	15.63	50.00	13.50	*
7	PAL M	15.73	59.94	13.50	*

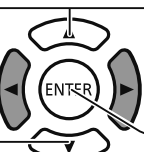

出荷状態

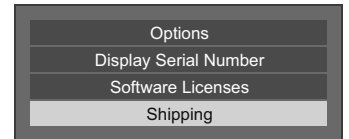
この機能を使用すると、工場出荷時設定に本体をリセットすることができます。

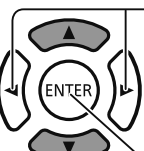

1  押して、初期設定メニューを表示します。

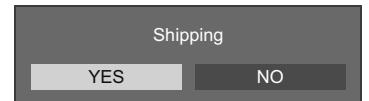
2  押して、「表示言語切換」を選択します。
3 秒以上押し続けます。



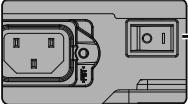

3  押して、「Shipping」を選択します。
 押して、「Shipping」メニューを表示します。




4  押して、「YES」を選択します。
 押して確認します。



5 10 秒間待機します。

6  本体の電源スイッチ () を押して、電源をオフにします。

[本体のボタンから]

1. [MENU] を数回押して「初期設定」メニューが表示されるまで押します。
2. [▲▼] を押して、「表示言語切換」を選択します。
3. [INPUT] を 5 秒以上押します。
4. [▲▼] を押して、「Shipping」を選択します。
5. [INPUT] を押して、「Shipping」メニューを表示します。
6. [+-] を押して、「YES」を選択します。
7. [INPUT] を押し、10 秒間待機します。
8. [本体の電源 () スイッチ] を押して電源を切ります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼される時

87 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

保証期間: お買い上げ日から本体 1 年間


■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。
パナソニック システムお客様ご相談センター

電話  **0120-878-410** 受付: 9時～17時30分 (土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <http://panasonic.biz/prodisplays/>
ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容

ご氏名	
ご住所	付近の見取り図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	詳しくお願いします。
訪問ご希望日	

仕様

		TH-55LFV70J
電源		100V ~ (50/60 Hz)
消費電力		
	定格消費電力	330 W
	スタンバイ状態	0.5 W
	電源オフ状態	0 W
LCD ディスプレイパネル		55 インチ IPS パネル (LED バックライト)、フル (トグル) アスペクト比
画面寸法		幅 120.9 cm 高さ 68 cm 対角 138.7 cm
	(画素数)	2,073,600 画素 (水平 1,920 × 垂直 1,080) [ドット数 5,760 × 1,080]
動作使用条件		
	温度	0 ° C ~ 40 ° C
	湿度	20 % ~ 80 % (結露無し)
対応する信号		
	カラーシステム	NTSC、PAL、PAL60、SECAM、NTSC 4.43、PAL M、PAL N
	スキャン形式	525 (480) / 60i · 60p, 625 (575) / 50i · 50p, 750 (720) / 60p · 50p, 1125 (1080) / 60i · 60p · 50i · 50p · 24p · 25p · 30p · 24PsF
	PC 信号	VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGA … (圧縮) 水平走査周波数 30 ~ 110 kHz 垂直走査周波数 48 ~ 120 Hz
接続端子		
	DIGITAL LINK LAN	RJ45 ネットワークおよび DIGITAL LINK 接続用 (PLink™ 通信方法に準拠) : RJ45 100Base-TX
VIDEO IN	VIDEO AUDIO L-R	1.0 Vp-p (75 Ω) 0.5 Vrms (Pin 端子、COMPONENT と共有).
AV IN	HDMI DisplayPort	タイプ A コネクタ
	COMPONENT	
	Y	同期式 1.0 Vp-p (75 Ω, BNC 端子)
	PB/CB	0.7 Vp-p (75 Ω, BNC 端子)
	PR/CR	0.7 Vp-p (75 Ω, BNC 端子)
	AUDIO L-R	0.5 Vrms (Pin 端子、VIDEO IN と共有).
DVI-D IN 1 DVI-D IN 2	AUDIO	DVI リビジョン 1.0 に準拠 HDCP 1.1 互換 0.5 Vrms (PC IN と共有)
PC IN	AUDIO	G 同期式 1.0 Vp-p (75 Ω) G 非同期式 0.7 Vp-p (75 Ω) B : 0.7 Vp-p (75 Ω) R : 0.7 Vp-p (75 Ω) HD/VD : 1.0 ~ 5.0 Vp-p (高インピーダンス) 0.5 Vrms (DVI-D IN と共有)
SERIAL IN SERIAL OUT		RS-232C 準拠 (D-sub 9 pin).
	外部出力	[入力 1 kHz / 0 dB、10 kΩ 負荷]
REMOTE IN REMOTE OUT		M3 ミニジャック × 2
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)		幅 1213 mm × 高さ 684 mm × 奥行 95mm
質量		約 30 kg

注 :

• 設計・仕様については予告なしに変更する場合があります。質量および寸法は概算です。

この機器は、以下の EMC 規格に準拠しています。

EN55022、EN55024、EN61000-3-2、EN61000-3-3。Web ブラウザを使用して、本機の制御およびネットワークとパスワードの設定を行うことができます。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の初期設定メニューからの所定の操作によって、

[Software Licenses]の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

便利メモ <small>おぼえのため記入 されると便利です。</small>	お買い上げ日	年 月 日	品番
	販売店名	お客様ご相談窓口	
		☎ () -	☎ () -

パナソニック株式会社

AVC ネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2014



Q41G55M103753A

Printed in China
T1014-0